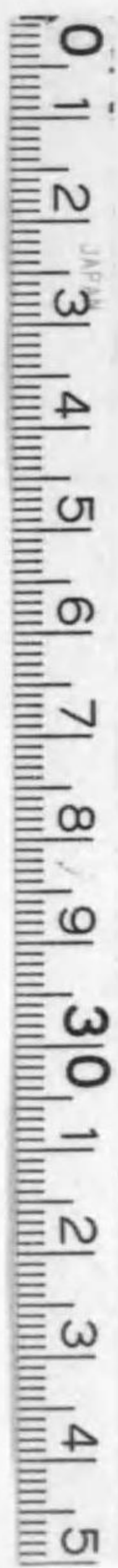


321

75



始



大正六年七月

農務彙纂
第六十八

町村農會經營事例

農商務省農務局

凡例

町村農會ハ系統農會ノ基礎ニシテ農事改良ノ實行ニ關シ直接當業者ヲ指導督勵スルニ最モ適切ナル機關ナリ故ニ其ノ努力ハ寔ニ農村振興ノ一大要件ナリトス而シテ全國ニ於ケル町村農會ニ於テ其ノ活動ノ餘地尙頗ル多キモノアルヲ認メスンハアラス本會關係者ノ便覽ニ供セントスルニ在リ



大正六年七月

農商務省農務局

寄贈本

大正
6. 8. 22
寄贈



農務彙纂 第六十八 町村農會經營事例

目次

北海道	
角田村農會	一
士別町農會	五
俱知安町農會	九
京都府	
深田村農會	一五
神奈川県	
瀬谷村農會	二三
兵庫縣	
口吉川村農會	二七
黒田庄村農會	三六
長崎縣	
下波佐見村農會	四二
神代村農會	五〇

目次



新	新潟縣	五五
水原町農會	五五	
埼玉縣	六二	
藤津村農會	六二	
群馬縣	六七	
富士見村農會	六七	
千葉縣	七三	
一宮町農會	七三	
茨城縣	七八	
弓馬田村農會	七八	
阿見村農會	八六	
栃木縣	九二	
旗川村農會	九二	
奈良縣	九六	
北倭村農會	九六	

三重縣

玉瀧村農會.....一〇五

愛知縣

高橋村農會.....一一〇

富貴村農會.....一一六

靜岡縣

清水村農會.....一二一

勝間田村農會.....一三一

山梨縣

篠尾村農會.....一三六

滋賀縣

大原村農會.....一四二

小津村農會.....一四八

豐郷村農會.....一五三

長野縣

中鹽田村農會.....一五七

福島縣

立子山村農會.....一六四

秋田縣

平澤町農會.....一六九

福井縣

松原村農會.....一七五

富山縣

藪田村農會.....一七九

島根縣

玉湯村農會.....一八六

岩坂村農會.....一九四

忌部村農會.....二〇一

大庭村農會.....二〇九

宇賀莊村農會.....二一五

岡山縣

芳田村農會.....二一九

山口縣

厚南村農會.....二二三

和歌山縣

見好村農會.....二二八

德島縣

羽ノ浦村農會.....二三二

香川縣

山田村農會.....二三六

飯野村農會.....二四〇

愛媛縣

餘土村農會.....二四三

岡田村農會.....二五四

高知縣

吾桑村農會.....二五八

西豐永村農會.....二六五

福岡縣

池野村農會	二七二
田島村農會	二七七
大野村農會	二八二
大分縣	
西有田村農會	二八六
佐賀縣	
三日月村農會	二九〇
宮崎縣	
三股村農會	二九六
鹿兒島縣	
山田村農會	三〇〇
吉利村農會	三〇四
上東鄉村農會	三一〇

目次終

北海道

角田村農會

夕張郡角田村市街地番外地

農業ノ概況 本村ハ夕張郡ノ東部ニ位シ面積東西四里餘南北六里餘ニシテ總面積一萬七千〇十六町步餘總戶數二千百餘戶
人口一萬四千五百餘人耕地面積田一千二百四十五町步畑三千七百八十四町步餘アリ農家一千八百二十餘戶住民ハ専ラ農
ヲ營ミ副業トシテハ家畜、家禽、繭及蠶細工製品ノ生産アリ

會員數 一千八百二十一名

事業ノ施行機關

(一) 役職員 會長ハ村内ノ中地主ニシテ農事改良ニ熱心ナル農學士ナリ副會長及幹事一名ハ孰レモ甲種程度農學校卒業
ノ地主ニシテ村内ノ篤農家ナリ評議員七名ハ村會議員、精農家等ノ有力者ナリ技術員ハ甲種程度農學校卒業生ニシテ
大正二年ヨリ就任シ書記ヲ兼ネ又村役場勸業係ヲ兼務ス

(二) 總會 毎年一回開催ス出席會員ハ例年會員總數ノ約一割内外ニ過キス議事結了後ニ於テ本會經營ノ農事試驗成績、
模範作効果等ニ關シ詳ニ説明シ各會員ノ參考ニ供シ併テ各自ノ實驗談ヲ交換シ後閉會スルヲ例トス

(三) 補助的設備 各部落部長十九名ニ委囑シ改良事項ノ實行督勵其ノ他一般會員ニ對スル通信事務等ヲ掌ラシム
營造物 事務所平家建三十坪物置六坪標本室ニハ各種ノ農產物肥料等ヲ陳列シ農業ニ關スル刊行物ハ出來得ル丈蒐集
シ會員ノ閱覽ニ供ス

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	二、三、九六〇	種越金	二〇、三九五〇	補助費	地方補助費	—	補助費	—	補助費	100,000	補助費	110,000	補助費	510,000	補助費	三、四八、二九五	補助費	一、一、九四、二〇五
計	二、三、九六〇	計	二〇、三九五〇	計	—	計	—	計	100,000	計	110,000	計	510,000	計	三、四八、二九五	計	一、一、九四、二〇五	

(二) 同上 支出決算額

事務所費	四、三三〇	會議費	二、三〇〇	對上級農會負擔金	九六、八八〇	事業費	七、五八、二八五	其他	九、九、五七〇	合計	九、九、二、五五
合計	四、三三〇	合計	二、三〇〇	合計	九六、八八〇	合計	七、五八、二八五	合計	九、九、五七〇	合計	九、九、二、五五

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ段別割トシ耕地一町歩ニ付金四錢ノ割ヲ以テ賦課シ毎年十月一回ニ收入ス大正三年度

ニ於ケル會費滞納者六十三名此金貳拾九圓五拾六錢是等ハ大正二年ノ大凶作ニ起因シ例年ニ見サル現象ナリ而シテ滞納者ハ他町村ニ居住ノ地主ニ多シ然レトモ缺損ト看做スヘキモノ少ナシ會費ハ村稅ト共ニ告知書ヲ發シテ之ヲ收入ス

基本財産 現在高金參百五拾壹圓參拾錢

保管方法ハ貳百圓ハ拓殖債券トシ其ノ他ハ郵便貯金トセリ積立方法ハ會則ニ依リ毎年度ノ剩餘金ノ幾分及基本金ノ利子ヲ以テス

事業成績

(一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績

過去ニ於テ施設シタル事業ハ今尙繼續施行セルカ故ニ特ニ記スヘキモノナシ

(二) 現時ノ事業成績

▲技術員ノ設置 明治三十六年ヨリ技術員ヲ設置シ各部落ヲ巡回實地指導ニ當ラシメツツアリ其ノ結果品種改良、耕作方法、肥料配合及輪作等ニ付多大ノ改善ヲ爲スニ至レリ

▲種苗ノ配布 本事業ハ明治四十一年ヨリ繼續施行シ専ラ優良品種ノ普及ニ努メタリ之カ爲種苗畑ヲ設ケ年々耕作ヲ繼續實行セリ漸次村内ノ重要作物品種ハ改良統一サレツツアリ

▲農事試驗ノ施行 本事業ハ本會創立以來連年試驗ヲ行ヒ一般農業者ニ觀覽セシメ其ノ方法成績ヲ紹介シテ改良進歩ニ努メタル結果耕作上改良ニ資スル所少ナカラス

▲模範田畑ノ設置 耕作法ノ改善及增收ヲ圖ルノ目的ヲ以テ年々村内樞要ノ地ニ模範田畑ヲ設ケ耕作ノ方法ヲ實地ニ示シ種子及肥料ヲ補給シ篤農家ニ委託耕作セシメツツアリ其ノ成績良好ニシテ耕作法ノ改善ニ資セシコト大ナリ

▲品評會ノ開催 本會ハ毎年重要作物ノ立毛品評會ヲ開催シ栽培管理ノ方法ヲ指導シ農事改良ノ趣味ヲ起サシメ栽培法ノ精粗作物ノ優劣ヲ審査公表シ品質ノ改善及増殖ヲ圖リタル結果出品ヲ希望スルモノ年々増加シ成績佳良ナリ

▲病害蟲驅除豫防ノ獎勵 年々多少病害蟲害ヲ認ムルヲ以テ本會ハ其ノ發生初期ニ於テ本村役場ト協力シ一般農家ニ警戒ヲ與ヘ且技術員ヲ隨時出張セシメ其ノ發生ノ有無及驅除豫防方法ヲ指導シ適期ヲ逸セス防除ヲ勵行シ來リタル結果近年甚タシキ被害ナキニ至レリ

▲農事講習會ノ開催 冬期農閑ヲ利用シ毎年短期農事講習會ヲ開催シ當業者ニ一般農業ニ關スル學理ヲ會得セシメ來レリ講習會ハ年々増加シ其ノ趣意ヲ會得スルヲ以テ農事改良上資スル處頗ル多シ

▲軍用燕麥販賣ノ斡旋 農産物ヲ有利ニ販賣シ會員ノ經濟ヲ助長スル目的ヲ以テ明治四十二年ヨリ本事業ヲ繼續施行シタリ其ノ方法ハ豫メ村内各部落部長及青年會長等ヲシテ希望數量ヲ取纏メシメ之ヲ陸軍糧秣廠ニ交渉販賣ヲ爲ス大正

三年ノ取扱數量二萬一千二百五十貫ニシテ本村收穫高ノ約一割二分ニ過キサレモ確實ニシテ普通商人ヨリ多少高價ニ販賣スルコトヲ得ルカ故ニ當業者ハ其ノ利益ヲ感知シ申込希望者年々増加シツツアリ

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲牛馬ノ改良 農耕ノ原動力タル牛馬ヲ改良増殖シ以テ勞力ノ利用及貴重ナル肥料ノ生産ヲ圖ル目的ヲ以テ曩ニ農用種牡馬ノ貸下ヲ受ケ本會所有ノ種牡牛ト共ニ一般牛馬ノ種付ヲ許シ連年之カ改良發達ニ努メタル結果農家ハ其ノ有利ナルヲ感知シ種付希望者數年々増加スルニ至リ成績寔ニ顯著ナリ

▲堆肥ノ獎勵

(沿革) 本事業ハ明治四十一年ヨリ本會ノ主要事業トシテ獎勵シ明治四十五年ヨリ堆肥舎建築獎勵費ヲ豫算ニ計上シ補助金ヲ與ヘテ極力之ヲ獎勵シタル結果其ノ利益ヲ自覺シ補助ヲ需メス實施スルモノ多キ爲年々其ノ數ヲ増加スルニ至レリ

(施行ノ方法) 技術員ヲ派遣シテ堆肥舎ノ設計ヲ爲サシメ又建設費ハ一棟五圓内外即チ新築費ノ約三割ノ補助金ヲ支給シツツアリ

(成績) 本村ハ人造肥料ノ施用高多キ爲其ノ種類分量配合等ヲ誤リ不利ノ點少ナカラサリシモ本事業獎勵以來年々堆肥ノ施用著シク増加シ合理的ニ施用スルニ至リ其ノ成績寔ニ顯著ナリ最近三箇年ノ成績左ノ如シ

年次	農家戸數	堆肥舎數	同上割合	
			同	上割合
大正元年	一、七五〇	二一五	一・二	一・二
同 二 年	一、八〇四	二三六	一・三	一・三
同 三 年	一、八一二	二五八	一・四	一・四

▲農事試驗施行及立毛品評會ノ開催 田畑ニ於ケル農事試驗及立毛品評會實施以來田ハ全ク稗草等ノ雜草ヲ全滅シ用排水溝ノ浚渫、植付ノ正整、株間距離ノ均一、移植期ノ正確、病蟲害ノ防除、肥料施用等ノ成績頗ル顯著ナリ畑ニ於テハ圃狀ノ整正、畦ノ方向ノ改善、播種期ノ正確、畦幅及播種量ノ正當、改良農具ノ使用等改良セラレタル點多大ナリトス

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 地主會 地主會長ハ農會長之ヲ兼ネ農事功勞者ノ表彰、農事調査、農業時事問題研究等ノ事ヲ爲セル傍ラ間接農會ノ施設事業ヲ援助ス
- (二) 青年會 青年會施設ノ試作畑ニ就テハ本會之ヲ指導シ且原種ヲ補給シ品種ノ改善ヲ獎勵シ斯業ノ模範タルニ努ム

士別町農會

上川郡士別町(町役場内)

農業ノ概況 本町ハ天鹽國上川郡ノ中央部ニ位シ面積廣袤八方里概シテ平坦地ニシテ人口一萬一千三百四十六人耕地面積田十一町九反歩畑六千有餘町歩アリ農家一千百五十戸住民ハ殆ント農ヲ業トス副業トシテ繭、木炭及藻細工製品ノ生産アリ

會員數 一千百五十名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ町内ノ中地主ニシテ農事改良ニ熱心ナル者ナリ副會長ハ名望家ニシテ幹事ハ本町役場勸業主任ナリ評議員七名ハ町會議員及部長等ニシテ執レモ町内有力者ナリ技術員ハ郡立農學校卒業生ニシテ明治四十四年就任シ専ラ本町ノ農事改良ニ努メ書記ヲ兼務ス
- (二) 總會 毎年一回乃至二回開催ス出席會員ハ總會員ノ殆ント八割五分ニ達スルヲ例トス議事結了後ニ於テ本會技術員

テ同一ナラス又本町ニ於テモ精細ニ調査スル時ハ山岳、地勢及其ノ方面ノ如何ニ依リテモ多少ノ差異アリ故ニ本町ニ於テ農業氣象觀測所ヲ設立セラレシコトヲ其ノ筋ハ申請シタルモ經費ノ都合上設立サルルニ至ラス依テ本會ノ事業トシテ道廳指導保護ノ下ニ明治三十八年ヨリ同四十四年ニ至ル七箇年專任技術員ヲ當置シ觀測セシメ七箇年間ノ平均調査ヲ遂ケ農業經營上殊ニ種子改良上ニ多大ノ裨益ヲ與ヘタリ

▲試作事業 明治三十六年技術員ヲ庸聘シテ試作事業ヲ經營シ專ラ育種ニ關スル實地指導研究ヲ爲シ惡變シタル種子ノ改良ニ努メタルト同時ニ總テノ病蟲害ニ關スル研究中偶々酸性土壤發見ノ動機ヲ作り本町ノミナラス本道ノ農業改良上多大ノ便宜ヲ與ヘタリ

(二) 現時ノ事業成績

▲種苗ノ配布 本事業ハ試作事業ト同時ニ計劃シ配布繼續施行シ來リタリ然レトモ明治三十六年ニ設置シタル敷地ハ明治四十三年ニ支應敷地ニ變更セラレタルニ依リ本會ハ事務所ノ移轉ト共ニ試作地モ亦現在ノ所ニ變更スルノ止ムナキニ至レリ本地ハ未開地ニシテ本町中最低濕地ニシテ排水、木株抜キ採リ及寢木片付等整地ニ多大ノ年月ト經費トヲ要シタル爲爾後二、三年間配布量ヲ減少シタリ而シテ本道農家ノ如キ粗放的ニシテ大地積ヲ耕作スルモノハ種子改良ノ餘裕ナク三年毎ニ原種供給ノ必要アルヲ以テ經費ノ許ス範圍ニ於テ各種子ヲ交互ニ栽培配布ノ方針ナリ而シテ配布方法ハ從來各部落ノ篤志家及其ノ他ノ希望者ニ配布シツツアリシモ一般ニ行キ渡ラサル感アリシヲ以テ大正三年ヨリハ少量宛ナリトモ全農家ニ配布シ數量少ナキモノハ各部落戸數ニ案分シテ部長ニ配布方ヲ一任シ熱心家ニ採種畑トシテ耕作セシメタリ同年ヨリ各學校生徒(尋常五年以上ノ生徒)約八百名ニ配布シ一坪農業ヲ經營セシメ本會補助ノ下ニ品評會ヲ開催セシメタリ尙不足ニシテ試驗中ニ屬スルモノハ農友會員ニ各一升内外ヲ配布シテ試作セシムルト同時ニ範ヲ部民ニ示スコトトセリ

▲各種ノ共同販賣共同購入斡旋 本會ハ明治四十三年迄農家一般ノ便ヲ圖リ札幌麥酒會社ト特約シ大麥耕作獎勵ト同時ニ燕麥耕作ヲモ勵行シ糧秣廠ニ共同販賣ノ勞ヲ取り傍ラ各種ノ肥料、繩、莖等ノ共同購入ヲ爲サシメ來リシモ之カ事業ノ爲指導及試作事業ニ從事スル餘暇ナキ状態トナリ其ノ當時ノ町長ト協力シテ產業組合ノ組織ヲ圖リ現在ノ俱知安購買販賣組合ナルモノヲ設立シ爾後該組合ヲシテ此ノ事務ニ當ラシメ一般ヲシテ產業組合ノ有益ナルヲ知ラシムルニ至レリ

▲桑園改植ノ獎勵 本會ハ明治四十二年道廳ノ補助ヲ受ケ模範桑園三反歩ヲ設置シタルニ其ノ翌年本會敷地ヲ後志支廳應合敷地ニ移轉シタルト且札幌産及府縣産ノ桑苗ナリシ爲成績良好ナラス各種ノ試驗ノ結果本町ノ氣候風土ニ適セル本町産野生ノ良種ニ優ルモノナキヲ確ムルニ至リ大正三年全部改植シテ漸ク桑園ラシク形成スルヲ得タリ經營以來各種ノ關係上多大ノ經費ヲ投シ且長年月ヲ要シタル割合ニ其ノ成績舉カラサルノ憾アルモ本村ノ桑園改善ノ基礎ヲ定ムルニ至リ蠶業獎勵上百年ノ大計ヲ確立シタリト云フモ過言ニアラサルヘシ而シテ大正四年ヨリ道廳補助ノ下ニ蠶種二百枚及桑苗二萬本ヲ配布シ優良桑園設置ヲ獎勵シツツアリ

▲技術員ノ設置 明治三十六年ヨリ技術員設置以來試作場ヲ經營シ技術員ヲシテ實地ノ研究ヲ爲サシムルト同時ニ會員ニモ實驗セシメ專ラ實地ノ指導ニ重キヲ置キタルト共ニ海外ヨリ各種ノ種子ヲ輸入シ試驗ノ結果良好ナルモノノ配布ニ努メタルニ小麥、燕麥及甘藍種子ノ如キハ成績良好ニシテ管外マテ裨益ヲ與ヘツツアリ

▲水田試驗ノ施行 本町ハ蝦夷富士山麓ニ位スルヲ以テ一概ニ水稻ノ不適地トシテ看做サレシ觀アリテ試驗ヲ爲サス移住民ハ小面積ヲ試作シ來リタルモ一トシテ種子ニ供スヘキモノヲ穫タルコトナク然ルニ明治四十三年以降本道各地ノ水田勃興ト同時ニ價格暴騰ノ爲水田熱旺盛トナリ本會員間ニ於テモ試作スルモノ増加シ有志間ニ町費補助ノ下ニ試作田設置ノ動機出テ本會之カ調査ノ任ニ當リ精査シタルニ氣温ニ於テハ氣象觀測ノ結果五月ヨリ九月迄最高溫度壽都方面ヨリ高キヲ以テ登熟確實ナルヲ知リタリト雖モ從來ノ水田ハ府縣ト同様ナル耕作方法ヲ採リタルト濕地ニ排水溝ヲ開鑿セス其ノ儘畦畔ヲ設ケテ耕作シタル等其ノ他種々ノ缺點アリ試作ノ必要ヲ生シタルニ依リ大正二年ヨリ本會ニ於

テ試作スルコトナリ同年一反歩ヲ開墾シ各種苗ノ仕立方法ヲ講シ經營シタルニ其ノ年ハ恰モ大凶作ナリシカ故ニ充
分ナル成績ヲ擧ケ得サリシモ温床苗ハ黃熟スルヲ得其ノ翌年ヨリ孰レノ試驗モ成績良好ナルヲ得タリ

▲風防林及造林ノ獎勵 本町ハ前述ノ通り傾斜地ニシテ耕作ニ適セサル所多シ是等ノ地ニハ副業トシテ果樹桑苗ノ如キ
モノヲ植付ケシムルハ勿論ナルモ永久的事業トシテ造林ノ獎勵ヲ圖リ之カ參考ノ爲各種種苗見本園ヲ本會ニ設ケ之ヲ
實見セシメ苗木ヲ仕立無償配布ノ外多數ヲ希望スルモノニハ委託購入ノ便ヲ與ヘツツアリ又農事期間中ニ東若ハ南東
風ノ暴風ノ爲作物ノ被害尠ナカラサルヲ以テ該方面ニ風防林設置獎勵ノ爲「ボブラ」「アカシヤ」苗ヲ仕立配布シツツ
アリ其ノ他本會ニ於テモ大正四年ヨリ大禮記念トシテ模範植樹五町歩ヲ經營中ナリ

▲蠶業ノ獎勵 從來蠶業ノ獎勵ヲ施行セシモ區域廣大ナルカ故ニ周到ナル指導ヲ爲シ能ハサルヲ遺憾トシ本年ヨリ蠶業
技術員ヲ府聘シテ専ラ之カ指導ニ當ラシメツツアリ

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲農友會ノ設立 從來青年會其ノ他ノ團體ノ補助機關ヲ利用シ來タリタルモ充分効果ヲ認ムルコト能ハサリシカ農友會
設立以來立毛及生産品評會、畜牛飼養女子農事講習會其ノ他種子改良ニ關スル事業ヲ經營セシメテヨリ其ノ附近ノモ
ノ皆之ニ倣フノ風アリテ農友會員タランコトヲ希望スルモノ増加スル傾向ニシテ指導上多大ノ後援者トナリ殊ニ農友
會設立後ニ於テハ講習講話會等ノ如キ集會ニ出席スル者非常ニ多數ニシテ益々成績良好ナリ

▲屋外堆肥製造ノ獎勵 完全ナル堆肥舍ヲ建設シ善良ナル肥料ヲ得ルハ望マシキコトナリト雖モ本道ノ如キ農業經營ノ
粗放ニシテ大面積ヲ耕作シ勞力不足ニ加フルニ移住後日向淺キ現今ニ於テ經濟上如斯集約ナル方法ヲ實行シ能ハサル
状態ナレハ本會ニ於テハ簡易方法ヲ採ルニ決シ野外堆積ヲ勵行シ同時ニ家畜ノ飼養ヲ獎勵シ自給肥料ノ供源ト爲ス爲
之ヲ獎勵シツツアリ堆肥舍製造ノ缺點ヲ舉タレハ農民ハ未タ納屋ヲ所有スルモノ少ナク補助ヲ受ケ堆肥舍ヲ建設スル
モ其ノ後ハ之ヲ收納舍ニ代用スル者アルト勞力不足ノ爲切リ返シ及水液撒布ノ行ハレサルカ故ニ屋内堆肥ハ徒ニ酸酵

シ水分缺乏シテ肥効ヲ失フニ至ルモ野外堆肥ニシテ方法宜シキ時ハ降雨ニ依リテ腐熟ヲ助長スルノ便アレハ却テ堆肥
舍ニ堆積セシモノヨリモ成績良好ナリ

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 産業組合 前記ノ如キ産業組合組織ニ努メテヨリ本會後援ノ下ニ四組合設立スルニ至リ益々町民ヲシテ産業組合ノ
有利ナルヲ知覺セシムルニ至リタルヲ以テ逐次全町民ヲシテ組合員タラシムル爲専ラ獎勵ニ努メツツアリ
- (二) 青年會 採種畑ヲ設ケシメ之ニ原種ヲ供給シ且耕作方法ヲ指導シ其ノ他品評會ヲ開催セシメ本會技術員ヲシテ後援
セシムルト同時ニ褒賞ヲ交付ス

京 都 府

深 田 村 農 會

竹野郡深田村(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ中央ニ位シ面積一・一三八方里ニシテ地勢概シテ平坦ナリ人口一千五百八十四人耕地面積田百七
十三町三反歩畑四十六町五反歩山林三百四十九町九反歩原野三町四反歩農家戸數二百九十五戸住民ハ農ヲ以テ業トス副
業トシテ繭、薪炭ノ生産アリ

會 員 數 二百九十五名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村長副會長ハ收入役之ヲ兼任シ評議員ハ七名ニシテ内二名ハ村會議員五名ハ村内有力者ナリ技術員
ハ經驗ニ富メル村内ノ有力者ニシテ斯業改良ニ熱心ナリ書記ハ技術員之ヲ兼務ス

- (一) 總會 每年春秋二回開催ス當日ハ可成休日ヲ利用スルモ時トシテハ一日若ハ半日ヲ一般休業ト爲スコトアリ故ニ會員ハ殆ト全部出席ス然シテ議事終了後ハ郡又ハ郡農會ノ技術員ノ講演其ノ他會員ノ實驗談アリ又時機ニ依リ篤志家ノ醸出ヲ以テ餘興ヲ催シ談笑ノ裡ニ閉會ス
- (二) 補助的設備 各部落ニ委員ヲ配置シ農事ノ實行督勵ニ當ラシム尙各部落ニ青年團體アリ孰レモ斯業改良ノ目的ヲ以テ本會ヲ援助ス

經費

(一) 大正三年度ノ収入決算額

會費	三、八四一〇	補府補助費	—	補町補助費	100,000	補上級農會補助費	37,000	計	1,370,000	其ノ他	—	合計	四〇五,一九三
繰越金	四九,七三	補助金	—	補助金	—	補助金	—	計	—	其ノ他	—	合計	—

(二) 同上 支出決算額

事務所費	四,三四三〇	會議費	六,六九〇	對上級農會ニ對スル負擔金	110,800	事業費	1,731,110	其ノ他	34,600	合計	3,686,540
------	--------	-----	-------	--------------	---------	-----	-----------	-----	--------	----	-----------

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ二分五厘ヲ農家戸數ニ七分五厘ヲ耕地地價ニ分賦シ毎年四月一日現在ニヨリ五月三十日告知書ヲ發シ徵收ス會費ハ未タ一名ノ滞納者ヲ出サス

事業成績

(一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績

- ▲耕地整理ノ獎勵 本村ノ水田ハ概ネ地下水高ク區劃不整ニシテ灌溉排水共ニ不便多ク通路又宜シカラスシテ二毛作ニ適セサル地多ク爲ニ作物ハ品質不良ニシテ而モ生産力ニ乏シク容易ニ增收多獲ヲ望ムヘクモ非サルヲ以テ本會ハ明治三十五年ニ至リ地主其ノ他有志者ト相謀リ耕地整理ノ必要ヲ主唱シ盛ニ獎勵ニ努メタル結果明治三十七年大字井邊區ニ於テ發起認可ヲ得タルヲ始トシ大字國久黒部相次テ工ヲ起シ大正四年ニ至リ第一期計劃トシテ水田總反別百七十三町三反步中百三十八町七反步即チ總反別ニ對スル整理反別割合凡ソ八割餘ノ整理ヲ遂行セリ
- ▲地主會ノ設立斡旋 明治四十四年ヨリ郡農會ニ於テ制定セラレタル地主會準則ニ基キ耕地一町步以上ヲ所有スル者ヲ以テ組織セシメタリ今同會ニ於テ永久ニ施設シ以テ小作人ヲ保護獎勵スヘキ重ナル協定事項左ノ如シ
 - イ 小作人ノ施用スル肥料代金ハ其ノ地主ヨリ無利子ニテ貸與シ收穫米ヲ以テ精算スルコト
 - ロ 小作米品評會ヲ開キ産米改良ヲ爲スコト
- ▲種苗ノ配布 本事業ハ明治四十三年ヨリ實施シ其ノ配布數ハ毎年粗種ハ深田村農會ノ設置ニ係ル採種圃ノモノ三石乃至三石五斗ヲ、桑苗ハ大正二年ニ於テハ一萬本ヲ無代配布シタリ
- ▲肥料及農具共同購入ノ斡旋 本會ニ於テ斡旋ノ勞ヲ執リ肥料、農具等ノ共同購入ヲナシ小作人ノ施用スル肥料代金ハ本會ニ於テ一時繰替ルコトアリシモ地主會設立後ハ地主ニ於テ取替ヲ爲シ専ラ小作人ノ保護ニ努ム
- ▲米穀検査施行 大正二年ヨリ産米改良ノ目的ヲ以テ本會技術員立會ノ上米穀検査ヲ實行セリ爾來本村ノ産米ハ一層其ノ聲價ヲ高メ川筋米ト稱シ市場ニ歡迎セララルニ至レリ
- ▲里道ノ開鑿 本村耕地ノ内林野ニ接スル部分ハ道路險惡ニシテ荷車通行スル能ハサリシカ本會ハ耕地整理ト相俟テ大正二年ヨリ是等道路ノ改修ヲ獎勵シ農作物、肥料及林産物ノ運搬ニ便ナラシム其ノ結果該耕地ヨリ産スル收穫著シク増加シタルト共ニ土地價格亦騰貴セリ

(二) 現時ノ事業成績

▲技術員ノ設置 大正二年ヨリ技術員ヲ置キ本村農業ノ實地指導ニ當ラシム尙本府米穀検査法實施以前ヨリ本村産米ノ検査ニ從事セシメタリ

▲講習會ノ開催 毎年農閑ノ時機ニ於テ郡農會技手ヲ聘シ講習會ヲ開ク講習生ハ青年ニシテ二十五名乃至三十名トシ期間ハ一週間若ハ十日以内トス講習生ハ熱心農事ニ從事シ本村農事改良ニ努ム尙本會ト氣脈ヲ通シ本會ノ事業ヲ援助ス
▲農談會ノ開催 毎年二回本會總會ニ併セテ開催ス郡、蠶絲同業組合、産牛組合、郡農會等ノ技術員ヲ聘シ農事改良ニ關スル談話會ヲ開キ會員ノ實驗談及其ノ他本會ヨリ發スル問題ニ付協議ス

▲堆肥ノ獎勵 本事業ハ明治三十九年ヨリ獎勵ニ努ムト雖モ其ノ成績顯著ナラザリシカハ大正四年ヨリ模範堆肥舍新設ヲ計劃シ模範堆肥舍一棟ニ付金五圓ヲ與フルコトトセリ近時農業ノ進歩ニ伴ヒ棉實粕過燐酸石灰ヲ基本トシ之ニ大豆粕ヲ加ヘテ經濟的自家配合肥料ヲ盛ニ施用スルモ尙一箇年ノ金肥購入額ハ毎年約八千圓ヲ下ラサルノ狀況ナリ故ニ本會ハ益本事業ノ普及ニ努メツツアリ

▲蝗蟲驅除ノ獎勵 近來蝗蟲ノ發生ハ年ヲ追フテ増加シ其ノ被害又尠カラス依テ本會ハ耕作人ヲシテ除草後ノ農閑期ニ於テ耕作稻田一反歩ニ付蝗蟲五合以上ヲ捕獲セシメ各區驅除委員ニ差出シ點檢ヲ受ケシメ後之ヲ肥料ト爲シ又ハ販賣セシメタリ尙本年ヨリハ之ヲ買收スルコトト爲セリ

▲灌溉排水ノ配給斡旋 稻田用水ハ少シク旱魃ノ時期ニ際スルトキハ所謂我田引水ノ爲到ル所喧騒ヲ極メ延テ種々ノ紛亂ヲ來タシ其ノ弊害尠カラズ依テ明治四十年ヨリ水番ヲ置キ(黑部二人其ノ他各區一人宛)稻田全部ヲ絶エス巡檢セシメ均等ニ灌水シ作主自儘ニ手ヲ着クルコトヲ嚴禁セシニ其ノ効果尠ナカラズ之ニ要スル費用ハ水番一人ニ付玄米四俵宛ヲ支給ス其ノ賦課法ハ小作人ニ課スルコトナク地主ニ之ヲ負擔セシム尙又稻田灌溉排水ニ要スル溝渠修繕ハ接續地耕作人ニ於テ修繕シタルモ斯クテハ充分ナル効果ヲ見ル能ハサルニ依リ明治四十二年ヨリ春秋兩度一定ノ期間ヲ定メ本會役員指揮監督ノ下ニ一定ノ方法ニ依リ修繕ヲ爲サシム若修繕不充分ナル者ハ本會ヨリ人夫ヲ派シテ實行シ耕作人ヨリ人夫賃ヲ徴

收ス

▲農事視察員ノ派遣 當地方ノ風習ニ依リ二十戸若ハ二十五戸ヲ以テ神講(伊勢講受宿講秋葉講大社講)ヲ組織シ毎年抽籤ニ依リ二人若ハ三人ヲ參拜セシムルノ慣例アリ本會ハ之ヲ利用シテ他府縣ノ農事視察ヲ依囑シ以テ農事改良ノ一端トナス

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲採種及品種統一ノ獎勵 大正三年ヨリ六反歩ノ採種圃ヲ設置シ優良品種ノ採種獎勵ニ努ム又稻ノ品種ハ數十種ノ多キヲ算シ其ノ多クハ雜駁ニシテ米質ヲ損スルコト多キカ故ニ品種ノ調査ヲ行ヒ普通ノ場合ハ左ノ品種ヲ栽植スルコトトセリ

早	稻	大場、巾着、雜早五十八號
中	稻	朝日、雜二號
晚	稻	芋野福、又ハ四方寺

▲苗代改良ノ獎勵 稻作ヲ改良シ産米ノ增收ヲ期セントスルニハ苗代ヲ改良シ良苗ノ育成ニ如クハナシ依テ大正二年ヨリ左記諸項ヲ實行スルコトトセリ

- イ 種子ハ採種圃ニ於テ採種シタルモノタルコト
- ロ 下種期ハ八十八夜迄ニ全部下種シ終ルコト(從前ヨリ二週間乃至三週間早播トス)
- ハ 下種量ハ苗床一坪ニ付浸種シタルモノ二合以内ト爲スコト(從前ノ半量トス)
- ニ 苗代床ハ巾三尺六寸ヲ標準トスルコト(之レ螟蟲ノ捕蛾採卵ヲ小學校生徒ヲシテ行ハシメンカ爲及播床ノ計算ニ便ナラシメンカ爲ナリ)
- ホ 肥料ハ從前ヨリ施用シ來レル綠肥ノ如キ遲効肥料ヲ廢シ速効肥料ヲ施スコト(其ノ標準ハ郡農會ト協議シ毎年之ヲ定ム)

以上諸項ヲ實行シタルモノヲ審査シ其ノ優良ナル者ニ授賞ス

▲**稻立毛品評會**ノ開催 大正二年ヨリ苗代ニ於テ優良ナル苗ヲ育成シ之ヲ移植シタルモノノ本田ヲ審査シ其ノ成績優良ナルモノニ付授賞ス

▲**産米品評會**並**小作米品評會**ノ開催 大正二年ヨリ毎年度主催ノ小作米品評會ト本會主催ノ産米品評會トヲ合併シテ開催ス産米品評會ハ出品シタル者ノ生産米ニシテ審査ノ結果其ノ成績優良ナル者ニ授賞シ小作米品評會ハ小作米納入ノ際地主カ其ノ俵米ヨリ小作人一人ニ付一點(一升)ヲ採收シテ出品セシメ其ノ優良ナル者ヲ選ヒテ其ノ小作人ニ授賞ス尙大正四年ヨリハ本府米穀検査ノ結果優良ナル小作米ヲ多數納入シタルモノ二十名ヲ選抜シ左ノ等級ニ依リ小作人ニ授賞セリ

一等	金壹圓	三名
二等	金五拾錢	五名
三等	金參拾錢	十二名

▲**米共同販賣ノ獎勵** 舊郷藏ヲ以テ共同倉庫トナシ各區ノ役員等ト協力斡旋シ賣米ニ屬スルモノヲ入庫セシム其ノ成績優良ニシテ大正三年ノ販賣高三千三百俵ノ多額ニ達シ價格ニ於テ個人賣ニ比シ一石ニ付金參拾錢乃至參拾五錢ノ高値ニ販賣シ得タリ故ニ本會ハ既ニ本府米穀検査モ實施セラレ共同倉庫ノ必要益々大ナルモノアレハ更ニ一層ノ入庫ヲ獎勵シツツアリ

農會ト各種團體トノ聯絡

(一) **地主會** 本會ト重大ナル關係ヲ有スル別動體ニシテ其ノ役員ノ如キモ同一役員ヲ以テ之ニ充テ専ラ本會ノ業務遂行ヲ援助ス

(二) **青年會** 村ニ青年會アリ各區ニ區ノ青年團アリ孰レモ農村ノ改善ニ努ム青年會ニシテ果樹園、植林、試驗田等ヲ經

營スルトキハ本會ハ之ニ手當又ハ補助金ヲ支給ス

(三) **蠶絲業小組**並**産牛組合小組** 小組合長ハ村農會長之ヲ兼任シ是等ニ關スル事業ノ獎勵ハ本會ノ施設經營方針ト相俟テ活動シ斯業ノ改良發達ニ努メツツアリ

(四) **崇徳會、教育會、婦人會** 是等ハ社會改良上ノ團體ニシテ普通本會ノ總會又ハ農談會等ノ多數集合スル機會ニ於テ聯合講演會等ヲ開催シ互ニ氣脈ヲ通シツツアリ

其ノ他參考トナルヘキ事項

▲**苗代害蟲驅除** 本村ハ小學校生徒ヲシテ苗代期ニ於ケル螟蟲驅除ヲ爲サシムルハ教育上支障アリトシテ教育者ノ反對アリ或ハ苗ヲ損傷セシムルノ害多シトテ容易ニ其ノ實行ヲ見ル能ハサリシモ本會ハ大正二年ニ於テ郡農會ト打合せ更ニ學校長ニ交渉シ同年五月廿八日ヨリ別記ノ方法ニ依リ實行セシムルコトトセリ其ノ結果ニ依レハ農村ノ小學校生徒ニ在リテハ教育上ニ於テ又實際上ニ於テ方法其ノ宜シキヲ得ルニ於テハ何等支障ナキノミナラス其ノ効果ヤ實ニ驚クヘキ大ナルモノアルコトヲ知レリ今日ニ在リテハ生徒ハ勿論當業者ト雖恰モ舊習ニ因ル慣例ノ如ク思惟セルモノノ如ク今ヤ郡内ノ各町村農會並小學校ニ在リテモ本村ノ實績ニ鑑ミ其ノ筋ノ督勵ト共ニ本村ノ方法ニ則リ頗ル良果ヲ收メツツアリト聞ク今參考ノ爲其ノ方法ヲ記述スレハ左ノ如シ

イ 方法

- 一 休日及授業放課後ニ於テ爲スコト
- 一 全校生徒ニ行ハシムルコト
- 一 全校生徒百八十五名ヲ部落及最寄各組ニ依リ八組ニ分チ一組ニ組長二名ヲ置ク
- 一 毎日各自採卵捕蛾セル數ハ各組ニ於テ組長之ヲ調査記録シ學校長ニ毎翌朝届出テシム

ロ 授賞方法

- 一 一般賞典、全校生徒百八十五名ニ金拾錢宛テ授賞セリ(拾錢ノ平等賞典ヲ爲セシ理由ハ郵便貯金通帳ナキモノモ預ケ入ニ便センカ爲ナリ)

一 各組賞與、八組中一組ニ於テ最多ク採集セシモノヨリ左ノ等級ニ從ヒ授賞セリ

一等組合一人 金拾 錢
 二等同 金八 錢
 三等同 金七 錢
 四等同 金五 錢
 五等同 金四 錢
 六等同 金參 錢
 七等同 金貳 錢

一 各組合ニ於テ最多採集者賞與

一等(最多採集者) 一人 金壹 圓
 二等(一等ニ次ク者) 一人 金五拾 錢
 三等(二等ニ次ク者) 一人 金貳拾 錢

一 組長賞與十六名一人ニ付金拾錢宛

以上ハ挿秧前迄(五月廿八日ヨリ六月十九日迄)ノ採集賞與ニシテ更ニ第二期即チ挿秧期中採集セシモノニ付左ノ賞ヲ授與セリ

一等(最多採集者各組ニ於テ) 一人ニ付 金五拾 錢
 二等(一等ニ次クモノ) 同 金貳拾 錢
 三等(二等ニ次クモノ) 同 金拾 錢

ハ 授賞金額

金七拾五圓參拾錢
 內 譯
 金拾五圓參拾錢 村 農 會 補 助
 金六拾圓 有 志 寄 付 金

ニ 個人ニテ最多採集者

村農會補助金ノミニテハ到底充分ナル効果ヲ收メ難キヲ以テ有志者ノ寄附ヲ仰ケリ

神奈川縣

瀨谷村農會

鎌倉郡瀨谷村(村役場内)

册	塊	畝	計	學 年	男	女	別
	六一四〇	一〇五五	七一九五	尋常六年			子
	三九六四	一一七〇	五一三四	高等一年			子
	三五三九	五〇四	四〇四三	高等二年			子

以上ノ如クニシテ授賞セラレタル賞與金ハ小學校長管理ノ下ニ各自生徒ノ郵便貯金ト爲サシメ以テ勤勞ニ對スル報酬ト貯金思想ノ養成ニ努ム

農業ノ概況 本村ハ鎌倉郡ノ西北部ニ位シ概シテ土地平坦面積一・三三方里強農家戸數五百四十八戸人口四千二百五十三人耕地面積田九十四町八反歩畑六百六十四町六反歩アリ住民ハ殆ント農業ヲ營ム

會 員 數 五百名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村内ノ大地主ニシテ農事改良ニ熱心ナリ副會長ハ村會議員ニシテ幹事二名中一名ハ村役場助役他ハ同書記評議員七名執レモ村會議員ニシテ篤農家ナリ書記ハ村役場書記(幹事ノ一人)兼任ス
- (二) 總會 毎年二回開催ス總會員ノ八割強出席スルヲ通例トス議事決了後郡農會技術員又ハ知名ノ士ヲ聘シテ講話會ヲ開キ餘興トシテ福引等ヲ催シ笑談裡ニ閉會ス
- (三) 補助的設備 各部落ニ區農會ヲ設ケ委員(戸數ニ應シテ一區農會ニ一名乃至二名)ヲ置キ事務實行督勵ニ當ラシ

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	五〇三〇〇	繰越金	四一、四八	補助費	補縣助費	補郡助費	補村助費	補助費	補上級農會助費	計	其ノ他	合	計
							九〇〇〇	一〇八、二六〇	一六、二六〇	八三、一〇〇			三七、三八八

(二) 同上 支出決算額

事務所費	一〇、六八〇	會議費	一〇、一〇〇	對上級農會ニ對スル負擔金	三六、八八〇	事業費	三、四、五〇一	其ノ他	二、二四〇	合	計
											三二、四六二

基本財産 現在高金四拾參圓

本會現今ノ基本財産ハ郡農會ノ表彰規程ニ依リ交付セラレタル優賞旗附帶賞金(大正二年及三年ニ受ケタルモノ)ヲ積立タルモノニシテ瀬谷銀行へ定期預金ス

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
- ▲ 種●苗●ノ●配●布 ● 本事業ハ明治四十二年ヨリ同四十四年ニ至ル迄委託採種圃ヲ設ケテ施行シ毎年叔三石餘麥四石ヲ配布シ品種モ大ニ改良統一セラレタルモ大正元年ヨリ縣試驗場及郡農會ヨリ無償配布セララルルニ至リシヲ以テ其ノ必要ヲ認メサルニ至リ之ヲ中止シタリ

(二) 現時ノ事業成績

- ▲ 肥●料●共●同●購●入●ノ●幹●旋 ● 各區農會へ元肥ノ共同購入ヲ爲サシメ郡農會又ハ縣試驗場ノ技術員ヲシテ配合肥料調製ノ實地指導ヲ爲サシメタルコト三回其ノ結果現今ハ共同シテ自家用配合肥料ヲ調製シツツアリ元肥ノ共同購入高毎年各品ヲ通シテ七千有餘圓ニ上リ成績良好ナリ
- ▲ 農●作●物●及●農●産●物●ノ●改●良●獎●勵 ● 從來各農作物ノ立毛品評會ノミヲ開催シ斯業獎勵ニ努メタリシカ明治四十一年ヨリ各區農會ヲシテ各種農産物ノ品評會ヲ開催セシメ更ニ其ノ優良品ヲ選抜シテ郡農會ノ審査ヲ請ヒ尙村農會主催ノ農産物品評會ヲ開キテ一般ノ觀覽ニ供シ改善獎勵ニ努メツツアルモ未タ充分ノ効果ヲ發揚スルニ至ラス引續キ獎勵シツツアリ
- ▲ 米●麥●及●繭●共●同●販●賣●ノ●幹●旋 ● 農産物ヲ有利ニ販賣シ會員ノ經濟ヲ助長スル目的ヲ以テ明治四十四年ヨリ本事業ヲ施行シタリ其ノ方法ハ豫メ各區農會員ノ希望數量ヲ取纏メ中央市場ノ確實ナル商人ニ委託販賣ヲ爲シ其ノ運賃ノ一部補助ヲ爲シツツアリ大正三年ノ取扱數量米三百俵大麥六百十八俵小麥五百十五俵繭二千五百七十貫ニシテ本村ノ收穫量ニ比スレハ米ハ八分大麥及小麥ハ一割弱繭ハ一割六分ニ過キササルモ米ハ一俵參拾錢大麥一俵拾五錢小麥一俵貳拾錢繭一貫目參拾五錢ノ高價ニ販賣シ得年々申込希望者増加シツツアリ
- ▲ 技●術●員●ノ●設●置 ● 從來郡農會技術員ノ派遣ヲ請ヒ農蠶業ノ實地指導ヲ受ケツツアリシモ事業ノ發展ニ伴ヒ不便ヲ感スルヲ以テ大正五年ヨリ技術員ヲ置キ各部落ノ巡回指導ニ當ラシメツツアリ
- ▲ 病●蟲●害●ノ●驅●除●豫●防●獎●勵 ● 從來不振ノ事業ナリシモ明治四十四年ヨリ郡農會及縣試驗場技術員ノ派遣ヲ請ヒ獎勵金ヲ交付シ極力勸誘ノ結果害蟲驅除ハ全村ニ亘リ實行ヲ見ルニ至レルモ病害豫防ニ至リテハ未タ目的ヲ達セサルヲ以テ益々勸誘獎勵ニ力ヲ盡シツツアリ

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

- ▲ 講●習●會●ノ●開●催 ● 本郡農事講習所ノ規程ニ基キ出張講習會ヲ開クコト大正四年迄ニ八回ニ及ヒ男子ニ土壤、肥料、米麥

作、蔬菜、養蠶、養雞、養豚、副業等女子ニ園藝、副業、家庭農産製造、調理、養蠶、染織、洗濯、養雞、養豚等ノ科目ヲ授ケタリ最初ハ受講勸誘困難ナリシモ現今ハ進テ出席スルニ至リ斯業ニ付テモ著シク進歩ヲ見ルニ至レリ終了生及修得中ノモノヲ通シテ男子二百十三人女子二百二十九人ニシテ本村人口ノ約七分強ノ講習生ヲ得タリ

▲養蠶業ノ獎勵 養蠶組合ハ數年前ニ於テハ如何ニ獎勵スルモ設立スルモノナク殆ント絶望ノ姿ナリシモ大正元年迄ニ漸ク二組合ノ設置ヲ見ルニ至リ爾來其ノ有利ナルヲ感知セシメタル結果大正三年ニハ六組合人員百四十二人ノ多キヲ算シ本村戸數ノ五分ノ一以上ニ達シ益々發展ノ域ニ向ヒツツアリ

▲蠶種貯藏組合ノ設置 前組合ノ設置ト同様初メハ設立困難ナリシモ漸ク其ノ必要ヲ認メラレ現時八組合ヲ組織シ組合員數百六十二人貯藏枚數三千七百五十枚ニ達シ年々増加ノ傾向ニ在リ

▲桑園改殖獎勵 大正元年ヨリ荒廢桑園ノ改殖ヲ獎勵シタル結果目下專用桑園トシテ早生種ニ十八町步中生種ニ三十二町步晩生種ニ四十一町步夏秋蠶兼用桑園ニ九町步ヲ見ルニ至レリ

▲堆肥ノ獎勵 本會主要ノ事業トシテ明治四十四年以來堆肥舍改造獎勵費ヲ置キ建坪一坪ニ付金貳拾錢ヲ補助シ之カ改造ニ努メタリ未タ堆肥普及セリト言フヲ得サルモ大正三年ニハ四十五萬七千貫農家一戸ニ付平均九百十四貫ヲ生産スルヲ得タリ

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 地主會 本會ノ別動體ノ如キモノニシテ其ノ幹部ハ本會ノ役員ノミナレハ本會施設事業ニ極力援助セシメツツアリ
- (二) 青年會 本會トハ何等提携的規約ナシト雖農事統計等ニ付援助セシメツツアリ

兵庫縣

口吉川村農會

美囊郡口吉川村(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ中央部ニ位シ面積一・四二方里東西一里十七町南北二十五町人口三千四百三十五人耕地面積田四百四十七町步畑八町五反步現住總戸數五百九十五戸中農家戸數五百二十戸ヲ占メ殆ント米麥作ヲ主トスル農村ナリ

會員數 五百二十名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村長副會長ハ村内ノ大地主ニシテ共ニ農事改良ニ熱心ナリ幹事二名中一名ハ助役ニシテ一名ハ村吏員ナリ評議員五名ハ村會議員等ノ村内有力者ナリ技術員ハ甲種農學校卒業生ニシテ明治三十九年ヨリ就職ス書記ハ村役場書記之ヲ兼務ス
- (二) 總會 毎年一回定期總會ヲ開催シ必要ニ應シ臨時總會ヲ開催ス出席會員ハ總會員ノ九割ニ達シ議事ハ圓滿ニ進行スルヲ常トス議事終了後郡農業技手、郡農會技術員、其ノ他ヲ招聘シ講話會ヲ開催シ農業上ニ關スル知識ノ普及ニ努ム
- (三) 補助的設備 各部落ニ一名ノ委員ヲ設置シ本會事業ノ實行督勵ニ當ラシメ必要ニ應シテ委員會ヲ開催シ事業施行上ニ關スル打合セヲ爲ス

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	1,511.00	補縣助費	—	補郡助費	—	補村助費	500.000	補上級農會助費	600.000	計	1,111.000	其ノ他	355.000	合計	3,159.993
繰越金	1,766.33	補縣助費	—	補郡助費	—	補村助費	—	補上級農會助費	—	計	—	其ノ他	—	合計	—

(二) 同上 支出決算額

事務所費	會議費	上級農會 對スル負擔金	事業費	其ノ他	合計
一七、〇〇〇	三、九〇〇	五、七〇〇	一〇、〇〇〇	—	三六、六〇〇

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ會員一人ニ付金八錢及會員所有耕地反別一反歩ニ付金貳錢五厘ヲ賦課シ告知書ヲ發シ毎年十月三十一日限り一回ニ徵收ス延納又ハ滯納者ナシ

事業成績

(一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績

▲**稻品種統一** 從來本村ニ栽培スル稻種ハ頗ル多様ニシテ産米改良上種々ノ困難ヲ感シ販賣上ニモ却テ不利益ナルヲ以テ明治三十三年本會設立以來最モ本村ニ好適シ且本村ハ古來酒造酢米トシテ灘地方ヲ主ナル販路ト爲セルヲ以テ酒造用トシテ適當ナルモノヲ選ヒ早中晩各三種以內ノ標準ノ下ニ稻品種統一ニ着手シ明治四十二年ニ至リ奈良穗、白玉神力、庚神等ノ數種ニ限定スルコトヲ得タリ

▲**苗代改良** 從來選種十分ナラス播種厚キニ過キ或ハ病蟲害ノ驅除ヲ忽ニスル等改良スヘキ所頗ル多カリシヲ以テ明治三十四年苗代品評會則テ設ケ播種ノ模様及管理ノ優劣ヲ審査品評シ成績佳良ナルモノヲ賞與シテ其ノ改良ヲ獎勵シ爾來數年繼續スル間ニ自ラ改良ノ實ヲ舉クルコトヲ得タルヲ以テ明治四十一年ニ至リ之ヲ中止シタリ尙共同苗代ニ關シテハ稻作改良及勞力經濟ノ點ニ於テ遙ニ個人苗代ニ比シ効果多キヲ以テ明治三十五年頃ヨリ頻ニ其ノ實施ヲ獎勵シ明治三十七年ニ於テ模範苗代ヲ設ケタルニ苗ノ生育宜シキヲ得本縣苗代品評會ニ於テ二等褒賞ヲ受ケ猶本田移植後ノ成績モ舊作柄ニ比シ良好ナリシヲ以テ一般當業者モ共同苗代ノ有利ナルヲ悟リ各大字ニ共同苗代組合ヲ組織シ明治三十九年ニハ個人苗代ノ跡ヲ絶チ同四十年八月縣令ヲ以テ水稻共同苗代ノ設置規則ノ發布アリ一般民心益々改良ニ嚮ヒ

ヒツツアリシヲ以テ何等ノ故障ナク規則ノ實施ヲ見ルコトヲ得タリ

▲**肥料共同購入ノ斡旋** 肥料ノ購入ハ農家經濟中最モ重要ナルハ論ヲ要セス而シテ村內全般ヲ通スルトキハ其ノ購入額頗ル多額ニ上リ各戸各種ノ方面ヨリ隨意ニ購入セシムルハ頗ル不利益ナルヲ以テ明治三十三年本會ニ於テ共同購入ヲ爲シ確實ナルモノヲ安價ニ求ムルコトヲ得其ノ後三十六年ニ至ル迄年々繼續シタリシカ之ニ依リ村內一般ニ共同購入ノ有利ナルヲ覺知シ各部落ニ於テ年々盛ニ共同購入ヲ爲スニ至レルヲ以テ本會ニ於テハ明治三十七年ヨリ本事業ヲ中止シタリ

▲**耕地整理事業ノ獎勵** 耕地整理ニ就テハ以前ヨリ其ノ必要ヲ認メタルモ尠ナカラス事業費ヲ要スルニ躊躇シ未タ着手ヲ見ル能ハサリシカ明治三十七八年戰役起ルヤ恰好ノ戰時記念事業トシテ之ヲ獎勵シ遂ニ明治三十八年大字大島村ノ工事着手ヲ見明治四十年全工事ヲ竣工スルト共ニ大字殿畑村ハ同年相踵テ工事ヲ起シ明治四十二年全區域ノ完成ヲ見タリ即チ本會ヨリハ獎勵金トシテ成功地反別一反歩ニ付拾錢ノ標準ニ依リ明治三十九年ニ金拾貳圓同四十年ニ金七圓五拾錢同四十一年ニ金貳拾圓合計參拾九圓五拾錢ノ補助ヲ爲シタリ

耕地整理成功反別表

地區	從前ノ土地		成功地		差引増減		工費	一反歩平均
	筆數	反別	筆數	反別	筆數	反別		
二	八八一	五七〇六二〇	七六五	五八、三三三	一一六	一、二六三	八〇八五〇〇〇	一三、八六一

▲**産業組合ノ設置獎勵** 耕地整理ト共ニ明治三十七八年戰役ノ記念事業トシテ産業組合ノ設立ヲ獎勵シ明治三十九年三月大字大島、同四十一年十二月大字殿畑、同四十二年十月大字笹原、同四十三年四月大字西中、同四十四年三月大字久次ニ各購買販賣組合ノ設立ヲ見タリ

▲**農事改良實行規程ノ勵行** 左記規程ヲ制定シテ其ノ實行ヲ督勵シタル結果第一條ノ目的ヲ實行スルヲ得タリ

農事改良實行規程

第一章 總 則

- 第一條 本規程ハ時局ニ對シ農事改良上左記事項ヲ實行スルヲ以テ目的トス
 - 一 米麥種子ノ鹽水選又ハ苦鹽汁選
 - 二 浸種日數及播種量
 - 三 苗ノ正條植
 - 四 米麥作病蟲害驅除豫防
 - 五 堆肥改良綠肥栽培
- 第二條 本規程實行ノ爲各區ニ農事督勵委員二名以上ヲ置ク
- 第三條 委員ハ當該區内會員ノ互選ヲ以テ之ヲ定ム
 - 但シ任期ハ二箇年トシ滿期再選ヲ妨ケス
- 第四條 會長ハ委員ヲ指揮監督シ本規程實行ニ關スル一般事務ヲ處理スルモノトス
- 第五條 委員ハ會長ノ指揮ヲ受ケ當該區内會員ヲ督勵シ率先シテ實踐ノ模範ヲ示シ規程實行ノ責ニ任ス
 - 第二章 米麥選種浸種播種量
- 第六條 米麥種子ハ必ス鹽水又ハ苦鹽汁ヲ以テ共同選種ヲ行フモノトス
 - 但シ該費用ハ當業者ノ負擔トス
- 第七條 會長ハ適當ノ時期ヲ定メ委員ニ通知シ各區内作人ニ於テ浸種ヲ行ハシムモノトシ浸種日數ハ五日乃至十日以内トス
- 第八條 作人ニ於テ會長又ハ委員ノ注意ヲ受クルモ指定日時内ニ浸種ヲ爲ササルトキ又ハ浸種終了日ニ於テ概上ヲ爲ササルトキハ會長又ハ委員ニ於テ人夫ヲ以テ之ヲ實行セシメ其ノ費用ハ當該作人ヨリ支辨セシムルモノトス
- 第九條 播種量ハ一坪ニ付三合乃至六合トス
 - 第三章 稻苗ノ正條植
- 第十條 稻苗ハ繩引其ノ他ノ方法ヲ以テ正條植ヲ爲スヘキモノトス
- 第十一條 委員ハ移植期ニ於テ實地ニ巡回シ正條植ヲ爲ササルトキハ説諭ヲ加ヘ直ニ植直シヲ爲サンム若シ之ニ應セサルトキハ會長又ハ委員ニ於テ臨時人

夫ヲ以テ植直シヲ爲サシメ其ノ費用ハ當該作人ヨリ支辨セシムルモノトス
但シ土地ノ狀況ニ依リ特別ノ事情アルモノハ會長ノ認定ヲ以テ本文ニ依ラサルコトヲ得

第四章 米麥作病蟲害驅除豫防

- 第十二條 病害豫防ノ爲會長ハ適當ノ時期ニ於テ一定ノ日ヲ定メ委員ニ通知シ區内作人ヲシテ左記各項豫防ヲ爲サシムルモノトス
 - 一 麥ノ赤澁病
 - 二 麥ノ黑穗
 - 三 麥ノ斑葉病
- 第十三條 會長ハ時期ヲ失セス時々委員ヲシテ其ノ區内病蟲害發生ノ狀況ヲ視察セシムヘシ委員ハ其ノ發生ノ虞アリト認ムルトキハ直ニ作人及隣接地ノ作人ニ告知シ驅除豫防ヲ實行セシメ即時其ノ實況ヲ町村長及會長ニ報告スヘシ
- 第十四條 會長ハ前條報告ニ接シタルトキハ之ヲ一般會員ニ通知シ驅除豫防ヲ實行セシメ必要ト認メタルトキハ共同驅除豫防ヲ實行セシムルモノトス
- 第十五條 第十二條乃至第十四條ノ場合ニ於テ會長及委員ノ指揮ニ應セス驅除豫防ヲ行ハサルトキハ會長ハ臨時人夫ヲシテ施行シ其ノ費用ハ當該作人ヨリ支辨セシムルモノトス

第五章 堆肥及綠肥栽培

第十六條 會長ノ指揮ニ依リ各區三箇所以上模範堆肥舍ヲ設置シ之ニ倣ヒ漸次實行スルモノトス又現今ノ堆肥場ノ如キ雨露ノ浸入日光ノ透射等ニ依リ養分ノ發散又ハ漏出シ易キモノハ之ニ對シ適當ノ措置ヲ行フモノトス
各區ニ於テ會長ノ指揮ニ依リ綠肥栽培ヲ漸次實行スルモノトス

第六章 報酬及違約金

- 第十七條 委員ハ名譽職ニシテ報酬ヲ給セス
 - 但シ場合ニヨリ特ニ日當金貳拾錢以内ヲ支給スルコトヲ得
- 第十八條 本規程ニ違反シタルトキハ委員會ノ決議ニ依リ五錢以上五拾錢以下ノ違約金ヲ徵スルコトアルヘシ
- 第十九條 違約金ハ農會經費ニ繰入ルルモノトス

第七章 附 則

第二十條 本規程ハ明治三十七年六月ヨリ之ヲ施行ス

(二) 現時ノ事業成績

▲改良米共同販賣ノ斡旋 當地方ノ產米ハ古來播州米、鳥居米ト唱ヘ聲價高ク灘地方酒造醃米トシテ需用者ノ賞讃ヲ博シ來リシカ年貢米廢止後漸次米ノ調製及俵裝粗惡ニ流レ聲價次第ニ失墜シタルヲ以テ之カ回復ヲ圖ル爲明治三十三年

村農會事業トシテ改良米販賣規程ヲ設ケ品質、調製、俵裝等ノ改良ヲ圖リ會員ノ希望ニ應ジ各自收穫米ニ就キ嚴密ナル検査ヲ行ヒ合格米ニ限リ口吉川村改良米トシテ灘地方ニ於ケル有力ナル酒造家へ共同販賣ヲ爲スコトトセリ然ルニ共同販賣加入ヲ申込ムモノ少ナカリシカハ各々委員等ハ熱心勸奨ニ當リ各作人ハ一町歩ニ對シ一石以上必ス供出セシムルコトトシ初年ニ四百石餘ヲ直接販賣セシニ意外ニ好結果ヲ得普通時價ヨリ一石ニ付壹圓五拾五錢ノ高値ニ販賣シタルヲ以テ一般其ノ有利ナルヲ悟リ次年ヨリ米質調製ノ改善及容量ノ確實ニ留意シタル爲醸造家ノ信用ハ歲ヲ追テ厚キヲ加ヘ價格ハ普通米ニ對シ毎年壹圓内外ノ高値ヲ保持スルニ至リタルニ依リ會員ハ益々共同販賣ノ必要ヲ認メ漸次ニ販賣石數ヲ増加スルノ趨勢ヲ示セリ然レトモ一區劃ヲナス本村内ト雖モ各部落ニ於ケル土質施肥等ニ多少ノ相違アリ從テ供出ノ米質ヲ幾分異ニスルヲ以テ酒造家ノ希望ハ可成的米質等シキヲ欲シタルト一面ニ於テハ検査及販賣ニ多大ノ日時ヲ要スル不利アルヲ認メタルニ依リ更ニ各々大字ニ於テ改良米共同販賣ヲ實行スルコトトナリ各戸賣米ノ殆ト全部ハ之ニ於テ賣却セラレツツアリ以上ノ如ク本事業ハ益々發達シ地方産米ノ聲價ヲ回復シ大字共同販賣ノ基礎確實ニ至レルヲ以テ四十年一度本事業ヲ中止シ大正元年再ヒ本事業ヲ開始セリ其ノ取扱數量ハ僅少ナルモ農會ノ販賣價格カ大字共同販賣價格ノ標準トナリ其ノ効果顯著ナリ

農會改良米共同販賣石高

年次	種別	改良米供出石數		普通米一石ノ價格		一石ニ付雜費	總益金額
		一石ノ價格	普通米一石ノ價格				
大正二年		一〇〇.五	二四.五〇〇	二二.五〇〇	—	二,四五〇.〇〇	
同三年		二〇〇	一四.四〇〇	一三.〇〇〇	〇.六三	二,八六七.五〇〇	
同四年		一三二	一八.三三〇	一四.五〇〇	〇.六三	二,四一一.二七四	

▲俵米品評會ノ開催 別項記載ノ如ク從來村農會改良米トシテ年々灘地方酒造家ニ販賣ヲ實施シ來リ頗ル好評ヲ博セ

リ而シテ之カ聲價ノ隆替ハ直ニ本村ノ米價ニ影響ヲ及ホスコト抄ナカラサルヲ以テ一層米質改良ノ必要ヲ感スルコト痛切ナルモノアリ依テ大正三年ヨリ各農家ノ供出セシ農會改良米ニ就キ其ノ米質ノ優劣ヲ審査品評シテ等級ヲ付シ優良ナルモノニ賞與シ以テ極力米質ノ改良ニ努ムコトヲ期セリ施設日尙淺キヲ以テ充分其ノ成績ヲ發表スルニ至ラサルモ一點一升乃至一俵ニ限リテ出品セシムル品評會ニ比シ供出米全部ニ付各俵毎ニ役員出張ノ上審査米ヲ拔取ルノ規定ナルカ故ニ産米改良上ニ於ケル効果甚タ大ナルヲ認ム

▲小作米品評會ノ開催 米質ノ改良ヲ圖リ且本縣米穀検査規則ノ實施ニ當リ地主小作人間ノ融和ヲ圖ラム爲明治四十二年小作米品評會規則ヲ設ケ小作米一俵以上ヲ收納スル地主ヨリ小作人立會ノ上出品米ヲ拔取り出品セシメ其ノ優劣ヲ審査品評シ等級ニ從ヒ地主ヨリ副賞ヲ爲サシムルコトトシ年々繼續シテ本年ニ至レリ一ハ米質ノ改良ヲ遂ケ一ハ小作人保護ノ策トシテ其ノ成績頗ル佳良ナリ毎年出品點數四、五百點ニ達ス

▲拔穂品評會ノ開催 稻品種ノ改良ニ努メ優良ノ種子ヲ選擇スルハ産米改良上最モ緊要ナリ本會ハ之カ改良ノ一策トシテ大正元年拔穂品評會規則ヲ設ケ拔穂ノ優劣ヲ品評シ種子ノ改善ニ努ム從來種籾ノ選擇ハ唐箕選、篩選、水選、鹽水選等ニ依リ行ハレシモ其ノ母本選擇ニ對スル觀念ニ乏シカリシカ本品評會開始以來深ク母本ニ對スル注意ヲ喚起スルニ至レリ

▲採種田立毛品評會ノ開催 稻種子選擇改良ノ確實ヲ期セムカ爲大正二年十月採種田立毛品評會規則ヲ設ケ拔穂品評會ニ於テ一等、二等ニ當選セシ種籾ヲ栽培セシメテ其ノ立毛ヲ更ニ審査品評シ系統的ニ種子改善ヲ圖リツツアリ

▲採種田ノ設置 明治四十四年以來郡農會採種田ニ於テ生産セシ稻原種ノ配布ヲ受ケ村内篤農家ニ其ノ栽培管理ヲ委嘱シ生産シタル種子ハ翌年ノ種籾トシテ各々大字へ配布シ以テ漸次村内齊一ニ之カ改良ノ實ヲ揚ルニ努メツツアリ前二種品評會ト共ニ種子選擇上ノ効果大ナルモノアリ

▲産米改良ノ奨励 本會夙ニ産米改良ノ必要ヲ認メ改良米販賣ニ關スル規程ヲ設ケ年々之カ實行ヲ爲シタルト、一面明

治四十一年米穀検査規則ノ實施ニ依リ嚴密ナル検査ヲ爲シタルトニ依リ益々産米ノ聲價ヲ發揚シツツアリ又其ノ一助トシテ明治四十二年ヨリ米穀検査ニ必要ナル俵箋及卷封ヲ一般農家ノ必要ニ應シ配布シ來レリ

▲米麥作多收穫品評會ノ開催 米質ノ改良ニ關シテハ既ニ百方意ヲ注キ各方面ヨリ之カ改良ヲ企テ着々好成绩ヲ得ツツアリ然レトモ農家經濟上ヨリ打算スルトキハ品質ノ改善ハ其ノ價格昇騰ヲ促ス上ニ於テ最モ必要ナルハ勿論ナリト雖一面之カ經濟的多收穫モ亦緊要ノコトニ屬ス仍テ本縣農會ニ於テ米麥作競進會ヲ開催セラルルニ依リ本會ニ於テモ大正四年五月規則ヲ設ケ系統的ニ本品評會ヲ催シ其ノ優秀ナルモノヲ選抜シ郡農會ニ出品スルコトトセリ本事業モ未タ其ノ成績ヲ見ルノ時期ニ至ラサルモ經濟的ニ多收ヲ得ル方法ニ付各方面ヨリ攷究シツツアリ

▲害蟲驅除豫防ノ勵行 本會設立以來害蟲驅除豫防ニ關シテハ常ニ之カ實行ヲ獎勵シ明治四十年誘蛾燈及除蟲液ノ共同購入ヲ爲シ殊ニ麥奴、螟卵採取ハ小學校兒童ヲシテ爲サシムルコトノ好結果ナルヲ認メ明治三十五年ヨリ毎年教員監督ノ下ニ之ヲ實行セシメ採集數ニ應シ兒童ニ褒賞ヲ授與シ來レリ而シテ小學校兒童ノ害蟲卵ノ採取數ハ年々數十萬ニ上レリ

▲堆肥製造ノ獎勵 地力維持及經濟的肥料トシテ堆積肥料ノ最モ合理的ナルヲ認メ明治三十七年各大字ニ一箇所以上ノ模範堆肥場ヲ設置シ其ノ普及ヲ圖リタルモ同三十八年ニ於テハ完全堆肥舍ニ依リ實行スルモノ僅々十名ニ過キヌ本會ハ各大字委員ト協力シテ極力其ノ獎勵ヲ爲シ同三十九年ニ至リ漸ク完全堆肥製造者十九名ヲ數フルニ至リ明治三十九年ヨリ縣農會、同四十年ヨリ郡農會ニ於テ堆肥品評會ヲ開キテ其ノ普及ヲ獎勵セラルルアリカヲ併セテ勸奨セシニ同四十二年ニ至リ完全堆肥舍二十三箇所改造堆肥舍二十六箇所ニ達シ益々發達ノ氣運ニ向ヒタルヲ以テ同四十三年ヨリ村農會事業トシテ堆肥品評會ヲ開催シ爾來年々之ヲ繼續シ來レルカ益々其ノ普及ヲ圖ラム爲大正二年ヨリ從來ノ個人本位ノ審査等級ヲ大字本位トシタル結果各大字競フテ之カ改良發達ヲ圖リツツアリ年々ノ堆肥舍ノ新設數及改造數左ノ如シ

年次	新築堆肥舍數	改造堆肥舍數	合計	果計	
				計	果
大正元年	二	一	三	一六二	一六二
同二年	五	一六	二一	一八三	一八三
同三年	六	九	一五	一九八	一九八

▲綠肥栽培ノ獎勵 堆肥製造ト共ニ綠肥栽培ヲ獎勵シ青刈大豆栽培ヲ爲サシメ紫雲英種子共同購入ヲ斡旋シ自家用採種補助等極力其ノ普及ヲ獎勵シツツアリ紫雲英栽培ノ成績左ノ如シ

年次	種子數量	作付反別	共同購入		其ノ他ノ購入		自家採種
			石	斤	石	斤	
大正二年	一五〇二三	五〇九〇〇	五四〇〇	二六七八	六九四五	六九四五	
同三年	六三〇〇	三〇五〇〇	一七〇〇	一一〇〇	三四〇〇	三四〇〇	
同四年	八〇五〇	三一五七〇	二〇〇〇	二〇四〇	四〇一〇	四〇一〇	

▲畜産ノ獎勵 畜産獎勵ニ關シテハ主トシテ牛ノ肥育及繁殖ヲ圖リ或ハ視察員ヲ派遣シテ先進地方ノ實況ヲ考察セシメ(明治四十二年視察員十一名ヲ但馬地方へ派遣シタリ)或ハ明治四十三年ヨリ牝牛交尾獎勵金ヲ交付シ(一頭五拾錢)尙明治四十五年ヨリ牝牛去勢獎勵金(一頭五拾錢)ヲ交付シ來レリ普通農事ニ比シ幼稚ナレトモ漸次發展ノ氣運ニ向ヒツツアリ

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 青年會 本會採種田生産ノ米麥種子ヲ青年試作田ニ配布シ栽培セシメ又農事統計調査ノ任ニ當ラシム
 - (二) 産業組合 産業組合ニ於テ購入スヘキ肥料ノ共同購入及組合員ノ生産セシ米ノ共同販賣ノ斡旋ヲ爲ス
- 其ノ他參考トナルヘキ事項

▲産米ノ販路調査 毎年一、二回産米出廻期ニ先チ本村米唯一ノ販路タル灘西宮地方ニ於ケル酒造家ヲ歴訪シ相互ノ要求及希望ヲ交換シテ意志ノ疎通ヲ圖リ又新規ナル販路ヲ調査シ以テ本村産米ノ聲價ヲ發揚スルト共ニ一層販路ノ擴張ニ努メツツアリ

黒田庄村農會

多可郡黒田庄村(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ東部ニ位シ十三箇部落ヨリ成リ面積一方里半土地肥沃ニシテ米麥作ニ適ス耕地面積田四百五十八町五反歩畑七十七町歩農家戸數九百十四戸住民ハ殆ント農ヲ業トス副業トシテ繭、葦細工製品、箆、釣針等ノ生産アリ一箇年ノ生産額參萬七千八百拾貳圓ニ達ス

會員 數 一千六十九名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村長ニシテ副會長ハ助役、幹事一名アリテ村役場ノ收入役之ヲ兼ヌ評議員五名ハ全部村會議員ニシテ區長ヲ兼ヌルモノ三名アリ技術員ハ第一回本縣農會主催町村農會技術員養成講習會ニテ講習ヲ修得セル者ニシテ明治四十年十月村役場書記兼本會書記トシテ就任シ明治四十四年一月技術員ヲ兼務スルニ至レリ
- (二) 總會 毎年二回開會ス出席會員ハ總數ノ殆ト全部ニ達スルヲ例トス議事決了後其ノ年内ニ於ケル事業施行方法等ニ付協議ス

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	七四、〇〇〇	繰越金	七六、〇〇〇	補助金	補縣助費 三〇、〇〇〇	補郡助費	—	補助金	補村助費 一五〇、〇〇〇	補助金	補上級農會助費 二九六、〇〇〇	計	四六六、〇〇〇	其ノ他	五七八、〇〇〇	合計	一、八六四、〇〇〇
----	--------	-----	--------	-----	-------------	------	---	-----	--------------	-----	-----------------	---	---------	-----	---------	----	-----------

(二) 同上 支出決算額

事務所費	三三、七〇〇	會議費	一〇、〇〇〇	對上級農會ニ對スル負擔金	一三、〇〇〇	事業費	一、五〇〇、〇〇〇	其ノ他	一一〇、〇〇〇	合計	一、七八六、〇〇〇
------	--------	-----	--------	--------------	--------	-----	-----------	-----	---------	----	-----------

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ耕地反別及其ノ地價ニ折半シテ分賦シ毎年六月及十二月ノ二期ニ徵收ス滯納者ナシ

基本財産 現在高金壹百八拾貳圓九拾六錢

保營ハ全部大志銀行へ定期預金トシテ預ケ入レ積立方法ハ毎年繰越金中ヨリ積立ツルモノニシテ明治四十年ヨリ三箇年間ハ金拾圓宛ヲ蓄積シ其ノ以後ハ年額貳拾圓宛ヲ連年繼續積立テ利殖ヲ圖リツツアリ

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
- ▲除草品評會ノ開催 除草ノ完全ヲ圖ル目的ヲ以テ明治三十七年ヨリ實施シタル事業ニシテ多少除草ノ技術經驗ヲ有スル者ニ賃金ヲ給シテ請負的ニ實施セル田地ニ對シテノミ之ヲ比較品評スルモノナリ而シテ成績優良ナルモノヨリ等級ヲ附シ賃金以外ニ賞金ヲ交付ス除草請負賃金ハ一反歩ニ對シ玄米一斗ニ相當スル時價額ヲ支給スルノ定ナルモ時トシ

テ米價騰落ニ應シ賃金ヲ増減セサルコトアリ審査ハ除草ノ都度之ヲ行ヒ第五回除草即チ最終除草ヲ了シタルモノニ付第一回以來ノ採點ヲ綜合シテ村長、區長、管理者等數名ニテ其ノ優劣ヲ審査ス斯クシテ連年繼續獎勵セルノ結果漸次除草ノ全完ニ行ハルルニ至リタルヲ以テ明治四十年ヨリ之中止セリ

▲小作米品評會ノ開催 小作米ノ品質、調製、俵裝等ノ優劣ヲ審査スルト共ニ地主小作人間ノ融和ヲ圖リ産米ノ改良ヲ期スル爲明治三十七年ヨリ繼續施行セル事業ニシテ別ニ規則ヲ設ケサルモ小作米一俵(五斗入)ノ内ヨリ二勺ヲ納米ノ際地主小作人立會ニテ拔キ取り各地主ハ一定ノ場所ニ之ヲ陳列シテ比較品評シ優良ナルモノニ對シテハ一等壹圓内外、二等五拾錢内外、三等參拾錢内外ノ獎勵品(四等褒狀)ヲ與ヘ年々米質ノ統一、調製、俵裝等ノ改良ヲ爲シ地主小作人間ノ親善ヲ圖ルニ至リタルカ故ニ明治四十三年ヨリ之中止セリ

(二) 現時ノ事業成績

▲講習講話會ノ開催 年々米麥作改良、養蠶其ノ他副業ノ改良獎勵ノ爲毎年二回以上講習講話會ヲ開催シツツアリ

▲種苗ノ改良 種苗ノ改良ヲ圖ラムカ爲優良種苗ノ配布、共同購入及交換斡旋等ヲ爲シツツアリ最近三箇年ノ取扱高左ノ如シ

年次	種別	種類	品名	種別	方法	數量	量	人員
大正二年	稻	山田	四	交換	斡旋	九五〇	五	
同上	麥	相洲外	八種	無	代配	三五〇	一〇	
同上	桑	九紋龍外	二種	共	同購入	一一、八三〇	二六	
同上	牧	紫雲英	一種	無	代配	三〇〇	三〇	
同上	蔬	宮重大根外	四種	同	上	四七〇	三〇	

年次	種別	種類	品名	種別	方法	數量	量	人員
同上	桑	九紋龍外	一種	共	同購入	一、二五〇	四	
同上	蔬	宮重大根外	四種	有	價配布	二五〇	四	

▲害蟲驅除豫防ノ獎勵 小學校生徒ヲシテ害蟲及螟蟲ヲ採取セシメ之ヲ買上ケタル高左ノ如シ

年次	種別	種類	螟	蛾	尺	蠶
大正二年	稻		六七、四九七	二七、二七五		二二〇一
同上	麥		九三、七八八	四五、五六四		二六一、八六〇
同上	桑		一六八、二九七	六六、三二一		

▲農業及蠶業ノ技術員養成 本會ヨリ補助ヲ與ヘ養成シタル農業及蠶業ノ技術員數左ノ如シ

- 縣立蠶業學校別科卒業者 二名
- 水上郡和田蠶業講習所卒業者 四名
- 縣農會主催農業技術員講習會終了者 三名
- 縣立農學校別科終了者 十名

▲改良米共同販賣ノ斡旋 産米ノ聲價ヲ向上セシメ農家ノ經濟ヲ圓滑ナラシムル目的ヲ以テ改良米ノ共同販賣ヲ行ヘリ其ノ成績左ノ如シ

年次	種別	取扱俵數	一石ノ平均賣價	單獨賣ニ比シ一石ノ利益高
大正元年	稻	一、三三五	二二、六〇	相場高低常ナラス比較シ難シ
同上	麥	一、九九〇	二二、六五	參拾錢乃至五拾錢高價
同上	桑	二、七六六	一二、七五	相場高低常ナラス比較シ難シ

年々取扱數ノ増加セルハ其ノ成績ノ顯著ナルニ依ル大正五年ハ本村産米ノ全部ヲ農會ニ於テ共同販賣スヘク協議進行

シツツアリ

▲俵米品評會ノ開催 産米ノ改良發達ヲ促ス爲年々俵米品評會ヲ開催ス出品ハ一人二俵以内ニシテ必ス青一等タルヲ要スルノ規定ナリ其ノ成績左ノ如シ

年次	利別	出品俵數	一石ノ賣價	備	考
大正元年	上	三一	二五〇〇〇	郡内最高價額	
同 二年	上	三〇四	二四〇〇〇	同 上	
同 三年	上	三五	一四五〇〇	同 上	

▲蠶繭品評會ノ開催 毎年蠶繭ノ改良及養蠶獎勵ノ目的ヲ以テ開設ス大正四年ニハ第四回ヲ開催シ出品點數百三十六點ヲ得其ノ成績良好ナリ特ニ大正四年ニハ繰繰審査ヲ爲シ屑物量、製絲量、繰繰時間等ヲ審査シ之ヲ公表シ養蠶家ヲ裨益シタルコト頗ル大ナリキ

▲農事視察員ノ派遣 毎年四回以上先進地ニ農事、蠶業又ハ林業ノ視察員ヲ派遣シ其ノ成績良好ナリ

▲肥料共同購入ノ斡旋 農家ノ最大支出タル米麥作肥料ヲ經濟的ニ購入セシムル爲大正二年ヨリ本事業ヲ創設シ運賃ノ一部ヲ補助シツツアリ施設日尙淺ク充分ナル効果ヲ見ル能ハサルモ申込人員モ逐年増加シ良好ナル成績ヲ得ツツアリ其ノ成績左ノ如シ

年次	種別	肥料品目	取扱數量	單	價	代	價
大正二年	上	籾	一、七四三	四十貫ニ付	一八・八〇		九三四
同 三年	上	籾	二八二		一六・三〇		

年次	種別	肥料品目	取扱數量	單	價	代	價
同 三年	上	籾	一、一八四	一貫ニ付	一六・九〇		五〇〇
同 四年	上	籾	一〇三	十貫ニ付	一五・三〇		三九
同 五年	上	籾	五四	十貫ニ付	四・四五		二四
同 六年	上	籾	八九	一枚ニ付	一・二六		一一二
同 七年	上	籾	二五〇	四十貫ニ付	一七・五二		一〇九

▲模範桑園設置ノ指定 桑園ノ改良ヲ目的トシ大正元年ヨリ村内ニ五箇所乃至十箇所ノ模範桑園ヲ指定シ以テ桑園改良ノ範ヲ示シツツアリ其ノ方法ハ一蠶業組合ヨリ三筆以内ノ優良桑園ヲ豫選セシメ之ヲ審査シ豫算ノ範圍ニ於テ獎勵金ヲ交付スルモノニシテ一ノ桑園品評會ニ相似タリ而シテ本會區域内ニハ郡農會及縣農會ノ模範桑園各一箇所宛アリ

▲稚蠶共同飼育ノ經營 稚蠶共同飼育ハ村農會直接之ヲ經營シ大正四年ニハ十個ノ既設蠶業組合ヲ整理シ五組合ト爲セリ掃立枚數ハ春蠶ニ在リテハ年々約二百八十枚ナレトモ秋蠶ニ在リテハ近年掃立枚數著シク増加シ大正二年百四十五枚ナリシヲ大正四年ニハ二百七十二枚ニ増加スルニ至レリ

▲堆肥舎建設ノ獎勵 農家ノ自給肥料ヲ普及シ合理的生産ヲ爲サシムル爲本會指導ノ下ニ年々補助金ヲ交付シテ堆肥舎建設ヲ獎勵シタル結果當業者モ堆肥舎ノ有利ナルヲ會得スルニ至リ大正三年ニハ三十二箇所ノ建設數ヲ見ルニ至レリ

▲黒田庄村蠶業會ノ設立斡旋 養蠶家ノ聯絡ヲ圖リ且指導獎勵ノ機關トシテ明治四十五年黒田庄村蠶業會ヲ設立シ毎年本會ヨリ補助金ヲ與ヘ村農會長以下役職員ハ總テ同會ノ役職員トナリ村農會區域内ノ蠶業組合ヲ統一スルモノニシテ養蠶家ノ利益ヲ保護スル爲乾繭殺蛹場(價格壹千九百圓)ヲ有シ繭ノ共同販賣、視察員派遣等ノ事業ヲ行ヒツツアリ種牡牛ノ設置 改良和種一頭ヲ購入シ會員ニハ一頭五拾錢宛ノ料金ヲ徴シ交尾セシメ頭數ノ増加ヲ圖リツツアリ右ハ

大正三年ヨリ創始シタルモノニシテ日尙淺ク同三年ハ漸ク三十頭ノ交尾數ヲ見タリ

▲農場經營 毎年一反四畝歩ノ農場ヲ直營シ米麥ノ種類試驗及肥料試驗ヲ行ヒテ一般ノ參考ニ供シ一面ニ於テハ其ノ採

種シタル米麥種子及桑苗等ノ優良ナルモノハ會員ニ無代又ハ實費配布ヲ爲シ成績頗ル見ルヘキモノアリ

▲生産米ノ等級識別 本村生産検査員ニ依囑シ生産検査ノ際甲、乙、丙ノ等級ヲ付シ以テ自家生産米ノ良否ヲ受檢者ニ

知得セシメ役職員ハ必ス之ニ立會シ産米改良ノ必要ヲ會得セシムルニ努メツツアリ

▲技術員ノ設置 明治四十四年一月ヨリ技術員ヲ設置シ爾來專ラ一般農家ノ實地指導獎勵ニ當ラシメツツアリ從來本村

ニ於ケル一般農業狀態ハ極メテ幼稚ニシテ農事改良上ノ獎勵事項ハ普ク徹底セサルノ憾アリシモ技術員設置以來農業

補習教育ニ當ラシメ又ハ講習講話會ヲ開キテ知識ノ啓發ニ努メツツアリ其ノ成績最モ顯著ナリ

農會ト各種團體トノ聯絡

(一) 蠶業會 本會ハ蠶業會ト聯合シテ講話會ヲ開催シ組合ニ於テ購入スル蠶種ノ選定、蠶具共同購入、産繭共同販賣等ノ斡旋ヲ爲シツツアリ

長 崎 縣

下波佐見村農會

東彼杵郡下波佐見村(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ中央部ニ位シ二・四六九方里東西ハ山脈連亘シ南北ノ一部及中央部ハ平坦ナリ人口四千百九人耕

地面積田四百五十二町三反步畑二百七十三町六反步アリ農家六百七十四戸住民ハ殆ント農ヲ業トス副業トシテハ藻細

工、紙製造、養鶏、養蠶、園藝、林業等アリ

會員 數 六百七十四名

事業ノ施行機關

(一) 役職員 會長ハ二十有餘年間村長ノ職ニ在リ傍ラ縣農會議員、同評議員、郡農會副會長、長崎縣森林會議員等ヲ兼務ス副會長ハ本村助役ニシテ十有餘年小學校長ノ職ニ在リシ者ナリ幹事二名評議員七名ハ孰レモ村内ノ篤農家ナリ技術員ハ甲種農學校卒業後本縣立農事試驗場練習課目ヲ修得シタル者ニシテ大正四年四月ヨリ就任シ書記ヲ兼務ス

(二) 總會 毎年一回開催ス出席者ハ殆ト會員全部ニシテ缺席者ヲ見ルコト稀ナリ其ノ他評議員會一回ヲ開キ縣又ハ郡ノ

技術員ヲ聘シ講演會、視察報告會等ヲ開キテ會員ノ知識啓發ヲ圖レリ

(三) 補助的設備 各郷毎ニ進農會アリ或ハ農事改良實行組合ヲ設ケ事業ノ實行督勵ニ當ラシム

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	繰越金	補助	補助	補助	補助	計	其他	合計
—	九九八七	—	—	二五〇〇〇	一〇〇〇〇	二五〇〇〇	五四・五八〇	三一四・五六七

(二) 同上 支出決算額

事務所費	會議費	對上級農會ニ對スル負擔金	事業費	其他	合計
三四九〇	五六二〇	一三八〇・〇〇	九〇・〇〇	七一・五七〇	三〇八・六一

基本財産 現在高金壹千參百五拾圓

長崎縣

本會基本財産造成ヲ計畫シ耕地田一反歩ヲ有スル會員ヨリ米二合宛毎年秋季ニ醸出シ明治三十九年ヨリ引續キ八箇年間ノ蒐集米ヲ賣却シ其ノ代金ヲ蓄積利殖シタリ其ノ成績左ノ如シ

年次	種別	種別		年次	種別	種別	
		蒐集米賣却代	利			子	蒐集米賣却代
明治三十九年		一、八、一五〇		明治四十四年		一九七、六四〇	
同 四十年		一、二、五六四		大正元年		一七六、六四五	
同 四十一年		一、〇、三二二		同 二年		一三八、五八〇	
同 四十二年		九、二、一一五		同 三年		蓄積ナシ	
同 四十三年		一、一、六七九		計		一、〇、六、八七三	
							二、五、七三五
							三、八、六一五
							四、七、一一一
							五、四、五八四
							二、一、六、〇五七

右基本金利用ノ方法トシテ之ヲ農業資金(牛馬、農具等ノ購入費)又ハ生計資金ニ低利貸付ヲ爲シ其ノ成績良好ナリ關係規程左ノ如シ

下波佐見村農會基本金貸付規程

- 第一條 本村農會基本金ハ左ノ要件ノ一ニ該當スルモノニ限リ貸與ヲ爲スモノトス
 - 一 本村内ノ者ニシテ分家ヲ爲シ資産ニ乏シキモノ
 - 一 他村ヨリ轉籍シ資産ニ窮シタルモノニシテ永住ノ見込アルモノ
 - 一 本會員ニシテ事情不得已モノ
- 第二條 前各項ニ該當スル農事ニ従事スルモノニ非サレハ貸付ヲ爲ササルモノトス
- 第三條 貸付ヲ爲スニハ一人一口ニ限ルモノニシテ其ノ貸付金額ハ參拾圓以内トス
 - 但シ其ノ當時ノ場合ニ依リテハ金五拾圓以内ヲ貸付スルコトアルヘシ
- 第四條 貸付金ハ五箇年以内ノ年賦償還法ニシテ年五朱ノ割ヲ以テ其ノ償還額ト共ニ毎年十二月廿五日限リ拂込ムモノトス
- 第五條 貸付ニ關スル調査及貸出方法ハ其ノ時々評議員會ニ於テ決定スルモノトス
 - 但シ實費ヲ給セス

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
 - 過去ニ於テ施設シタル事業ハ今尙繼續施行セルカ故ニ特ニ記スヘキモノナシ
- (二) 現時ノ事業成績
 - 種子及苗木ノ配布 本事業ハ明治四十五年迄縣農會ニ於テ行ヒシモ大正二年ヨリ郡農會ノ事業ニ移レルヲ以テ本會ハ郡農會ヨリ其ノ配布ヲ受ケ米麥配布規程ヲ設ケ之カ配布ヲ爲シタルヲ以テ漸次品種ノ改良統一セララルニ至レリ其ノ成績左ノ如シ

種別	年次	年次			
		大正二年	同 三年	同 四年	同 五年
米		一、八〇五	一、六七五	一、四七五	一、四七五
麥			四六二	五〇八	

- 桑苗ノ配布 郡農會ト連絡シ桑苗配布規程ヲ設ケ桑園ノ増殖ヲ圖リツツアリ大正四年ノ配布數一萬五千有餘本ニ達セリ
- 肥料共同購入ノ開始 本縣農會共同購買事業ヲ開始シタルヨリ毎回之ニ加入シ安全廉價ナル肥料ノ購入ニ努メタル結果逐年申込數増加スルニ至レリ
- 稚蠶共同飼育所ノ設置 明治四十四年始メテ一箇所ヲ設置セルニ其ノ成績良好ナルヲ認メ漸次増加シテ本年ニ至リ四箇所ノ設置ヲ見其ノ掃立蠶量一箇所平均十匁内外トス
- 産米検査ノ實行 明治四十四年ヨリ左記米質改良規約ニ依リ實行ノ結果容量ノ一定、乾燥、調製等著シク改良セラレ

波佐見米トシテ名聲ヲ揚クルニ至レリ

米質改良規約

- 第一條 改其米ト稱スルハ樹取人及改人ノ證書アルモノニ限ル
 - 第二條 樹取人ハ自己ノ姓名、數量及米主ヲ記シ内札トシ改人ハ米主ノ住所姓名及自己ノ姓名ヲ木札ニ記シ俵面ニ烙印ヲ捺捺スヘシ
 - 第三條 改其米ハ玄米三斗四升四合入量目ハ九十二斤以上九十六斤以下トス
 - 第四條 樹取人ハ米ノ選擇ヲ嚴密ニシ粗惡ナルモノハ再三選擇ヲ命ジ純良ナルモノニ非サレハ樹取ヲ爲スヘカラス
 - 第五條 樹取人ハ證書ヲ挿入シ俵ノ口止ヲ爲サシメ兩口ニ封印ヲ施スヘシ
 - 第六條 改人ハ樹取人ノ封印、米運及俵裝等ヲ檢シ量目ノ確實ナル時ハ木札ヲ渡シ烙印ヲ爲スヘシ但シ樹取人ニ於テ米ノ選擇ヲ等閑ニ附シタルヲ發見シタル時ハ直ニ改選ヲ命ジ村農會長及其ノ樹取人ニ通知スヘシ
 - 第七條 樹取人ハ便宜代理者ヲ以テ代ルコトヲ得
 - 第八條 賣米ハ改其米ニ非サレハ一切禁止スルモノトス但シ飯米ノ目的ヲ以テ貯藏シ殘餘アル場合及糠米ニテ販賣スル分ハ此ノ限リニ在ラス
 - 第九條 樹取人給ハ一俵ニ付五厘トシ村農會費ノ支給ヲ受タルモノトス
 - 第十條 樹取人ハ附屬員ノ筆務トシ改人ハ村農會ニテ選舉シ各區ニ配當セラルモノトス但シ改人ノ任期ハ二箇年トシ再選スルモ妨ナシ
 - 第十一條 田畑納米ハ十二月末日限リ各地主ニ完納スルモノトス
 - 第十二條 該規約ニ違約シタルトキハ一俵ニ付拾錢ノ違約料ヲ徵收シ村農會ニ送納スルモノトス
- ▲農事視察員ノ派遣 毎年一人ニ付金五圓ヲ補助シテ縣内ヘ二名、縣外ヘ二名ヲ出シ優良ナル農村ヲ視察セシメテ農事改良上ノ參考ニ供ス
- ▲倉庫ノ建設獎勵 米倉庫ハ兵邊田郷平瀬ニ明治四十四年一棟ヲ建設シタルニ其ノ成績見ルヘキモノアリ以來之カ建設ヲ獎勵ス
- ▲共同販賣ノ獎勵 大正四年長野郷ニ於テ該部落ニ於ケル生産品ノ共同販賣ヲ行ヒシニ其ノ成績良好ナレハ漸次他部落ニ及ホサントス
- ▲技術員ノ設置 大正四年ヨリ技術員ヲ設置シ各部落ノ巡回指導ニ當ラシメ一面本會書記ヲ兼ネシメ業務ノ發展ヲ圖リ

ツツアリ

- ▲堆肥ノ獎勵 近年金肥ノ使用漸次盛ンナル爲地方ノ減耗ヲ來ス虞アレハ自給肥料ノ施用ヲ獎勵スルト共ニ堆肥舍ノ改良ヲ圖リツツアリ又自給肥料ノ原料不足ヲ告クルニ依リ部落ニ近キ共有林ヲ伐採シテ原野ト爲シ其ノ用ニ充テ一面綠肥栽培ヲ獎勵シ一方明治四十四年ヨリ模範堆肥舍ノ建設ヲ各部落ノ有志ニ督勵スルト共ニ其ノ普及容易ナラシムル爲大正四年一月以來各部落ニ堆肥舍建設ノ講話會ヲ組織セシメ之カ建設ヲ促シツツアリ
- ▲村農會規約勵行 朝ハ午前五時迄ニ起床シ夕ハ星ヲ戴イテ歸ル夜ハ二時間ノ夜仕事ヲ行ハサレハ眠ラサル習慣ヲ養成シツツアリ毎月一回各郷ノ集會ニ際シ勤儉力行ノ必要ヲ説キ其ノ精神ヲ堅クセシムルト共ニ個人貯金及共同貯金ヲ勵行セシム其ノ他冠婚葬祭費ヲ節約シテ多額ノ失費ヲ禁止ス而シテ個人トシテ特ニ優良ナルモノニハ郷村ニ於テ表彰シ一郷トシテ優良ナルモノニハ村ヨリ表彰ス其ノ規約左ノ如シ

下波佐見村農會規約

- 第一條 下波佐見村内ニ居所ヲ定メ耕地原野ヲ所有シ若ハ農作ヲ營ムモノハ總テ該規約ヲ遵守スルノ義務アルモノトス
- 第二條 他村ヨリ轉住者ハ村内ノ分家ハ可成便利ヲ與ヘテ戸數増加ヲ圖ルコト但シ一定ノ職業ナク不貞ノ行爲アリト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 第三條 他村ニ轉住セントスル者ハ豫メ其ノ郷會員ニ申出テ同意ヲ得ルコト
- 第四條 前條ノ申出アルトキハ轉住ノ事情ヲ評査シ事實不得巳トキハ同意ヲ爲スト雖可成便利ノ方法ヲ講シ農家減少ノ防遏ニ努ムルコト
- 第五條 種子ノ交換、選種ノ實行ニ努メ増收ノ目的ヲ遂行スルコト
- 第六條 肥料ハ専ラ自給肥料ヲ使用スルヲ目的トスルト雖購入ヲ要スルトキハ組合ヲシテ共同購入ノ斡旋ヲ爲サシム
- 第七條 夏季ノ晝休ミハ二時間トシ晝寢ハ可成廢止スルコト
- 第八條 食事ハ土足ノ儘トス但シ夏季ハ此限ニ在ラス
- 第九條 農家ノ休暇日ハ別段ノ申合ニ依ル

- 第十條 男女ノ風紀ヲ矯正スルコト
- 第十一條 本會員ハ平素節約ヲ旨トシ相互ニ冗費ノ節約ヲ助クルヲ以テ目的トシ左ノ方法ヲ遵守スルコト
 - 一 正月ノ贈品ハ親子兄弟ノ外一切禁止スルコト
 - 二 名義ナクシテ飲食店ニ立寄り會飲ヲ爲ササルコト
 - 三 茶講、念佛ノ茶講ヲ廢止スルコト
 - 四 衣服食物ハ其ノ分限ニ應シ必ス質素ヲ旨トスルコト
 - 五 各區域ヲ分チ晝間番組ヲ爲シ物質等ノ徘徊ヲ防クコト
 - 六 郷ノ同意ヲ得スシテ諸興行ヲ爲スヲ得ス
 - 七 婚禮客ハ分限相應ニ質素ヲ旨トシ婚入、嫁入ノ節軍需長持等持參ヲ廢ス但シ他日必要ニ應シテ相應ノ物品ヲ贈與スルハ此ノ限リニ在ラス
 - 八 婿嫁買方ノ際ハ所屬組ニ申込ムコトヲ廢シ適宜媒介人ヲ依頼シ直接相談スヘキコト
 - 九 還曆厄除祝ハ可成廢止スルコト但シ強テ爲サントスル者ハ質素節約ヲ旨トスルコト
 - 十 供日、氏神祭禮ノ酒宴ハ可成質素ヲ旨トシ互ニ往來セサルコト
 - 十一 誕生日、命名祝等ニ盛付ヲ廢シ手輕ノ三種突掛膳ニテ質素節儉スルコト但シ祝金ハ拾錢以下トス
 - 十二 軍人歡迎迎ノ節ハ近親ノ外其ノ家ニ立寄り酒食スルコトヲ得ス
 - 十三 病人及ヒ出産等ノ見舞品ハ必ス質素ヲ旨トスルコト
 - 十四 葬式ノ節ハ可成節約ヲ旨トシ生豆腐ノ外揚物等ヲ廢止スルコト
 - 十五 遠夜茶講ヲ廢シ親子兄弟ノ間柄ハ白米二升以下其ノ他ノ親戚及他人ハ白米一升以下ノ佛供米ノミヲ贈ルコトトシ佛參者ニ對シ家許ヨリハ握飯ニ簡宛ニ限リ茶ニ漬物、煮、和粉物等ハ差支ナシ
 - 十六 佛前ヘノ供菓子ハ親子兄弟丈トシ外親戚及其ノ他ハ金拾錢以下ノ菓子料ヲ贈ルハ妨ナシ
 - 十七 佛事ニハ突掛膳ニテ盛付ヲ廢シ可成手輕ノ三種ニテ酒ハ一人一合トシ又婦人客ニ對シ飯粒煮ノ物等ノ折詰メノ贈り物一切廢止ス
 - 十八 盆祭ニ際シ利益ノ燈籠贈ハ親子兄弟ノ間柄丈トシテ其ノ他ノ親戚及他人ハ金五錢以下ノ香料ニ限ル
 - 但シ佛參者ニ對シテハ茶ニ漬物等ノ外酒食ヲ廢ス尤モ遠方ヨリ佛參者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス
 - 十九 家作ノ節ハ自作物ノ外作事見舞トシテ物品ノ贈呈ヲ廢ス尤モ親子兄弟ノ間柄ハ此ノ限ニ在ラス地堅メノ節手拭ノ贈物及仁和加ヲ廢シ禮上式、移轉式等ニ盛付鉢魚ヲ廢シ可成手輕ニ儉約スルコト
 - 二十 産婆ニ對シ正月ノ贈物トシテ從來ノ餅、手拭ヲ廢シ生後三箇年同白米一升ニ金拾錢文ケ贈ルコトトシ先方ニテハ酒食ヲ饗セサルコト

二十一 青年男女ノ宴會ヲ禁ス

- 第十四條 夜業時間ハ二時間以上トス
- 第十五條 米質改良ハ本會員ノ最モ注意ヲ要ス相互ニ監視シテ乾燥、精選、袋裝ニ意ヲ注クコト
- 第十六條 小作米ハ毎年十二月十五日限リ地主ニ納入ヲ爲スコト
- 第十七條 地類及地目ノ變換又ハ開墾ヲ爲ス場合ニハ隣地主ノ承諾ヲ經タル後届出ツヘシ
- 第十八條 各郷ニ二名乃至四名ノ監督人ヲ選定シ前各條ノ實行ヲ監督セシム但シ監督人ノ報酬ハ郷ノ負擔トス
- 第十九條 會員ニシテ該規約ヲ遵守セサルモノアルトキハ其ノ郷ニ於テ説諭ヲ加ヘ改悛ノ狀ナキ時ハ村農會長ニ報告スヘシ農會長ハ其ノ違約ノ輕重ニ依リ縣稅戶數等級相當ヨリ一等以上ノ縣稅戶數割ヲ請求スルモノトス

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 青年會 青年會ト聯絡ヲ圖リ講話會及品評會等ヲ開催スルト共ニ一方或ハ試作田ヲ設ケ其ノ成績ヲ發表セシメテ農事ノ改良發達ヲ圖リツツアリ
- (二) 進農會 農會ト協力シ農事ノ範ヲ示スト共ニ講話會等ヲ開催シテ一般當業者ノ指導ニ當ラシム
- (三) 農事改良實行組合 實行容易ナル鹽水選、麥奴豫防、苗代薄蒔及晝干等ヲ爲サシメ漸次進農會及青年會等ト共同シテ一般農事ノ改良實行ニ努メシム
- (四) 婦人會 毎例會ニハ進農會員、青年會員及實行組合員ノ出席ヲ勸誘シ本會技術員及縣又ハ郡ノ技術員ヲ聘シテ農事講話會ヲ開キ其ノ改良進歩ヲ圖リツツアリ
- (五) 其ノ他ノ團體 本會ハ村會議員、附屬員、現勢調査員、驅除員其ノ他村内有志等ト聯絡ヲ圖リ本會ノ事業及規約等ノ勵行ニ努ム

神代村農會

南高來郡神代村丙百七十七番地

農業ノ概況 本村ハ南高來郡北部ニ位シ面積一・二方里概シテ平坦地ニシテ人口三千八百人耕地ハ田二百四十九町四反歩畑二百九町四反歩農家五百二十二戸住民殆ト農ヲ營ミ副業トシテ繭、葦細工製品及家鶏等ノ生産アリ

會 員 數 八百十五名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 農會長ハ村長ニシテ農事改良ニ熱心ナリ副會長ハ村内ノ大地主ニシテ幹事二名執レモ村内篤農家ナリ評議員七名ハ村會議員、大地主、篤農家等ノ村内有力者ナリ技術員ハ甲種農學校卒業生ニシテ大正四年ヨリ就任シ農業補習學校ノ教員ヲ兼務シ書記ハ村吏員之ヲ兼務ス
 - (二) 總會 毎年一回乃至二回開催ス出席會員ハ全會員ノ殆ト六割ニ達スルヲ例トス
 - (三) 補助的設備 本會ノ補助的設備トシテ各區ニ老農者及區委員ヲ置キ本會事業ノ實行督勵ノ任ニ當ラシム
- 營 造 物 事務所ハ二階建十五坪圖書室ニハ農業ニ關スル刊行物ヲ蒐集シ會員ノ閱覽ニ供ス

經 費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會 費	三九一・二八〇	補 助 金	一、九四九・一〇八	補 助 費	七三三・九〇〇	補 助 費	一八一・五五〇	補 助 費	三〇〇・〇〇〇	計	九八五・四五〇	其ノ他	二一九・八四〇	合 計	三四五六七八
補 助 費	—	補 助 費	—	補 助 費	—	補 助 費	—	補 助 費	—	計	—	其ノ他	—	合 計	—

(二) 同上 支出決算額

事務所費	一五〇・一〇〇	會議費	—	對上級農會ニ對スル負擔金	一八一・五五〇	事業費	四三三・二七九	其ノ他	二二七・二七七	合 計	三〇三七・三〇六
------	---------	-----	---	--------------	---------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ耕作反別一反歩ニ付貳錢、地價壹圓ニ付貳厘、耕作反別一反歩以上ノ耕作者ニ拾錢ヲ分賦ス毎年隨時一期ニ課シ收入ス大正三年度ノ會費滯納者九名此ノ金額貳圓七拾四錢アリ然レトモ未タ缺損額ト看做スヘキモノナシ會費ハ村稅ト共ニ告知書ヲ發シテ之ヲ徵收ス

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
 - ▲米麥改良增收ニ關スル獎勵 本事業獎勵ノ爲明治三十一年ヨリ同四十四年迄繼續シテ稻立毛品評會ヲ開催シ賞品授與式當日ハ農事ニ關スル講演ヲ爲シ且肥料使用高表各部落ノ米收穫高表米穀累年收穫統計表各部落生産力比較表等ヲ示シ以テ一般當業者ニ米麥改良增收ニ關シ極力獎勵ニ力ヲ致セル結果大正元年ニ至リ米作ノ成績著シク良好トナレリ
 - ▲米券倉庫ノ經營 本會ハ明治三十七年生産米規程ヲ設ケ各部落ニ検査員ヲ置キ検査ヲ經テ初メテ俵入レヲ爲シツツアリ其ノ結果京阪地方ニ於テ一等米ノ聲價ヲ得ルニ至リシカ尙一層米質ヲ検査シテ之ニ等級ヲ附シ一方共同競賣ニ附シ米價ヲ向上セシムル目的ヲ以テ大正元年ニ於テ大倉庫二棟ヲ設置シ島原地方ノ仲買人ヲシテ本村ヲ第一ノ仕入先トスルノ盛況ヲ呈スルニ至レリ大正元年冬米券倉庫ヲ獨立セシメ是ト聯絡ヲ、圖リ最モ検査ニ重キヲ置キ尙大正四年ヨリ米價ノ向上ヲ圖ル爲俵裝ヲ改良シ尙一層米質ノ改良ヲ爲シ検査規程ヲ變更シ麥ト共ニ共同販賣ノ斡旋ヲ爲シツツアリ米一石ニ付五六拾錢方高價ニ販賣スルコトヲ得尙當業者モ其ノ利益ヲ感知シ入庫米ノ申込希望者及俵數ハ一年ニ増
- (二) 現時ノ事業成績

五 組合員トシテ夜間自己ノ稻田觀察スル爲許可ヲ請フ場合ハ其ノ理由ヲ問ヒ正當ト認ムルトキハ直ニ許可スヘシ

▲鹽水選勵行並麥奴豫防獎勵 共同鹽水選ノ事業ハ明治三十八年ヨリ本會指導ノ下ニ全村實施スルコトナリ翌三十九年ヨリ本會ハ鹽水選用ノ固形苦鹽汁ノ無償配布ヲ爲シ之ヲ勵行シタル結果苗代ノ如キ發育頗ル良好ナリ麥奴豫防冷水溫湯浸法ノ施行ニ就テハ大正三年ヨリ各部落ニ亘リ獎勵施行セシモ未タ施設日尙淺キヲ以テ成績見ルヘキモノナシト雖麥奴豫防ハ其ノ効果多大ナルヲ認メ年々其ノ施行數量増加シツツアリ

▲種苗ノ配布 種子苗木ノ共同購入ハ明治三十七年ヨリ本會其ノ局ニ當リ實行シ孰レモ優良品種ニ改良セシメツツアリシカ桑園ノ如キハ大正五年ニ於テ反別六十餘町歩ニ達シ大正元年迄ハ種苗ノ無償配布ヲ爲シタルモ大正二年ヨリ益々養蠶事業ノ有利ナル事ヲ悟リ從テ種苗ノ希望申込者多ク爲ニ經費ノ關係上應シ難キヲ以テ郡農會ヨリ補助金ノ下附ヲ得テ購入配布ヲ爲スコトト爲シタリ大正四年ノ如キハ數十萬本ニシテ十町餘歩ノ増加ヲ示セリ

▲蠶業ノ獎勵 稚蠶共同飼育並蠶絲業ニ關スル事業ハ蠶絲業組合ニ於テ實行シツツアリ更ニ本會ハ蠶絲業組合ト聯絡ヲ取リ蠶種ノ一定及生繭ノ共同販賣等ニ付協力以テ事業ノ遂行ヲ期シツツアリ殊ニ農會ニ於テ明治四十一年ニハ中原式(三石入)乾繭器ヲ購入シ大正三年ニ於テ更ニ壹千五百餘圓ヲ投シ大規模ノ乾繭器(五石入二個)ヲ購入シテ益々生産品價格ノ向上ト繭取引トノ便宜ヲ圖リ成績良好ナリ

▲技術員ノ設置 大正四年ヨリ技術員ヲ設置シ各部落ヲ巡回シ實地指導ニ當ラシメツツアリト雖施設日尙淺キヲ以テ其ノ成績ヲ發表スルニ至ラサルモ米穀ノ改良、肥料ノ配合、施肥ノ方法、害蟲驅除、自給肥料製造等ニ効果ヲ舉ケツツアリ

▲模範田ノ設置 模範田ハ本年麥作ヨリ之ヲ設置シタリ

▲堆肥ノ獎勵 舊慣ニ依リ建設セラレタル納屋兼堆肥舍及堆肥舍ナシニ其ノ耕地ニ堆積スルモノノ數二千八十箇所アリ

ト雖其ノ堆積方法宜シカラサルヲ以テ改良ノ餘地アルヲ認メ極力獎勵ヲ加フル所アリ現今ニ在リテハ堆肥ノ製造方法ニ就キ舊慣ヲ打破シ益々學理的應用ニ努メツツアリ其ノ結果今ヤ金肥ノ施用高壹萬數千圓ニ過キサレハ全ク堆肥獎勵事業ノ賜ニシテ大正三年ニハ改良堆肥舍二百七十五棟ニ達セリ

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 産業組合 本會ハ産業組合ト聯絡ヲ圖リ資金ノ融通ヲ受ケ肥料及綠肥種子ノ購入斡旋ヲ實行シツツアリ
- (二) 躬行團 本村一圓ヲ區域セル躬行團ノ設ケアリ其ノ内ニ教育部、勸業部、尙武部、衛生部、青年部及處女部ヲ設ケ各其ノ目的ヲ遂行シツツアリ本會ハ躬行團ト専ラ共同の事業ヲ爲シ本會ノ事業ノ遂行ヲ援助セシメツツアリ

新潟縣

水原町農會

北蒲原郡水原町(町役場内)

農業ノ概況 本町ハ北蒲原郡ノ南部ニ位シ面積東西約一里五町南北約一里平坦ニシテ人口約八千五百人耕地面積田四百八十七町步畑二百二十町步アリ農家約四百戸住民ハ商工業者最モ多數ニシテ農業者之ニ次ク副業トシテハ養蠶、蠶細工、蠶網、養鷄等アリ

會員數 五百名

事業ノ施行機關

新潟縣

- (一) 役職員 會長ハ町内大地主ニシテ現ニ水原町長貴族院議員ヲ兼ネ副會長ハ水原町助役兼町會議員ニシテ執レモ農事改良ニ熱心ナル者ナリ幹事一名ハ町會議員ナリ評議員七名ハ大地主、町會議員、其ノ他公職ヲ兼ヌル町内ノ篤農家又ハ有力者ナリ技術員ハ明治四十二年ヨリ就任ス尙現今囑託技術員四名アリ内一名ハ殆ト常務技術員ナリ書記ハ町役場勸業係之ヲ兼務ス
- (二) 總會 毎年春季一回開催ス必要ニ應シ臨時總會ヲ開催ス臨時總會ニハ必ス郡農會又ハ農學校其ノ他ヨリ講師ヲ招聘シ農事ニ關スル講話會ヲ開催ス
- (三) 補助的設備 各部落ニ一名ノ分區督勵委員ヲ設ケ農事ノ督勵ハ勿論本會ヨリノ通報傳達等ノ任務ヲ遂行シツツアリ現今二十名ノ督勵委員アリ執レモ農事ニ關シ老練ニシテ且德望ヲ有スル者ナリ

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

(單位未滿四捨五入)

會費	五九、〇〇〇	縣補助費	—	町補助費	—	上級農會補助費	九四、〇〇〇	計	一〇六、〇〇〇	其ノ他	—	合計	二〇二、〇〇〇
繰越金	八一、〇〇〇	補助金	—	補助金	—	補助金	—	計	—	其ノ他	—	合計	—
事務所費	九九、〇〇〇	會議費	一五、〇〇〇	對上級農會ニ	五七、〇〇〇	事業費	三五、〇〇〇	其ノ他	一五、〇〇〇	合計	—	合計	五三八、〇〇〇

(二) 同上 支出決算額

(單位未滿四捨五入)

會費	五九、〇〇〇	縣補助費	—	町補助費	—	上級農會補助費	九四、〇〇〇	計	一〇六、〇〇〇	其ノ他	—	合計	二〇二、〇〇〇
繰越金	八一、〇〇〇	補助金	—	補助金	—	補助金	—	計	—	其ノ他	—	合計	—
事務所費	九九、〇〇〇	會議費	一五、〇〇〇	對上級農會ニ	五七、〇〇〇	事業費	三五、〇〇〇	其ノ他	一五、〇〇〇	合計	—	合計	五三八、〇〇〇

(三) 會費分賦及收入方法 會員割トシテ一人ニ付金貳錢ヲ、地價割トシテ大正三年度ハ金貳拾八錢ヲ六月中ニ徵收セリ例年ハ概ネ五月中ニ徵收ス地價割ヲ課スルハ其ノ年度内ニ收入スヘキ會員割、繰越金、其ノ他ノ收入ヲ支出總豫算額ヨリ引去リ不足分ニ課スルカ故ニ年々其ノ課率ハ一定セス未納額ハ概シテ少額ニシテ地價割ニ於テ缺損トナルヘキモノハ他町村ニ居住スルモノニ多ク缺損トナルヘキ金額大正三年度ニ於テ金貳圓參拾壹錢ナリ徵收狀ハ特ニ農會ノ分ノミヲ發ス

基本財産 現在高金百八拾五圓四拾四錢

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
 - 過去ニ於テ施設シタル事業ハ今尙繼續施行セルカ故ニ特ニ記スヘキモノナシ
- (二) 現時ノ事業成績
 - ▲栽培組合設立ノ獎勵 本會ハ農産物ノ生産ヲ増加シ品質ヲ統一シ販賣上ノ利益ヲ増大セシムカ爲組合ノ設立ヲ獎勵シツツアリシカ大正三年ニ於テ畑作中尤モ有望ト認ムル梨及桃ニ關スル二組合ヲ組織セシメ獎勵金トシテ貳拾圓五拾錢ヲ交付シ之カ活動ヲ促シ指導誘掖ヲ加ヘタリ一面各組合ハ縣又ハ郡ノ農業技術者ヲ聘シテ品種ノ改善、肥培及剪枝方法等ニ關シ銳意研究ニ努メタル結果近時著シク之カ發達ヲ見ルニ至レリ

栽培組合獎勵規程

- 第一條 本會ハ左記作物ノ栽培ヲ獎勵セムカ爲適地ニ之カ栽培組合ヲ設ケシメ栽培上ノ指導ヲ爲シ併セテ特産物ノ助長ヲ圖ルモノトス
 - 大 小 麥 陸 稻 馬 鈴 薯 大 小 豆
 - 蔬 菜 桃 及 梨
- 第二條 本規程ニ依ル栽培組合ハ本會會員十五名以上ヲ以テ組織シ本會ノ調査ニ依リ指定ヲ爲シタルモノニ限ル

埼玉縣

篠津村農會

南埼玉郡篠津村大字篠津(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ西北部ニ位シ面積八百三十町步概シテ平坦ニシテ人口四千五百三人耕地面積田三百十六町步畑三百四十町步アリ農家六百七十一戸住民ハ殆ト農ヲ業トス副業トシテ繭ノ生産アリ

會員 數 六百七十四名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村長、副會長ハ資産家ニシテ農事改良ニ熱心ナル者ナリ幹事五名アリ評議員七名ハ村會議員、常設委員等ノ村内有力者ナリ技術員ハ常設ニシテ篤農家ナリ書記ハ村吏員之ヲ兼務ス
- (二) 總會 毎年一回開催ス出席會員ハ總會員ノ殆ト七割乃至八割ニ達スルヲ例トス
- (三) 補助的設備 各部落ニ自治組合ノ組織アリテ本會事業實施ノ基礎トナリテ活動シツツアリ

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	五四〇〇〇	繰越金	三八〇〇〇	補助費	一〇〇〇〇	計	一〇〇〇〇	其ノ他	—	合計	五八八〇〇〇
				補助費	—						
				補助費	—						
				補助費	—						
				補助費	—						
				補助費	—						
				補助費	—						
				補助費	—						
				補助費	—						
				補助費	—						

(二) 同上 支出決算額

事務所費	—	會議費	二〇〇〇〇	上級農會ニ對スル負擔金	七八〇〇〇	事業費	九三〇〇〇	其ノ他	三六三〇〇〇	合計	五五四〇〇〇
------	---	-----	-------	-------------	-------	-----	-------	-----	--------	----	--------

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ會員一人ニ付金拾錢ヲ課シ其ノ殘額ハ耕地ノ地價ニ賦課シ毎年四月收入ス會費滯納者ナシ

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
 - ▲種子ノ配布 本事業ハ明治四十五年ニ於テ役員ヲ栃木縣下ニ派遣シ同縣下都賀郡各村ニ涉リ前後三回ノ立毛審査ヲ爲サシメ其ノ最モ優秀ト認ムル水稻種子選一ヲ十五石購入シ之ヲ實費ヲ以テ村内ニ配布シタルニ結果良好ニシテ今ヤ栽培面積ハ殆ト耕地全部ニ涉リ其ノ成績顯著ナリ尙大正四年ニ於テハ他郡又ハ他縣ヨリ種子購入希望者多數ヲ見ルニ至レリ
 - ▲肥料ノ配合 本事業ハ明治四十四年ヨリ本村中位ノ土地ニ付キ適當ナル肥料配合ノ研究ヲ重ネ共同配合ヲ爲シタルニ賣品ノ完全肥料ト比較シ効果ノ大ナルト價格ノ低廉トハ當業者ヲシテ深ク其ノ有利ト配合要領トヲ熟知セシムルニ至レルヲ以テ殆ト自家配合ニ依リ合理的施肥ノ實行ヲ見ルニ至レリ
- (二) 現時ノ事業成績
 - ▲農業根本政策ノ研究資料調査 農業根本政策ノ研究ヲ爲シ將來本會カ遂行スヘキ大方針ヲ確立シ以テ本村ノ福利ヲ進ムルノ目的ヲ以テ大正三年ヨリ農家經濟ノ調査事業ヲ起シ先ツ村内無資力者及田畑三四反步所有者數名ニ付其ノ收支ヲ調査シタルモ範圍廣ク且事業創始ニ屬スルヲ以テ豫期ノ成績ヲ見ル能ハサリシカ更ニ其ノ調査組織ヲ變更シ大正五

年ヨリ本村内住民ニ對シ生産高及消費量ノ調査事業ヲ開始セリ本事業ヲ開始スル準備トシテ先ツ各部落ニ講演會ヲ開催シ部落民ノ統計的勸念ノ涵養ニ努メ自治組合組長會議ヲ開キ調査事業ノ必要ト其ノ施行方法トニ付協議シタルニ各組長ハ其ノ最モ急務ナル事業タルコトヲ認メ直ニ大正四年ヨリ生産調査ヲ爲スコトニ決議シ左記調査方法ニ依リ委員ヲ囑託シ目下調査進行中ニシテ統計的ニ數字ヲ示スコト能ハサルモ先年來ノ經驗ト其ノ準備行為トハ良ク部落民ニ徹底セルヲ以テ調査委員カ毎戸訪問ニ際シテハ喜ンテ其ノ質問ニ應ジ又ハ豫メ自家ノ生産消費額ヲ取調ヘ報告スル等其ノ調査成績極メテ良好ナリ

記

農業經濟調査方法

本會ハ本村内ノ農業生産及農家生活狀況ヲ調査シ將來本會ノ活動スヘキ大方針ヲ確立スヘキ資料ヲ作ラムトス

一 調査スヘキ範圍左ノ如シ

- (イ) 本村ノ生産狀況及生産物輸出狀況
- (ロ) 生産物ノ消費狀況及輸入品消費狀況

但シ第一年度ニ於テハ主産物ノ生産及消費ノ狀況ヲ調査シ其ノ方法等ハ實地ニ付研究シ順次目的ノ範圍ニ及スコト

二 本會ニ調査委員若干名ヲ置キ會長之ヲ囑託ス

三 調査委員ニ對シテハ豫算ノ範圍ニ於テ報酬又ハ日當ヲ給ス

但報酬又ハ日當ノ金額ハ會長之ヲ定ム

四 調査委員ハ會長ノ指揮ヲ受ケ村内各戸毎ニ其ノ事實ヲ調査スルモノトス

五 會長ハ調査ノ便宜ヲ得ル爲メ本村長ニ具申シ自治組合各組長ノ助成ヲ乞フモノトス

六 調査要領ハ毎年會長之ヲ定ム

七 調査ニ用ユル用紙ハ本會ノ交付セル以外ノ用紙ヲ使用スルコトヲ得ス

八 調査ノ順序左ノ如シ

- (イ) 各戸調査
- (ロ) 自治組合各組調査

自治組合調査

全村調査

九 調査書類ハ左記ニ依リ處理スルモノトス

(イ) 第八項第一號調査ハ第二號以下整理済ノ上ハ之ヲ一括シテ役員立會ノ上機却スルモノトス

(ロ) 第八項第二號乃至第四號調査ハ整理済ノ上之ヲ永年保存トス

十 調査ニ付個人ニ係ル生産及消費ノ内容ハ之ヲ絕對秘密ト爲シ第八項第二號乃至第四號ノ調査以外ハ發表セサルモノトス

十一 調査ハ大正四年ニ屬スル生産ヨリ之ヲ施行ス

●品評會ノ開催 農産物ノ改良増殖ヲ圖ル爲メ稻麥模範作共進會及生産品評會ヲ開催セリ其ノ成績良好ニシテ出品點數累年増加シツツアリ

●選種ノ獎勵 農産物ノ種子ヲ選擇スルノ必要ナルヲ認メ水陸稻及小麥ノ鹽水選ヲ獎勵シ大麥ニ對シテハ冷水温湯浸法及鹽水選ヲ施行シ其ノ成績顯著ナルモノアリ

●病害蟲防除ノ獎勵 害蟲ノ驅除ニ對シテハ誘蛾燈點火、幼蟲及卵塊ノ採取、心枯及稗拔取等ノ勵行ヲ促シツツアリ懸賞方法ハ休日ヲ利用シ農事講話會開催ノ後ニ於テ抽籤ニ依リ賞品ヲ配布ス

●共同苗代ノ獎勵 共同心ヲ喚起シ健苗ノ養成ヲ獎勵センカ爲メ共同苗代ヲ獎勵スル所アリ目下九箇所其ノ面積六町四反八畝步アリ參加人員二百十四人ニ達ス

●採種田ノ設置 稻品種改良ノ目的ヲ以テ村内十三箇所ニ一町三反步ノ採種田ヲ設置シ改良愛國ヲ栽培セシメ當業者ニ配布交換ヲ爲シ相當ノ成績ヲ擧ケツツアリ

●天氣豫報ノ實施 養蠶時期及麥收納期間中天氣豫報ヲ當業者ニ周知セシムルコト最モ緊要ナルヲ認メ例年五月一日ヨリ九月二十五日迄百四十八日間本會事務所庭内ニ於テ毎日日色旗ヲ掲ケ各大字ニ於テハ色旗又ハ揭示豫報ヲ爲シ以テ一般ニ周知セシムルコトニ努メツツアリ尙氣候ト作物トノ關係ヲ調査スル必要上毎日左記事項ノ調査ヲ續行セリ

イ 毎日ノ最高温度及最低温度ノ測定
ロ 毎日ノ乾湿度ノ測定

▲其ノ他ノ事業 ●農家ノ經濟ヲ助長セシメムカ爲水稻ノ經濟的多收試作ヲ爲シ實地指導上ノ參考ニ供シ又講話會ヲ開催シテ當業者ノ知識啓發ニ努ム

(三) 特ニ成績顯著ナル事業
▲排水溝ノ掘鑿

(沿革) 明治四十三年ノ盛夏ニ於ケル大洪水ハ前古未曾有ニシテ一般農業者ノ悲惨殆ト名狀スヘカラス此ノ時ニ際シ官民有志ハ孜々トシテ救済ノ策ヲ講セシモ概ネ物品ノ給與ニシテ一時ヲ纏縫スルニ過キサリシヲ以テ本會ハ進ンテ積極的方針ヲ取り農業ノ開發ヲ促シ將來多收穫ノ實ヲ收メ本村ノ富源ヲ造ラムカ爲村内有志屢々相會シ慎重調査ノ結果先ツ本村田地ノ大部分カ濕田ナルヲ以テ之ニ排水溝ヲ掘鑿シ土地ノ改良ヲ圖ラムトシ技術者(現農會長)ヲシテ調査セシメタルニ有望ナルヲ以テ斷然全村ニ涉リ掘鑿ヲ開始スルコトニ決シ各字ニ向テ督勵ヲ加ヘ大正三年末迄四箇年間に於テ約七千七百間ヲ掘鑿シ之ニ依テ乾田トナリ二毛作ヲ爲シ得ル田地實ニ全耕ノ九割ヲ占ムルニ至レリ其ノ成績極メテ良好ナリ

(施行ノ方法) 本會各耕地ノ適當ト認ムル處ニ排水溝ヲ選定シ區域臺帳及小作賦課帳ヲ調製シ其ノ耕地ニ關係アル耕作者ヲシテ掘鑿セシメ其ノ敷地ニ對スル小作料ハ區域内ノ全耕作者ヨリ排水溝所在ノ耕作者ニ對シ之カ仕拂ヲ爲スモノトス

(成績) 本村田三百十六町步中未排水地ハ僅カニ三十四町步ニシテ二百八十二町步ハ排水良好トナリ從來ノ一毛作地ハ忽チニ全作ヲ爲シ得ルノ美田ト爲リタリ

農會ト各種團體トノ聯絡 本會ハ本村農事改良發達ノ中樞機關ナルヲ以テ村内ノ各種團體ト聯絡シ一般農事指導ノ任ニ

當レリ

群馬縣

富士見村農會

勢多郡富士見村大字田島(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ西北部ニ位シ面積三・五二方里人口一萬千二百八十二人耕地面積田三百五十九町八反步餘畑九百二十三町七反步餘アリ總戸數千五百四十一戸内農家千三百二十八戸ヲ有ス住民ハ殆ト農ヲ以テ業トス副業トシテ繭生絲、藁細工製品、畜産物及林産物ノ生産アリ

會員數 一千七百四十六名

事業ノ施行機關

(一) 役職員 會長ハ村長ニシテ農事改良ニ熱心ナル地主ナリ副會長モ亦村内ノ地主ニシテ農事改良ニ熱心ナリ幹事ハ蠶業ノ改良ニ熱心ナル者ナリ評議員七名ハ村會議員、郡會議員、區長等ノ有力者ニシテ書記ハ明治三十三年就職シ爾來引續在職シ村役場ノ書記ヲ兼務ス

(二) 總會 毎年一回二月通常總會ノ外臨時總會ヲ開ク會員ハ千七百有餘名ノ多數ナルヲ以テ總會會場ニ充ツヘキ所ナク仍テ委任ヲ受ケタル者出席シ議事ニ參加ス

(三) 補助的設備 本會事業ノ施行ニ就テハ理事二十五名(本村行政區ヲ二十五區ニ分ツ理事ハ各區長ニ囑託ス)及督察委員二十五名(各區ニ於ケル篤農家ヲ以テ之ニ充ツ)實行委員二十五名(農事講習生、農學校卒業者等ニシテ相當ノ

經費

學識ヲ有シ經驗ニ富メル者ヲ置キ以テ本會事業ノ遂行ヲ期ス又青年團ヲ利用シ本會事業ノ遂行ヲ援助セシム

(一) 大正三年度ノ收支決算額

會費	一七〇.四〇〇	補縣助費		補郡助費		補村助費	三八八.〇〇〇	補上級農會助費		計	三八八.〇〇〇	其ノ他		合	計	五九四.六二六
經越金	三六.二二六															

(二) 同上 支出決算額

事務所費	三五.六六六	會議費	一八〇.七五	對上級農會ニ對スル負擔金	八四.二二〇	事業費	二二二.八〇	其ノ他		合	計	五六五.〇九一
------	--------	-----	--------	--------------	--------	-----	--------	-----	--	---	---	---------

(三) 會費分賦及收入方法 會員割ハ會員一人ニ付金拾錢宛トシ本村區域内ニ於テ耕地又ハ牧場ヲ所有スル者及之ヲ所有セサルモ農業ヲ營ム者ニ對シ平等ニ分賦シ毎年四月ニ全額ヲ徵收ス大正三年度ニ於ケル會費滯納者四十二名此金額四圓貳拾錢ナリ是等ハ他市町村ニ居住スル地主及村内細民ナリトス

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
 - 過去ニ於テ施設シタル事業ハ今尙ホ繼續施行セルカ故ニ特ニ記スヘキモノナシ
- (二) 現時ノ事業成績
 - ▲農事試驗場ノ設置 明治三十三年本村中央部ニ田畑各一箇所宛ノ試驗地ヲ設ケ米麥作及其ノ他ニ關スル各種ノ試驗ヲ

行ヒ採種シタル良種ハ之ヲ當業者ニ無償配布シ以テ品種ノ改良ヲ企圖セリ同三十六年更ニ四箇所ニ増設シ亦成績佳良ナルヲ得タリ仍テ明治三十九年益々擴張シ村内各區ニ模範農場ヲ設置シ其ノ地方ニ於ケル農事講習生若ハ篤農者ヲ以テ擔當主任ニ選定シ本會之ヲ監督ス而シテ該農場ノ播種、插秧、耕種、肥培、收穫等ニ際シテハ必要ニ依リ其ノ區内當業者及其ノ子弟ヲ順次出勤セシメ以テ農事改良ノ念慮ヲ喚起セシメ亦諸般ノ研究及練習ヲ爲サシメツツアリ

▲蠶病消毒實施ノ勵行 蠶病消毒ノ實施普及ヲ圖ラムカ爲本會ハ明治三十七年消毒器ヲ購入シ技術員ヲ養成シ以テ消毒希望者ノ申出テニ依リ器具携帶ニテ技術員ヲ派遣シ消毒上ノ實地指導爲サシメツツアリ爾來逐年器具ヲ新調シ技術員ヲ增加シテ當業者ノ利便ヲ増進シ斯業ノ普及ニ努メ其ノ成績佳良ナリ

▲蠶病消毒藥品共同購入ノ斡旋 蠶病消毒ノ施行ニ要スル藥品ノ用量亦少ナカラス而シテ之ヲ施行期ニ際シテ購入スルトキハ價額大ニ騰貴スルヲ例トス故ニ本會ハ明治三十七年以來共同購入ヲ爲シ當業者ニ便益ヲ與ヘタリ

▲蠶害驅除豫防ノ獎勵 本會ハ稻、大小麥、桑樹其ノ他ノ害蟲驅除豫防ニ關シテハ村役場當局者ト相圖リ適切ノ方法ヲ講シ協力以テ一般當業者ヲ督勵シ極力之ヲ勵行ニ努メ又本會ヨリ各小學校ニ獎勵金ヲ交付シ兒童ヲシテ稻螟蟲ノ捕蛾及採卵、黑穗ノ拔取、桑尺蠖蟲ノ驅除等ノ如キ其ノ適應セル作業ニ奮テ從事セシムルト共ニ他日該事業ノ忽諸ニ附スヘカサルノ思想ヲ涵養セントスルニ努メタリシニ其ノ成績顯著ナリ

▲煤取期日ノ勵行 從來本村農家ニ於テハ春蠶掃立前ニ必ス煤取リヲ施行スルヲ例トセリ其ノ期間一定セザリシ爲其ノ病毒浸入ノ虞ナキヲ保シ難ク或ハ既ニ桑樹ノ發芽後ニ至リテ之ヲ行フモノアリ塵芥病毒ハ附近桑園ニ飛散シ殊ニ雨露アル場合ニハ其ノ被害一層甚タシキヲ加フ是單ニ個人ノ迷惑ナルノミナラス蠶病豫防上不都合尠ナカラサルヲ認メ明治三十九年以來村内各區ニ於ケル煤取最終期日ヲ定メ其ノ期間内ニ必ス實行スル様督勵セリ

▲農業調査ノ施行 農事改良其ノ他諸般ノ施設方針ヲ畫策セムトスルヤ村内ニ於ケル農蠶業上各般ノ状態ヲ精査シ以テ之カ根本的真相ヲ觀知スルノ要アルヲ以テ本會ハ明治三十七年以來農事調査委員十三名(各大字ニ一名宛)ヲ置キ以テ

農蠶業ニ關スル調査ヲ爲サシム

●肥料及蠶病消毒藥品ノ分析 本會ハ會員ニシテ肥料及蠶病消毒藥品等ノ分析ヲ請求スルモノアルトキ若ハ本會ニ於テ各種ノ共同購入或ハ斡旋ヲ爲サントスルトキハ之ヲ縣立農事試驗場ニ分析ヲ請ヒ其ノ品質ノ良否ヲ知ルノ便ヲ圖レ

●桑園改良増殖ノ獎勵 明治三十八年稻作因歉ニ陥リ農家ノ經濟ハ深甚ナル打擊ヲ受ケ桑園肥培ノ周到ナル能ハサルト

秋蠶飼育漸ク盛況ヲ呈シタル爲桑葉亂摘ノ結果桑園ノ荒廢殆ト其ノ極ニ達セリ此ノ時ニ當リ之カ救済ノ策ヲ講スルハ最モ急務ナルヲ認メ本會ハ明治四十年ニ於テ栽桑補助規程ヲ設ケ秋蠶專用桑園ノ増殖ヲ圖リ亦荒蕪桑園ノ改植ヲ獎メ以テ極力合理的肥培法ニ因リ桑園ノ改善ニ努メタリ

●天氣豫報ノ周知 本事業ハ明治三十七年以來繼續施行シ農蠶業者ノ便益ヲ圖ランカ爲毎年五月十日ヨリ六月十八日迄四十日間毎日前橋測候所ヨリ天氣豫報ヲ受ケ村内各區ニ配布シ以テ一般當業者ニ周知セシムルノ方法ヲ講セリ

●講習講話會ノ開設 農蠶業ニ從事スル者及其ノ子弟ヲシテ斯業ニ關スル諸般ノ要項及理學ノ一般ヲ會得セシムルハ農蠶業ノ改良發達ヲ企圖スルニ最モ肝要ナルヲ認メ毎年農蠶業ニ關スル講話會又ハ講習會ヲ開催シテ斯業ノ發達ヲ圖レ

●各種品評會ノ開催並出品ノ獎勵 當業者ノ生産ニ係ル農產物若クハ栽培スル農作物ヲ比較品評シ其ノ優劣ヲ明カニシ且其ノ原因實況ヲ了知セシムルハ農事改良上最モ便捷ナリトシ明治三十九年以來各種ノ品評會ヲ開催シテ出品ノ勸誘ヲ爲シ以テ當業者ノ自奮ノ競争心ヲ發揚セシムルコトヲ期セリ

●農事視察員ノ管外派遣 本縣内産業ノ先進地ニ於ケル諸般施設及進歩ノ状態ヲ調査セシムカ爲視察員ヲ派遣シ以テ優良事績ノ狀況ヲ視察調査セシメ本村産業ノ發展ヲ圖リツツアリ

●種苗ノ共同購入並配布 本會ハ明治三十三年以來毎年春秋季ニ於テ蔬菜種子、果樹、桑苗、紫雲英種子、其ノ他農產種子、秋蠶種等ノ共同購入ヲ行ヘリ其ノ價格低廉ニシテ優良確實ナルモノヲ供給スルヲ得當業者ヲ裨益セル所尠カラスト信ス最近三箇年ニ於ケル購入額左ノ如シ

年次	種別	金額		品名
		共同購入	購入	
明治四十二年	度	七九・七九五	春秋ノ蔬菜種子及種苗	
大正二年	度	五八・〇八〇	蔬菜種子及種苗	
同四年	度	七一・六五〇	蔬菜種子及桑苗	

●青年團體ノ活動獎勵 本村内ニ於ケル青年團體ニシテ農蠶業ノ改良増殖ヲ企圖シ其ノ經營宜シキモノ尠シトセス將來産業ノ振興ヲ期スルニ當リ是等有力ナル團體ヲ指導スルハ最モ機宜ヲ得タルモノタルヲ信ス因テ本會ハ明治四十四年ニ於テ之カ獎勵規程ヲ設ケ其ノ自動的奮勵ヲ促シツツアリ

●採種田ノ設置 稻作品種ノ改良統一ヲ圖ラムカ爲明治四十五年以來本村ノ風土氣候ニ最モ適應セル愛國、國富、荒木ノ三種ヲ選定シ村内十箇所ニ採種田ヲ設置シ篤農家ニ其ノ栽培ヲ委託シタリ然ルニ同年ハ原種トシテ成績優良ナルヲ得タルモノ僅カニ五箇所ニ過キサリシカ漸次良好ノ成績ヲ舉ケツツアリ

●模範桑園設置獎勵 桑園ノ肥培改良ヲ圖リ之カ整理増殖ノ促進ヲ期セムカ爲模範桑園ノ設置ヲ獎勵セリ現ニ勢多郡農會模範桑園設置規程ニ依リ桑園ヲ設置經營シツツアリ

●推茸栽培ノ獎勵 大正四年廣島縣ノ人ニシテ斯道ニ堪能ナル者ヲ聘シ推茸栽培並木炭製造ニ關スル講話會及實地指導ヲ爲シ聽講者二百十二人ヲ得タリ爾來之カ栽培ニ從事シツツアルモノ尠カラス尙毎年本縣ヨリ斯業ノ技術員派遣ヲ乞ヒ以テ適切ナル注意指導ヲ受ケ其ノ成績良好ナリ

▲木炭ノ製造獎勵 輒近本村内ニ於テ製炭ヲ爲スモノアリト雖未タ其ノ成績良好ナラザリシカ講習ニ依リ技術及改良法ヲ知得熟練シ頗ル良品ノ產出ヲ見ルニ至レリ仍テ益々之カ普及發達ニ努メツツアリ目下木炭製造竈ノ數九個アリ毎年二月ヨリ四月迄ノ間農閑ヲ利用シ山林ノ間伐材ヲ以テ盛ニ製炭シ其ノ產額約一萬貫ニ達ス

▲倉庫ノ害蟲驅除勵行 倉庫ノ害蟲驅除ニ二硫化炭素燻蒸法ノ効果顯著ナルハ明ナル事實ナリト雖從來諸般事情ノ存スルアリテ未タ一般ノ施行ヲ見ル能ハザリキ仍テ大正三年及四年ノ兩年ニ亘リ六棟ノ倉庫ヲ燻蒸シ其ノ効果ヲ周知セシムルニ努メツツアリ

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 産業組合 本村内ニハ二箇ノ信用組合アリ本會ハ該組合ト其ノ施設ノ一致スル事項ニ就テハ聯絡提携シテ當業者ノ指導誘掖ニ努メ以テ相互ノ事業經營上兩全ノ事蹟ヲ收ムルニ遺憾ナキヲ期シツツアリ
- (二) 地主會 地主會ニ對シテハ其ノ事業經營ヲ援助シ益々堅實ナル發達ヲ遂ケシメ以テ地主ト小作人トノ關係ヲ圓滿親善ナラシムルコトニ努力シツツアリ大正五年一月地主會ノ第一回小作米品評會開設ノ舉アルヤ本會職員ヲシテ該事務一切ヲ鞅掌整理セシメ以テ地主會ノ施設事業ヲ援助セリ
- (三) 青年會 農蠶業ノ改善ヲ企圖シ其ノ實績ヲ舉クルハ寔ニ容易ノコトニ在ラス而シテ其ノ方法種々アリト雖地方ノ後繼者タル青年ニ産業改良ノ要ヲ知得セシメ平素克ク之ニ勉勵スルノ美風ヲ涵養スルコト最モ緊要ナルヲ認メ本會ハ明治三十六年以來地方青年ノ自奮活動ヲ鼓吹シ之カ指導督勵ニ努メタリ時恰モ日露戰役ノ際ナリシヲ以テ時局ニ鑑ミ其ノ趣旨ヲ體シ各部落ニ青年團ノ組織ヲ見ルニ至レリ而シテ各種品評會講習會等ノ開催ニ際シテハ青年會ト聯絡シ之カ目的ヲ達スルニ努ム

千葉縣

一宮町農會

千葉縣長生郡一宮町(町役場内)

農業ノ概況

本町ハ長生郡ノ東南端ニ位シ東ハ九十九里浦ノ長汀ニ瀕シ面積約一万里地勢上ヨリ區別スルトキハ平坦部ト山間部ニ分ル戸數八百五十人口五千三百人耕地面積四百六十町步其ノ内畑六十町步アリ農業ヲ營ムモノ四百餘戸其ノ他ハ商業兼漁業ニ従事ス副業トシテハ繭、苳、繩、果實、蔬菜、豚、鶏及卵等ノ生産アリ

會員數 七百七十名

事業ノ執行機關

- (一) 役職員 會長ハ一宮町長加納子爵ニシテ農事改良ニ關シ獻身のノ努力ヲ爲ス副會長ハ助役ニシテ熱心能ク會長ヲ補助ス評議員七名孰レモ町内ニ於ケル有力者ニシテ大地主又ハ町會議員中ノ農事熱心家ナリ技術員ハ目下專任者ナク同町立小學校教員ニシテ縣立高等園藝學校卒業生ニ本會技術員ヲ囑託セリ書記ハ町役場書記之ヲ兼務ス
 - (二) 總會 毎年一回乃至二回開催ス出席會員ハ多カラス
 - (三) 補助的設備 本町内ニハ農事改良ノ機關トシテ四石會、地主會、一坪農藝會等ノ設置アリ是等ノ機關ハ各其ノ目的ニ向テ努力シツツアルト同時ニ一面又本會ノ補助機關トシテ農會事業ノ實施督勵ニ當ラシム
- 營造物 標準堆肥舍建坪三坪一棟ヲ有スルノミ但シ圖書類ニ付テハ一宮町青年會構内三會堂ニ圖書棚ヲ設備シ農事其他ニ關スルモノヲ蒐集シ農民一般ノ閱覽ニ供ス

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	五七六〇〇〇	繰越金	四〇〇〇	補助費	補縣	補郡	補助町	補助上級農會	計	其ノ他	合計
											五六〇〇〇〇

(二) 同上 支出決算額

事務所費	六八〇〇〇	會議費	對上級農會ニ對スル負擔金	事業費	其ノ他	合計
			四〇〇〇〇	二七三〇〇〇	一九九〇〇〇	五六〇〇〇〇

(三) 會費分賦及收入方法 會費分賦方法ハ耕地、收場、原野ノ面積ト地價トニ二分シ毎年五月、十月ノ二期ニ徵收ス會費ノ滞納者ナシ會費ノ徵收方法ニ付テハ町稅貯金規定ニ基キ一般納稅貯金ト共ニ一宮町信用組合ニ貯金セシメ其ノ貯金中ヨリ組合之ヲ代納スルヲ以テ例トス

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
 - ▲採種田ノ設置 米質ノ改善、品種ノ統一ヲ圖ランカ爲水稻採種田ヲ設置シ明治四十四年ヨリ繼續經營ス設置以來無償配布セル種籾ノ數量ハ百三十八石ニ達シ大正二年ニ至リ略既定ノ目的ヲ遂ケタルヲ以テ農會直營ノ採種田ハ廢止セルモ同時ニ農民ノ自覺ニ依リ町内各部落ニ採種田組合設置サレタリ其ノ結果ハ農會直營當時ノ採種田面積ニ約二倍スルニ至リ現ニ本會ハ是等採種田一反歩ニ對シ金五圓宛ノ補助ヲ與ヘツツアリ
 - ▲耕地整理ノ獎勵 農事改良ノ効果ヲ覺知セシムル手段トシテ先ツ耕地整理ヲ行フハ事ノ順序トシテ當然採ルヘキ方法

(二) 現時ノ事業成績

- ▲ナルヲ認メ明治四十二年工事ヲ起シ今ヤ平坦部ニ屬スル耕地面積約百九十町歩ノ竣成ヲ見タリ
- ▲原種田ノ設置 原種田ハ採種田ニ純良ナル種子ヲ供給スル源泉トシテ最モ必要ナル施設ニ屬スルヲ以テ明治四十四年ヨリ繼續經營シツツアリ其ノ面積ハ目下一反五畝歩ナリ
- ▲原種試驗田ノ設置 明治四十四年ニ設置シ優良ナル品種ヲ發見セムカ爲品種試驗ヲ行フ
- ▲肥料適量査定試驗ノ施行 作物ニ對シ施用スヘキ肥料成分ノ適量ヲ知ルコトハ農業經營上最モ肝要ナル事項ノ一ニ屬スルヲ以テ大正四年ヨリ先ツ水稻ニ對スル之カ適量査定試驗ヲ行ヒツツアリ故ニ遠カラス肥料施用ノ適確ナル基本調査ハ完全ナル處方箋ト爲リテ現ハルヘシ
- ▲肥料ノ共同購入ノ斡旋 肥料ヲ安全格安ニ購入セムカ爲年々施肥期ニ先チ共同購入ノ斡旋ヲ爲シツツアリ

共同購入ニ關スル町農會ノ斡旋手續

- 第一 町農會カ共同購入ノ斡旋ヲ爲スハ總テ個人ヨリ共同ノ有利ナルカ爲及ヒ多數ノ需用者カ同一ノ物品ヲ買收スルノ便利ナルカ爲ニ此ノ必要ヲ生スルモノナリ即チ毎季繰返シツツアル人造肥料及紫雲英種子ノ共同購入ノ如キ是ナリ
- 第二 施肥ノ時節播種ノ機會ニ先チ本會ハ豫メ購入希望者ニ告知スヘシト雖購入者ハ左ノ時機ヲ誤ラス其ノ申告ヲ爲スヲ要ス
 - イ、人造肥料 春季ノ分 毎年三月末日迄ニ申込ムヘシ
 - 秋季ノ分 同 九月十五日限リ申込ムヘシ
 - 早種、中種、晚種 毎年九月十五日限リ申込ムヘシ
- 第三 個人各自ニ買收申込ヲ爲シ又ハ代價モ購入者各別ニ償納スルハ當ニ被我双方共ニ授受ノ手續ヲ累ヌルノミナラス爲ニ計算上ノ誤差ナキヲ保セス是故ニ各區ノ區長ハ區内共同購入希望者ヲ取纏メ前條ノ期限迄ニ本會會長ヘ申告セラルヘシ
- 第四 信用組合ハ共同購入ノ資金ニ對シ年八分ノ低利貸出ヲ行フカ故ニ前條ノ申告書ト共ニ區内信用組合員三名以上連帶責任ノ借入金申込書信用組合長ノ承諾書ヲ添付セラルルヲ要ス
- 第五 本會長ハ前條ノ申告書ヲ受取リタルトキハ購買者ニ代リテ購入ノ申込ヲ爲スヘシ若信用組合長ノ承諾書ノ添付ナキトキハ本會ハ未ダ共同購入ノ約束該區内ニ成立シタルモノト認メサルヘシ

第六 購入品着荷ノ上本會ヨリ分配ノ通知ヲ受ケタルトキハ各區ノ購入總代者ハ其ノ指定ノ時限ニ出頭シテ左ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス
 イ、信用組合ヨリ連帶信用ノ共同購入金ヲ受取リテ之ヲ收入役ニ納付シ其ノ受領證ヲ提出シテ現品受領ノ證ニ換フルコト
 ロ、若シ購入ノ代金カ各個人ノ贈出ニ係ハリ信用組合ノ資金ニ據ラサル場合ハ第四ノ手續ニ準シ之ヲ收入役ニ提供シ其ノ受領證ヲ以テ完全ニ申込ヲ結了シタルコト

▲共同集積倉庫ノ設置 小作米ノ納入及格付検査ヲ行ヒ其ノ格付等級ニ應ジ一等八拾錢、二等四拾錢、三等參拾五錢、四等貳拾五錢、五等拾錢ノ賞金ヲ所屬地主ヨリ交付シ益々改良ノ實ヲ舉ケシムヘク自覺セシムルト共ニ俵米ノ共同販賣ヲ爲シテ共同事業ノ有利ナルコトヲ覺知セシムコトヲ期シツツアリ大正三年ニ於ケル入庫米ハ約五千俵ニシテ其ノ共同販賣ノ結果ハ個人販賣ノ場合ニ比シ一俵ニ付金貳拾錢以上ノ高價ニ販賣シ得タリ而シテ經費ハ入庫米一俵ニ付金參錢ノ手数料ヲ以テ支辨ス

▲堆積肥料ノ獎勵 明治四十五年ヨリ農家經濟ノ發達ヲ圖ル目的ヲ以テ堆肥獎勵會ヲ設ケ規程ヲ定メ優等ノ選ニ當リタルモノニ夫々賞ヲ與ヘ同時ニ標準堆肥舍ヲ建設シテ其ノ構造及肥料製造方法等ノ模範ヲ示シ或ハ信用組合ト聯絡ヲ取リ堆肥舍建設資金ノ融通ヲ計リ或ハ建設シタル者ニ對シテハ建坪一坪ニ對シ金壹圓ノ割合ニ補助金ヲ與フル等極力其ノ普及ヲ圖リツツアル結果年々堆肥舍ノ數ヲ増加シツツアリ

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲稻架用竹材ノ無償配布 本事業ハ大正二年八月金壹千五百圓ヲ以テ竹材五萬本(天架及架脚)ヲ購入シテ一般當業者ニ無償配布セリ其ノ成績左ノ如シ

稻架材料配付ノ効果

一 由來米質不良ノ非難アリタル産米ハ産米検査ノ結果一般ニ合格米多ク其ノ價格モ亦從テ上進シ一俵ニ對シ少クトモ貳拾錢以上トナレリ今全町ノ産米ヲ一萬五千俵ト假定セハ稻架乾燥ノ結果優ニ參千圓ノ利益ヲ獲得シタリ
 一 乾燥法實行ノ結果一反歩ニ付一斗以上ノ増量ヲ見ルニ至レリト云フ本町三百町歩ノ水田ニ對シ三百石以上ノ生産ヲ高

メ米價一石拾五圓ト假定セハ優ニ四千五百圓ノ利益ヲ得タル次第ナリ

一本町ノ産米ハ精白ト爲スノ際一割以上ノ春減ヲ生シタリシニ乾燥法ノ改良ト共ニ其ノ減量ハ四分以下トナルニ至レリ
 サレハ精米一俵ニ對シ空シク四升ヲ失ヒタルモノヲ一升五合ニ減少シタルハ總額ニ於テ百七十四石ノ利益ヲ得タル割合ニシテ一石ノ米價拾五圓ト假定スルモ貳千六百圓ヲ贏ケ得タルモノナリ

一 從來ノ稻藁ハ乾燥不良ノ爲其ノ大部分ハ光澤ナク彈力弱ク堆肥ト爲スノ外殆ト用ニ足ルモノナク從テ一担ノ代金僅ニ參厘ニ過キサリシニ今ヤ光澤及彈力俱ニ面目ヲ改メ其ノ結果一担ノ代金四厘五毛ニ上リタリト云フ試ミニ一反歩ヨリ得ル處ノ藁ヲ七百把ト見積リ町内ノ水田三百町歩此ノ藁二十一萬把代金九百四拾五圓ナリ

一本町ノ産米ハ盛夏ニ逢ヘハ蟲害ヲ受ケ約二割ヲ減損シ米價ノ低落セル時ト雖入梅前投資スルノ餘儀ナキニ至ルヲ常トセリ然ルニ稻架設置以來乾燥充當ナル爲入梅ヲ過キテ高値賣ヲ爲スヲ得ルニ至レリ

一 水稲ヲ刈取ルト同時ニ之ヲ各自ノ家ニ搬入シテ稻扱、調製ニ取掛ルノ慣行ニシテ水ノ滴ル刈稻ヲ運搬スルハ人馬ノ勞亦少ナカラサリシナリ然ルニ刈稻ハ現場ニ於テ一定ノ乾燥ヲ遂ケテ後自家ニ運搬スルコトト爲リタルヲ以テ稻ノ容量ヲ減少シ爲ニ人馬ノ勞力ヲ半減スルニ至リ麥ノ播種ニ際シ勞力分配上多大ノ便益ヲ得ツツアリ

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 信用組合 本會ハ一宮町信用組合ト聯絡ヲ圖リ共同集積倉庫入庫米ニ對シ金融ノ途ヲ開キ或ハ肥料共同購入資金、及會費ノ代納又ハ預金等ノ便ヲ圖リツツアリ
- (二) 地主會 一宮町地主會ハ農會ノ原動力ト爲リテ活動シ其ノ幹部ハ本會ノ幹部ト同一ニシテ克ク農會ノ施設事業ノ遂行ヲ援助シツツアリ
- (三) 青年會 一宮町青年會ニ促成栽培部ヲ設ケ町内ニ於ケル需要ニ應ジシメ或ハ果樹、蔬菜等ノ試作ヲ爲シ且一坪農藝事業ノ指導ノ任ニ當ラシム

(四) 尚風會 本會ハ精農者ノ選賞或ハ一坪農藝事業ノ獎勵指導上ニ於テ援助ヲ與フ

茨城縣

弓馬田村農會

猿島郡弓馬田村大字馬立(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ猿島郡ノ南部ニ位シ面積〇・七方里地勢概ネ平坦ナリ人口二千六百七人戸數三百八十三戸耕地面積田
一百二十二町八反歩、畑三百五十八町六反歩アリ住民ハ殆ト農業ニ從事ス產物ハ米麥ヲ主トシ副業トシテ茶、煙草、蒔
ノ生産アリ

會員數 三百三十五名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ現村長ニシテ明治四十一年就職農事改良ニ熱心ナル者ナリ副會長ハ本村助役ニシテ長ク其ノ職ニ在
リ幹事ハ本會創立當時ヨリ本會ノ發達及農事ノ改善ニ盡シ評議員六名悉ク村會議員ニシテ執テレモ村内ノ有力者ナリ技
術員ナキモ本郡指導員養成講習會ニ於テ修了證書ヲ有スルモノヲ明治四十年ヨリ指導員トシテ五名ヲ設置シ農業各般
ノ指導ヲ爲サシム書記ハ專任ノモノ一名ヲ置キテ事務ニ從事セシム
- (二) 總會 毎年一回總會ヲ開キ同時ニ農談會ヲ開キ農業ニ關スル講話ヲ爲スヲ以テ出席會員總數ノ約八、九割ニ達スル
ヲ常トス
- (三) 補助的設備 農事ノ改良、風紀ノ改善ヲ圖リ併セテ本村ノ福利公德ノ増進ヲ期セムカ爲ニ明治四十四年九月古制五
人組ニ倣ヘテ實行組合ヲ組織シ毎年一回總會ヲ開キテ必須事項ヲ協定シ村會議員、各區長、學務委員、改良委員、指

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	111,000	繰越金	116,000	補助縣	—	補助郡	310,000	補助村	115,000	補助上級農會	110,000	計	315,000	其ノ他	310,000	合計	566,000
----	---------	-----	---------	-----	---	-----	---------	-----	---------	--------	---------	---	---------	-----	---------	----	---------

(二) 同上 支出決算額

事務所費	110,000	會議費	11,000	對上級農會ニ 對スル負擔金	10,000	事業費	125,000	其ノ他	110,000	合計	266,000
------	---------	-----	--------	------------------	--------	-----	---------	-----	---------	----	---------

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ地租金壹圓ニ對シ金五錢宛ヲ賦課ス其ノ收入方法ハ四月、十月ノ二期ニ徵收ス會費ノ
滞納者ナシ

基本財産 現在高金四拾參圓四拾六錢

右ハ寄付金ヨリ成ルモノニシテ現今岩井銀行預金トス

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業成績
過去ニ於テ施設シタル事業ハ今尙繼續施行シツアルヲ以テ特ニ記スヘキモノナシ
- (二) 現時ノ事業成績
▲米●麥●品●種●ノ●統●一● 水稻ハ上總コボシ、玉錦、荒木、關取、常豐ノ五種ヲ、陸稻ハ凱旋橋、常陸錦、信州金子、オイラ

ノノ四種ヲ、大麥ハ關取ヲ、小麥ハ白莢ヲ獎勵ノ結果水稻及ヒ大麥ハ作付反別ノ九割九分陸稻ハ七割小麥ハ九割五分ノ普及ヲ見ルニ至レリ尙各戸米麥採種田ヲ設置セシメ品評會ヲ開催シ又農會ノ直營トシテ水稻原種田二箇所反別一町歩ヲ、大小麥採種畑各一町二反歩ヲ經營シ專ラ原種ノ普及ヲ圖リツツアリ

▲鹽水選ノ獎勵 選種組合六十組ヲ設ケ補助金ヲ交付シ日割ヲ定メ米麥種子ノ鹽水選ノ共同實行ヲ獎勵シタル結果全部ニ普及スルニ至レリ

▲苗代改良獎勵 從來面積狭小ニシテ播種量多ク且肥料トシテ綠肥ノ使用多キヲ以テ反當苗代面積ヲ十二坪トシ一坪ノ播種量ヲ三合以下トシ尙肥料ハ特ニ苗代肥料ニ適當ナルモノヲ配合シテ獎勵セシ結果七割以上ノ實行ヲ見ルニ至レリ又苗代ノ除草並害虫驅除ハ全般ニ普及セリ

▲茶園及製茶ノ改良獎勵 茶園ノ改良ニ付テハ先ツ剪技改良ノ急務ナルヲ認メ之ヲ獎勵シタル結果剪技スルモノ三十町ニ反歩ニ増加シ全面積ノ四割五分ニ達ス又傳習所ヲ開設シ製法ノ改良統一ヲ期セリ

▲肥料共同購入ノ斡旋 本會ハ村内實行組合煙草耕作組合又ハ信用組合員ノ爲ニ肥料共同購入ノ斡旋ヲ爲シ最近購入金額千九百四拾七圓ニ達シ成績良好ナリ

▲桑園ノ改良獎勵 蠶業ノ基礎ハ桑園ニ在ルヲ以テ本會ハ桑園ノ早中晩生葉ノ歩合ヲ案配スル必要ヲ認メ之ヲ獎勵ヲ加ヘタル結果全桑園十三町二反歩ノ中七割五分ハ既ニ其ノ目的ヲ達セリ尙夏秋蠶專用桑園ハ全桑園ノ一割五分ニ過キサ

ルヲ以テ漸次是カ獎勵ヲ加ヘツツアリ桑園ノ肥料經濟ヲ圖ル爲青刈大豆ヲ獎勵セシ結果全反別ノ八割以上ノ普及ヲ見ルニ至レリ

▲養蠶ノ獎勵 蠶種ハ又昔ニ統一獎勵シ今ヤ八割五分以上ノ統一ヲ見ルニ至レリ其ノ他蠶種共同購入、共同貯藏、稚蠶共同飼育、繭共同販賣等凡テ共同施設ヲ獎勵セシ結果其ノ成績良好ニシテ稚蠶共同飼育ハ全掃立枚數ノ九割ニ達シ共同販賣數量モ亦全收購ノ八割以上ニ及ヘリ其ノ他蠶病消毒ハ本會ニ於テ噴霧器ヲ購入シ役員ハ各戸ニ出張シ實地指導ヲ行ヒ本年「フォルマリン」液消毒ヲ實行セシ戸數三十戸ニ達セリ

▲其ノ他ノ栽培上ノ獎勵施設 稻作本田ノ肥料ハ從來基肥ヲ施用スルモノ少ナカリシモ明治四十四年稻作栽培傳習所設置以來肥料ノ選擇並基肥ノ施用等漸次改良ノ域ニ進ミ現今殆ト九割以上ノ實行ヲ看ルニ至レリ又正條植ハ全反別ノ五割五分ニ達シ雜草ノ除去、害虫ノ驅除ハ殆ト全村ニ普及實行スルニ至レリ尙牛馬耕ノ獎勵冬期水田ノ鋤返シ立毛品評會小作米品評會等ヲ開催シ稻作改良ニ力ヲ致シツツアリ麥作ニ在リテハ播種期、播種方法、播種量ノ改良堆肥ノ施用獎勵等ニ力ヲ致シタル結果漸次改良セラレ堆肥ノ如キ一反歩三百貫以上ヲ使用スルモノ全農家ノ七割ニ達セリ爲ニ鈔カラス金肥ノ施用ヲ節約スルニ至レリ其ノ他麥奴豫防、耕作品評會、小麥品評會等ヲ開催シ品種及栽培法ノ改良普及ヲ圖リツツアリ大豆ハ從來早播無肥料ナリシモ獎勵ノ結果施肥栽培ヲ實行スルモノ多キヲ加ヘ大ニ改良セラレルニ至レリ煙草ハ明治四十四年以來桐ケ作業ニ品種ヲ統一シ且採種田ヲ設ケ煙草指導員ヲ置キ煙草栽培ノ改良ニ努メタル爲其ノ成績良好トナレリ

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲堆肥指導員ノ設置 堆肥指導員養成ノ目的ヲ以テ明治三十九年八月ヨリ本村内ニ堆肥講習所ヲ開設シ堆肥ニ關スル講習ヲ爲シ翌年七月修了指導適任證ヲ下附シタルモノ五人ヲ得タリ是等ノ者ニ本會堆肥指導員ヲ囑託シテ各字ニ堆肥傳習所ヲ開設シ分擔指導ヲ爲サシメタルニ其ノ効果頗ル顯著ナリシカハ繼續之ヲ設置シ現今各戸ニ就テ堆肥ノ指導ヲ爲サシムルノミナラス農事指導ヲ囑託シテ米麥其ノ他各種作物ノ實地指導ヲ爲サシメツツアリ

▲堆肥ノ改良 (沿革) 本事業ハ明治三十八年ヨリ本會ノ主要事業トシテ計畫シタルモノニシテ指導員設置ノ項ニ記載シタル如ク指導員ノ養成ト同時ニ堆肥舍ノ改築又ハ新築ヲ獎勵シ明治四十年八月各區ニ堆肥傳習所一箇所宛五箇所ヲ設置シ三十人ヲ得同四十一年ニハ同シク二十八人同四十二年ニハ同シク二十人同四十三年ニハ三箇所十三人ヲ得、大ニ普及シタルヲ

以テ傳習所ノ開設ヲ中止シ更ニ各戸ニ就テ其ノ製肥期節中巡回指導ヲ爲サシメ督勵ヲ加ヘタルニ小作農家及兼業農家ニ至ル迄普ク改良セララルルニ至リ又一面ニ堆肥舍建築組合ヲ設ケ堆肥舍ノ新築改築ニ就テハ人夫又ハ金錢ヲ以テ援助シ之カ速成ヲ期シタル結果良好ナル成績ヲ得タリ

(施行ノ方法) 巡回指導ハ本會ニ於テ日割ヲ定メ毎年一月ヨリ四月迄ノ春季製肥期節中ニ四回八月ヨリ十月迄ノ秋季製肥期節中ニ四回之ヲ行フヲ普通トス指導方法ハ各區長及改良委員ハ指導員ト共ニ各戸堆肥舍ニ就キ積込ノ有無、管理法ノ適否等ヲ精査シ注意ノ點ヲ指示シ併セテ其ノ應用法、肥料配合法等ヲモ説明シテ指導液誘ス指導日誌左ノ如シ

第 同巡回指導日誌(春季)又ハ(秋季)

月 日	肥 料 舍		積込數量	指導摘要	當業者氏名
	改	在			
		無			

備考

(一) 肥料舍中「改」ハ改良舍、「在」ハ在來舍、「無」ハ肥料舍ナキモノヲ記載ス。
(二) 巡回ヲ終リタル毎ニ之ヲ集計シテ其ノ都度本會ニ報告スルコトヲ規定ス

(成績) 本村ノ金肥施用額ハ一箇年約貳萬五千圓ニ達シタルモ堆肥改良ノ結果約二萬壹千圓ニ減シタリ加フルニ近年來麥其ノ他農産物ノ産額頓ニ増加セルハ他ニ種々ノ原因アルヘシト雖堆肥改良亦與ツテ力アルモノト信ス

年 次 別	堆 肥 舍 數	農家百戸ニ對スル歩合		堆肥製造數量	同 上 金 額
		六割三分	七割九分		
大 正 二 年	二一四	六割三分	一、一〇〇、〇〇〇		一、一〇〇、〇〇〇
同 三 年	二六六	七割九分	一、二三〇、〇〇〇		一、二三〇、〇〇〇
同 四 年	二六八	七割九分	一、二五〇、〇〇〇		一、二五〇、〇〇〇

●●●●●
模範耕作貯蓄組合

(沿革及施行ノ方法) 農事ノ改良進歩ニ伴ヒ耕種栽培ノ方法ヲ研究シ併セテ勤儉貯蓄ノ美風ヲ涵養スルノ目的ヲ以テ明治四十二年模範耕作貯蓄組合ヲ組織シ其ノ方法ハ五人ヲ以テ一組トナシ一組毎ニ一反歩ノ耕地ヲ分割シテ一人ニ付二畝歩宛ヲ試作セシメ栽培方法ヲ研究セシム本會ハ調査員ヲシテ其ノ栽培成績ヲ實地ニ調査シテ優良ナルモノヲ旌表スルト同時ニ其ノ生産物ヲ評定シ評定金額以上ヲ貯金セシム

(成績) 模範耕作貯蓄組合ハ五箇年ヲ以テ一期トシテ其ノ期間内ハ拂戻ヲ行ハサル方法ナルヲ以テ組合ノ貯金ハ漸次増加セルノミナラス貯蓄思想ヲ喚起スルヲ得加フルニ農作物ノ栽培改良上ニ貢獻スル處鮮ナカラス

年 次 別	組 合 數	組 合 員 數	貯 金 額		備 考
			五三六、七七〇	一、〇一〇	
大 正 二 年	二八	一四〇			組合員ノ協議ニ依リ耕馬共同購入ノ爲貯金ノ拂戻ヲ爲シ馬十八頭ヲ買入レタリ
同 三 年	一一	五五			
同 四 年	一一	五五			
同 五 年	一一	五五			

預金ハ村農會長ノ名義ヲ以テ確實ナル銀行ニ預ケ入レ村農會長之カ通帳ヲ保管シ五箇年ノ後其ノ預ケ入レ高ニ利子ヲ加ヘテ各自ニ拂戻ヲ爲ス

弓馬田村農會模範耕作貯蓄組合規約

- 第一條 本組合ハ模範耕作貯蓄組合ト稱シ事務所ヲ本村農會事務所内ニ置ク
- 第二條 本組合ハ本村農會長ノ選拔者ヲ以テ組合員トス
- 第三條 本組合ハ組合員相互ニ耕種栽培ノ術ヲ講究シ併セテ貯蓄ノ美風ヲ養成シ模範的農業經營ヲナスヲ以テ目的トス
- 第四條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク組合長一名副會長一名幹事若干名評定員三名書記一名
- 第五條 組合長ハ本村農會長ヲ、副會長ハ本村農會副會長ヲ、書記ハ同事務員ヲ以テ之ニ任ス幹事及評定員ハ本村組合長之ヲ選任ス
- 第六條 組合長ハ本村組合ヲ代表シ副會長ハ之ヲ補佐シ幹事ハ其ノ區内ノ事務ヲ分掌シ評定員ハ評價ニ從事シ書記ハ記録ニ從事ス

- 第七條 本組合ハ便宜上之ヲ若干區ニ區分シテ幹事及組合員ヲ配分ス但シ組合員ハ一組五名トス
- 第八條 模範耕作地ハ各區一箇所一反歩ノ土地ヲ限リ之ヲ各組合員ニ分割配當シテ耕作セシム而シテ其ノ土地ヨリ産出シタル收穫物ハ其ノ全額ヲ貯蓄スルモノトス
- 第九條 貯蓄額ハ評定價格ヲ下クルコトヲ得ス
- 第十條 耕作物ノ種類品種其ノ他一定スヘキ事項ハ特ニ本組合ヨリ指示スルモノトス
- 第十一條 貯蓄ハ凡テ郵便貯金トス各區幹事ハ之ヲ取纏メテ預ケ入レヲ爲シ直ニ其ノ通帳ヲ組合長ニ提出スヘシ
- 第十二條 貯蓄預入期日左ノ如シ
陸稻ハ十二月二十五日小麥ハ七月二十五日
- 第十三條 本組合ニハ貯蓄臺帳ヲ備ヘ置キ通帳ニ依リ登記ヲ爲シ通帳ハ之ヲ本人ニ還附ス
- 第十四條 本組合ニハ附帶事業トシテ各區共養鶏其ノ他副業ノ一ヲ選ミテ之ヲ經營シ其ノ收益ノ幾分ヲ貯蓄スルモノトス
- 第十五條 本組合ハ中途退退スルヲ得ス但シ特別ノ事情アルモノハ此ノ限リニ在ラス
- 第十六條 貯蓄ハ組合繼續期間中拂戻ヲ得ス但シ評定價格以上ニ貯蓄シアルモノハ評定價ニ其ノ利子ヲ加ヘタルモノヲ加除シ其ノ餘リヲ拂戻スコトヲ得
- 第十七條 本組合ノ繼續期限ヲ滿五箇年トス
- 第十八條 本組合ノ費用ハ各組合員ノ負擔トス

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 産業組合 本會ハ産業組合ノ設置ヲ獎勵シタル結果本村内ニ四箇ノ信用組合ヲ設立スルニ至リ其ノ組合員二百四十人農會員ノ大部分ハ産業組合員ナルヲ以テ産業組合ト聯合シテ講話會ヲ開キ村民ノ修養訓練ニ努ム
- (二) 地主會 地主會ノ幹事ハ本會ノ幹部ト同シク農會ノ施設事業ノ遂行ヲ援助シ専ラ小作人ノ保護獎勵ニ努ム小作米品評會ヲ開催シ地主ハ獎勵米若ハ獎勵金ヲ交付シ又地主會ハ小作人ニシテ耕地ヲ有セサルモノ勤勞ノ結果土地ヲ購入シ得ル場合ハ二割以内ノ補助ヲ爲ス如キ規程ヲ設クル等村農會ト提携シ諸般ノ農事改善ニ力ヲ盡ス
- (三) 青年會 青年會ハ之ヲ五支部ニ設置シ戸主、耆老、母姊、處女各會ノ規約貯金ノ集金遞送ノ任ニ當リ其ノ他道路ノ修理、指導標ノ建設ヲ爲ス農會ハ農談會開設等ノ場合其ノ便宜ヲ取計ヒツツアリ

其ノ他參考トナルヘキ事項

本村明治四十二年即チ村是調査當時耕地ヲ有セサルモノ百二十一戸ナリシニ大正二年ニ至リテハ五十五戸ニ減少シ他町村ヨリ買戻シタル土地四十九町五反一畝歩アリ尙本會ノ規定セル實行組合同規約ヲ舉クレハ左ノ如シ

弓馬田村實行組合同規約

- 第一條 本組合ハ(一)區ヨリ六十區迄實行組合ト稱シ左記人員ヲ以テ組織シ隣保相扶ケ共同一致シテ農村ノ改良ヲ實行スルモノトス
組合員三百六十八名
 - 第二條 本組合ニ組長一名ヲ置キ本村長及本村農會長ノ指揮ニ從ヒ組合員ヲ督勵スルモノトス
 - 第三條 本組合員ハ左ノ事項ヲ實行スルモノトス但シ組合トシテ已ムヲ得スシテ實行シ能ハサル場合アルトキハ組合員ハ可成之ヲ援助シテ其ノ完了ヲ圖ルモノトス
 - 一 本村若ハ本村農會ノ規程シタル事項
 - 第四條 本組合員ハ風紀ノ改良其ノ他共濟互助ノ爲左記事項ハ誓ツテ實踐行スルモノトス
 - 一 奢侈ヲ誡メ品性ヲ高ムルコト
 - 二 和協一致公徳ヲ重ンスルコト
 - 三 勤儉ヲ旨トシ貯蓄ヲ勵行スルコト
 - 四 農閑又ハ餘暇ヲ利用シテ精々副業ヲ營ムコト
 - 五 集會ノ時間ヲ守ルコト
 - 六 學齡兒童ノ就學及出席ヲ怠ラサルコト
 - 七 衛生組合同規約ヲ實行スルコト
 - 八 納税ヲ怠ラサルコト
 - 九 火災ハ豫防組合同規約ヲ實行スルコト
 - 十 冠婚葬祭ニ際シテ力メテ同慶同弔ヲ爲スコト
 - 十一 其ノ他必要ナル事項ヲ實行スルコト
- 右規約實行ノ證トシテ左ニ署名捺印スルコト

組長
人員

六十一名
三百七十七名

一 本規約ハ明治四十四年ヨリ之ヲ施行ス

弓馬田村實行組合督勵ニ關スル規定

- 一 本村自治ノ基礎ヲ確立シ改良事項ヲ實行スル爲實行組合ヲ組織シ農事ノ改良風紀ノ改善ヲ普及シ本村ノ福利及公德ヲ發揚スルヲ以テ目的トス
- 二 實行組合ハ之ヲ若干區トシ本村々長及本村農會長之ヲ指揮監督スルモノトス
- 三 實行組合ノ指導ハ村會議員、學務委員、區長、改良委員及指導員之ニ當リ各自受持區域ヲ定メ監督獎勵ヲ爲スモノトス
- 四 實行組長ハ必要ニ應ジ之ヲ招集シ事業方法ノ打合せ指導督勵上ノ協議並成績ノ調査ヲ爲シ更ニ一年一回組合員ノ總集會ヲ開クモノトス
- 五 實行組合ノ活動ハ村教育會之ヲ援助シ組合内ノ實行普及ニ努ムルモノトス
- 六 實行組合員ニハ農家中行事及農家厩ヲ配布シ其ノ實行方法ト實行ノ適期ヲ失セサルニ努ムルコト
- 七 實行方法其ノ他注意ヲ要スル事項ハ一定ノ標準ヲ定メ組合員ニ配布シ農法ノ統一及實行ノ完全ヲ圖ルモノトス
- 八 善行美德者及他ノ模範トナルヘキ組合員ハ組長ノ推選ニ依リ之ヲ表彰スルモノトス
- 九 改良實行方法ハ縣郡ニ申請シ組合員ノ講習ヲ爲スモノトス

阿見村農會

稻敷郡阿見村大字阿見(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ西北隅ニ位シ六大字ニ分レ北部霞ヶ浦沿岸ヲ除クノ外概ネ平坦ニシテ人口二千八百八十九人總戸數五百四十戸内農家戸數五百一戸田二百七十三町歩畑約七百町歩アリ住民ハ農ヲ業トシ副業トシテ繭、養鶏、刈萱等ノ生産アリ此ノ外霞ヶ浦ニ沿エル地方ハ漁業ノ利少ナカラス

會員數 六百二十三名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村長ニシテ農事改良ニ熱心ナリ副會長ハ村内屈指ノ地主ナリ評議員七名ハ郡會議員、村會議員、區長等村内有力者ナリ技術員ハ目下缺員人選中ニ屬ス幹事書記ハ本村吏員之ヲ兼務ス
- (二) 總會 毎年通常總會一回、臨時總會一回ヲ開催ス多クハ他ノ會合ト聯合シテ開催スルヲ以テ出席會員比較的多ク總會員數ノ約七割ニ達スルヲ例トス議事終了後縣又ハ郡ノ農業技術員若ハ知名ノ士ヲ聘シテ講演會ヲ開キ最後ニ茶話會ヲ催シ談笑裡ニ閉會ス
- (三) 補助的設備 事業ノ施行ヲ幫助セシムル爲實行組合アリ該組合ハ古制五人組ニ則リ舊慣ヲ參酌シテ時代ニ適應セル申合規約ノ下ニ五戸乃至十戸ヲ以テ組織セル實行組合九十二組合アリ各々組長ヲ置キテ指導統率ノ任ニ當ラシメ更ニ數區毎ニ一、二名ノ受持督勵委員二十三名ヲ配シ組長之ヲ統ヘ協定事業ヲ實行セシム其ノ他各區ニ農事改良委員、害蟲驅除豫防委員、麥奴豫防及鹽水選種指導員、堆肥獎勵委員等五十六名ヲ選定シ實行上遺憾ナキヲ期セリ

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	三、五〇〇	繰越金	二、一〇〇	補助	五、〇〇〇	補助	一、七〇〇	計	六、七〇〇	其ノ他	—	合計	四、七三〇
補助	—	補助	—	補助	—	補助	—	計	—	其ノ他	—	合計	—

(二) 同上 支出決算額

事務所費	二、一〇〇	會議費	一、〇〇〇	對上級農會ニ對スル負擔金	三〇、〇〇〇	事業費	三、六三〇	其ノ他	五、七〇〇	合計	四、七三〇
------	-------	-----	-------	--------------	--------	-----	-------	-----	-------	----	-------

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ會員割ニ約三分ヲ、地價ニ約七分ヲ分賦シ毎年六月及十二月ノ二期ニ徵收ス但シ村外

居住者ニハ會員割ヲ課セス會費ノ滯納者數名ニ過キス是等ハ多ク他村在住ノ地主ニシテ缺損額ト看做スヘキモノナシ
分賦金ハ村稅ト共ニ告知書ヲ發シテ之ヲ徵收ス

事業成績

(一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績

●種●糶●ノ●配●布● 從來本村ニ於ケル米麥ノ品種ハ雜駁ニシテ數十種ヲ算シ從テ收量多カラザリシヲ以テ明治四十二年ヨリ
之カ改良ヲ圖ラムカ爲種採田ヲ置キ郡農會ヨリ交付セラレシ優良品種ヲ栽培シ專ラ種子交換ノ方法ヲ以テ普及ヲ爲セ
リ更ニ大正元年ヨリ品種統一ノ計劃ヲ樹テ採種田ヲ擴張シ各區ニ之ヲ設置シタリ交換總數量一百二十一石一斗三升ニ
達シ全村ヲ通シテ統一セシヲ以テ大正四年以來之ヲ中止セリ

(二) 現時ノ事業成績

●模●範●試●作●地●ノ●設●置● 米麥作ノ改良ヲ圖ラムカ爲依託模範試作地ヲ置キ各區青年會支部員ヲシテ專任擔當セシメ本會技
術員指導監督ノ下ニ耕種一斑ノ模範ヲ營業者ニ示シテ之カ改良ノ資ニ供セリ本事業ハ明治三十六年ヨリ繼續施設セシ
結果肥培、管理、耕種等著シク改良セラレタリ最近三箇年間ノ成績左ノ如シ

年 次	種 別	設置箇所數	面 積	品 種	反當收量	施肥價格
大正二年	同	三	三、〇〇〇	水橋稻三種	二、四四五	五、七五
同 三 年	同	四	四、〇〇〇	同 四 種	二、七八	六、八八
同 四 年	同	四	四、〇〇〇	同	二、六三	五、七〇

●小●麥●共●同●販●賣●ノ●施●行● 大正元年七月郡農會幹旋ノ下ニ共同販賣ヲ施行セリ其ノ取扱高五十四石其ノ販賣申込人員五十

四名此ノ金額ハ六百參拾六圓四拾錢ナリ其ノ成績良好ナリシヲ以テ營業者ハ進シテ之カ實施ヲ希望スルモノ多シ

●綠●肥●栽●培●ノ●獎●勵● 大正元年ヨリ引キ續キ種子共同購入ノ幹旋並無償交付等ヲ爲シ尙試作地ヲ設置シテ實地指導ヲ爲シ
獎勵ニ努メツツアルモ未タ普及ニ至ラス現在播種面積五町歩ニ過キス青刈大豆ハ主トシテ桑園ヲ利用セシメテ試作ヲ
爲サシメ其ノ成績良好ナリ大正五年作付反別十三町歩餘ニ達ス尙大正四年レゾト、ホワイト二種ノ「クローバー」ヲ
購入シテ精農者六名ニ配布シ之カ試作ヲ爲サシメタリシニ其ノ成績良好ナルヲ以テ將來長足ノ進歩ヲ認ムルヲ得ヘ
シ

●牛●馬●耕●ノ●獎●勵● 勞力調節上牛馬耕ノ緊要ナルヲ認メ普及ノ方法トシテ講習會ノ開催犁具ノ共同購入幹旋等ニ努ムルモ
未タ理想ノ域ニ達セス大正三年ニ於ケル馬耕人員三十五人實行シタル水田九町五反歩畑四十六町五反歩ニシテ全面積
ニ對スル水田ハ僅ニ百分ノ三畑ハ百分ノ六ニ過キス大正四年ニ於テハ人員ニ於テ増加セシト雖其ノ面積ハ前年ト大差
ナキモ已ニ營業者ハ其ノ必要ヲ認ムルニ至リシヲ以テ漸次普及スルニ至ルヘシ

●蠶●業●ノ●改●良● 養蠶、蠶種ノ統一、蠶種ノ共同購入、共同貯藏、共同催青、稚蠶共同飼育、蠶病消毒、繭ノ販賣等共同
的ノ施設ヲ獎勵シタル結果着々好成绩ヲ示シツツアリ尙蠶業ニ關スル知識ノ開發ヲ圖ル爲講話講習會ヲ開催シ層繭ノ
利用ヲ獎メムカ爲層繭整理講習會ヲ開キタリ目下村内ニ稚蠶共同飼育組合數三箇所設置セララルニ至レリ

●桑●園●ノ●改●良● 飼育上遺憾ナキヲ期シ且桑葉ノ經濟的利用ノ方法トシテ早、中、晚種ノ栽桑歩合ヲ定メ且既設桑園改良
ノ目的ヲ以テ大正元年ヨリ老樹ノ改植、早生種ノ増植等ヲ獎勵シツツアリ尙大正三年ヨリ桑苗無償交付規程ヲ設ケテ
十四箇所面積五反四畝歩ノ苗圃ノ設置ヲ爲シ專ラ良苗ヲ配布シ之カ普及ヲ圖レリ今日迄配布シタル數量ハ九千五百五
十本ニ達ス

●副●業●ノ●獎●勵● 本會ニ於テハ農家ノ副業トシテ家禽ノ品種及飼育法ノ改良ヲ獎メ又蕪細工製品ノ產出、刈萱ノ栽培及製
茶ノ改良ヲ獎勵シタル結果現時家禽數三千六百羽ヲ數ヘ、蕪細工製品ノ產額參千貳百圓ニ上リ刈萱ノ栽培ハ亦漸時増

加シテ年額七千圓ニ達シ製茶モ亦年額千五百圓ヲ算スルニ至レリ

▲宅地改良ノ獎勵 空地ノ利用果樹ノ剪定、管理、建物ノ經濟的建設、下水ノ利用、排水ノ設備等ニ關シ改良獎勵ノ一端トシテ大正二年二月宅地品評會ヲ開設セシ出品人員二十七名中二等一名、三等四名、四等三名、五等五名ヲ選ヒ賞ヲ與ヘタリ本事業ハ始メテノ施設ナレトモ是ニ依テ一般當業者ノ覺醒ヲ促シ近時利用ノ途ヲ講スルモノ多キニ至レリ
▲印刷物ノ配布 大正元年ヨリ主要農作物栽培要綱、肥料配合標準、農家曆等ヲ印刷シ毎年各戸ニ配布シ勞力分配ノ調節及農家作業上ノ注意ヲ與ヘタル結果其ノ成績良好ナリ

▲技術員ノ設置 大正元年ヨリ技術員ヲ置キ各部落ノ巡回實地指導ニ當ラシメシ一般農業上ニ多大ノ進歩ヲ爲シ就中米麥作ノ改良並ニ肥料改良等ニ就テハ甚タ好果ヲ示セリ

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲米作改良ノ獎勵 稻作ノ改良ヲ圖ラムカ爲明治三十六年ヨリ模範試作地ヲ置キ或ハ講話會ヲ開キ專ラ之カ獎勵ニ努メタリシカ大正元年ヨリ縣是ノ方針ニ則リ品種ノ統一、鹽水選種ノ勵行、苗代ノ改良、自給肥料ノ製造肥料配合ノ改良、適期ノ移植、正條植ノ普及、乾燥調製ノ改良等一般ニ技術員ヲシテ巡回實地指導ヲ爲シ又時期ニ應ジテ印刷物ヲ配布シテ警告ヲ與ヘ縣又ハ郡ヨリ技術者ヲ聘シテ講習講話會ヲ開キ知識ノ啓發ニ資シ尙從來ノ模範試作地ヲ増加シテ耕種肥培ノ範ヲ示シ採種田ヲ置キテ種子ノ交換ヲ行フ等督勵ニ努ムルト同時ニ一面ニハ稻苗代品評會、稻作立毛品評會、正條植競技共進會、水稻多稔競技會及俵米品評會等ヲ開催シテ獎勵セシ結果漸時改良ノ實績ヲ擧クルニ至レリ大正三年ニ於ケル統一品種ハ愛國、常豐、中生神力、石白、關取、信州、金子等ニシテ其ノ栽培面積ハ稻作面積ノ九割ニ達ス收量ノ如キモ平均反當リ二石ニ達シ之ヲ明治四十四年 縣是實行前ノ收量一石四斗八升ニ比シ五斗二升ノ增收ヲ得タリ陸稻モ水稻ト等シク各般ノ施設ニ遺憾ナキヲ期セシヲ以テ明治四十四年ノ平均收量九斗内外ナリシモ現今ニ於テハ一石二斗内外ノ收量ヲ示スニ至レリ其ノ成績ヲ擧クレハ

水	種別	品種	代選	水田除	木田肥	適期	正條植	木田除	適期刈取	稻架實施	完全干	選
稻	百分比	一反別	改良	草同散	料改良	移	反別	三回實施	適期刈取	稻架實施	燥實施	選
		否	否	100	100	否	否	否	否	100	否	100

▲麥作ノ改良 大小麥ノ改良ヲ圖ラムカ爲明治三十六年ヨリ模範試作地ヲ設ケ獎勵ヲ爲シツツアリシカ大正元年ヨリ縣是ノ方針ニ則リ品種ノ統一、鹽水選種、麥奴豫防、播種ノ適量、肥料配合、收穫ノ適期、麥架ノ勵行、調製俵裝等ノ改良ニ對シ米作同様ノ施設ヲ爲シ之カ實地指導ニ努メタル結果著シキ効果ヲ收メタリ其ノ成績ヲ擧クレハ

大	小	品種	代選	鹽水選種	麥奴豫防	適期播種	適期收穫	麥架實施	蓮千戶數	反當收量
麥	麥	百分比	否	否	100	100	否	否	100	1.10
同	同		否	否	100	100	否	否	100	1.10

▲堆肥ノ獎勵 堆肥ノ改良ハ農家ノ最モ緊切ナル作業ニシテ特ニ研究スヘキ必要ヲ認メ明治三十九年以來屢々郡ヨリ講師ヲ聘シテ斯道ニ關スル講話會ヲ開催シ或ハ實地傳習會ヲ開キテ獎勵セリ大正元年ヨリ本村農會技術員ヲシテ實地指導ニ當ラシメ屢々品評會ヲ開キテ之カ促進ヲ圖リ堆肥舍ノ新築又ハ改築ニ就キテハ毎年豫定數ヲ定メテ獎勵金ノ交付ヲ爲シ或ハ低利資金ノ融通ヲ爲シ或ハ建築組合ノ設置等ニ努メタル結果漸ク村内ニ普及スルニ至レリ從來本村ノ金肥施用高累年増加シ年額參萬貳千圓ニ達シタルモ近來堆肥ノ施用高著シク増加シ金肥ノ購入約壹萬圓ヲ減スルニ至レリ

農會ト各種團體トノ聯絡

(一) 産業組合 農會ト聯絡ヲ採リテ講話會等ノ開催ハ勿論組合ニ於テ購入スル肥料農具等ニ付テハ本村農會技術員ヲシテ其ノ鑑定ヲ爲サシメ又ハ産業資金の融通ノ斡旋ヲ爲シツツアリ

- (二) 地主會 農會ノ別動隊トシテ其ノ幹部ハ農會ノ幹部ト同一ノ者ニシテ農會施設事業ノ遂行ヲ援助シ未設事業ノ補助ヲ爲シ相俟ツテ農業ノ發展ヲ期セリ
- (三) 實行組合 本組合ハ自營自助共同推讓ノ美風ヲ發揚シ社會矯風ノ實ヲ舉クルト縣是ノ遂行ヲ圖ルトノ目的ヲ以テ組織シタル團體ニシテ風紀改良ニ付テハ申合規約ニ依リ産業發展ニ關シテハ專ラ農會ノ指導ニ依リテ活動シ以テ堅實ナル發達ヲ期シツツアリ
- (四) 青年會 農會指導ノ下ニ米麥試作地ヲ擔當セシメテ補助ヲ給シ又ハ農事統計調査資料取纏、害蟲驅除、其ノ他産業開發ニ必要ナル施設ニ對シテ極力援助ヲ爲サシム
- (五) 婦人會 婦德ノ修養ト縣是實行ノ後援者タラシムルヲ以テ目的トシ本會長亦之カ會長ナレハ聯絡ノ密接ナルノミナラス同會ニ援助ヲ與ヘテ簡易ニシテ適切ナル麥類陸稻等ノ拔穂ヲ爲サシメ或ハ農事講習會ニ出席セシメテ農業ニ關スル知識ヲ鼓吹シ本會事業ノ遂行上遺憾ナカラントヲ期セリ

栃木縣

旗川村農會

安蘇郡旗川村大字並木(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ西南部ニ位シ面積約〇三三方里土地平坦ニシテ人口約四千人耕地面積田二百九十町步畑約九十町步アリ農家戸數四百八十戸住民ハ殆ト農ヲ以テ業トス副業トシテハ養蠶賃機業アリ

會員數 五百二十名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村長之ヲ兼ネ農事改良ニ熱心ナル者ナリ副會長ハ助役ニシテ幹事二名ハ孰レモ村内篤農家ナリ評議員七名ハ村會議員等ノ有力者ナリ技術員兼書記ハ專心農事ノ改良指導ニ従事ス
- (二) 總會 毎年一回之ヲ開ク出席會員ハ殆ト總會員ノ全部ニ達スルノ盛況ナリ平穩ニ議事ヲ決了スルヲ例トセリ
- (三) 補助機關 本村ヲ分チテ七區トナシ各區ニ農區長ヲ置キ其ノ區ヲ更ニ分チテ組合ヲ設ケ四名乃至九名ノ督勵委員總數四十五名アリテ實行上ノ督勵ニ當ラシム

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	300.560	繰越金	74.715	補助縣助費	60.000	補助郡助費	—	補助村助費	100.000	補助上級農會助費	164.500	計	176.450	其ノ他	16.500	合計	718.215
----	---------	-----	--------	-------	--------	-------	---	-------	---------	----------	---------	---	---------	-----	--------	----	---------

(二) 同上 支出決算額

事務所費	63.310	會議費	63.500	對上級農會ニ對スル負擔金	47.710	事業費	600.855	其ノ他	—	合計	718.215
------	--------	-----	--------	--------------	--------	-----	---------	-----	---	----	---------

- (三) 會費分賦及收入方法 會費ハ地價金拾圓ニ付壹錢參厘ヲ賦課シ毎年四月ニ收入ス會員割ハ一戸金拾錢十月ニ收入ス會費滯納者ハ皆無ニシテ會費ハ村稅ト共ニ告知書ヲ發シテ之ヲ徵收ス

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
- 過去ニ於テ施設シタル事業ハ今尙繼續施行セルカ故ニ特ニ記スヘキモノナシ

(二) 現時ノ事業成績

- ▲技術員ノ設置 明治三十九年ヨリ本會ニ技術員ヲ設置シ村内各部落ヲ巡回セシメ當業者ニ對シ熱心實地指導ニ從事セシメツツアリ之カ爲村内ノ農事ハ着々改善セラレ其ノ効果頗ル顯著ナルモノアリ
- ▲農業經營調査ノ施行 堅實ナル農業經營ヲ期セムトセム先ツ會員各自ニ於テ其ノ經營ノ實況ヲ一層詳ニスルノ必要アリ仍テ本會ニ於テハ先ツ各部落ニ篤農家一名、調査委員三名ヲ設ケ詳細ニ調査ヲ爲スト同時ニ各農區ニ涉リ約百名ノ農家ニ對シ水稻試作ヲ爲サシメ自給肥料ヲ主トシ全肥ノ節約ヲ爲シ少費多穫ノ趣旨ニ則リ多量ノ收穫ヲ爲スト其ニ比較的品質優良ナルモノヲ收穫セシメ而モ之ヲ經濟的ニ栽培セシムルコトヲ獎勵シ且一反歩ノ勞力經濟ヲ詳細ニ調査セシメ之ヲ公表シテ一般會員ニ周知セシメタルヲ以テ農業者ニ漸次農業經營ノ思想ヲ喚起セシメタリ
- ▲共同苗代設置ノ獎勵 本村ノ二毛作ハ全水田ノ九割ニ達スルヲ以テ早播苗代ニ依ル必要ヲ認メ集合苗代又ハ共同苗代ヲ設置セシメ之ニ依リテ健苗ヲ得ムトシ明治三十九年以來専ラ之カ獎勵ヲ爲シタル結果現ニ集合苗代五町二反歩、共同苗代二町歩ノ設置ヲ見ルニ至レリ
- ▲堆肥舍ノ獎勵 堆肥ハ農家ノ基本肥料トシテ最モ貴重ナルコトハ已ニ一般ノ認ムル所ナリ本會ハ明治四十年ヨリ極力獎勵ノ結果既ニ五十三棟ノ設置ヲ見タリ而シテ本會ハ豫算ノ範圍内ニ於テ之カ設置ヲ爲シタル者ニ對シ補助金ヲ交付シテ獎勵ニ勉メツツアリ
- ▲綠肥栽培ノ獎勵 自給肥料ノ増加ヲ圖ルコトハ金肥ノ節約上最モ必要ナルニ依リ本會ニ於テ青刈大豆ノ間作ヲ獎勵シタルニ今ヤ全耕地ノ八割迄之ヲ實行スルニ至レリ尙紫雲英モ亦本會獎勵ノ結果一毛作田約二十八町歩ニ對シ十八町五反歩ノ作付ヲ見ルニ至レリ而シテ紫雲英ノ種子ハ本會ニ於テ共同購入ノ斡旋ヲ爲シツツアリ大正四年度ノ取扱數量ハ三石八斗ニ上リ其ノ成績良好ナリ
- ▲肥料配合ノ獎勵 金肥節約ノ方法トシテ配合ヲ適當ナラシムルコト必要ナリ仍テ農閑ヲ利用シテ各部落ニ涉リ農事講習講話會ヲ開キ或ハ青年夜學會ニ技術員ヲ派シテ講話セシメ以テ金肥節約ノ思想ヲ喚起シ又適量成分配合法ノ有利ナルコトヲ一般ニ知得セシメ遂ニ配合組合ヲ一箇所ニ設置セシムルニ至レリ
- ▲養蠶業ノ獎勵 養蠶業ハ本村ノ副業トシテ最モ適當ナルモノナルカ故ニ本會ハ専ラ之カ獎勵ニ努メ飼育上ノ改善、蠶種ノ共同購入、桑園ノ改良等之カ指導獎勵ニ努メツツアリ
- ▲病蟲害ノ驅除豫防獎勵 本村ノ村是ニ基キ麥黑穗、斑葉病、胡瓜ノ露菌病、茄子立枯病ノ豫防、螟蟲、浮塵子ノ驅除及野鼠害鳥ノ驅除豫防ヲ勵行シ其ノ全滅ヲ圖リ農産物ノ增收ヲ期スルコトニ努メツツアリ
- ▲正條植ノ獎勵 稻正條植ハ稻作ノ改良上最モ重要ナル事項ナルカ故ニ本會ニ於テハ村是ニ基キ之カ實行ヲ督勵シツツアルヲ以テ累年増加ノ趨勢ニ在リ
- ▲採種田ノ設置 品種ノ選擇及種子ノ交換ハ收穫上至大ナル關係ヲ有スルカ故ニ本村ノ氣候風土ニ適應スル良種ヲ毎年交換栽培セシムルノ必要アリ仍テ本會ハ水稻採種田五反二畝歩、大麥採種圃七反五畝歩ヲ經營シ各農區長ニ栽培擔當ヲ囑託シ優良種子ノ普及ヲ圖ラムト努メツツアリ
- ▲馬耕ノ獎勵 耕耘ノ深淺ハ收穫ニ多大ノ影響アルヲ以テ深耕ヲ獎勵スル爲改良馬耕具ヲ選擇シ之カ使用ヲ督勵シツツアリ
- ▲適量播種ノ獎勵 本村ハ播種量過多ニ失シ爲ニ發育不整ニシテ減收ヲ來タスノ虞アルヲ以テ本會ハ毎年適量播種ヲ獎勵シ試作地ニ於テ實際ヲ示シ又技術員ヲ派シテ當業者ヲ指導セシメタル結果漸次之カ改良ヲ看ルニ至リタリ

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 産業組合 本會ハ産業組合トノ聯絡ヲ圖リ事業發展ヲ圖リツツアリ
- (二) 地主會 本會ハ地主會トモ其ノ聯絡ヲ圖リ事業ノ遂行ニ努ム
- (三) 青年會 青年會員ニ試作田ヲ設置セシメ本會之ヲ指導シ又時々農事講話會ヲ開催セシメ農事改善ノ促進ヲ圖リツツ

奈良縣

北倭村農會

生駒郡北倭村(村役場内)

農業ノ概況 郡ノ北部ニ位シ面積一万里九五概シテ平坦ノ地少ク人口五千五百三十五人耕地面積田六百八十四町七反歩畑七十七町六反歩農家七百九十五戸住民ハ殆ト農ヲ業トス副業トシテハ竹細工品、藁細工製品、木綿、鶏、繭及石材等ノ生産アリ

會員數 七百九十五名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村長、副會長ハ助役ニシテ幹事ヲ設ケス評議員七名ハ村會議員等ノ有力者ナリ技術者ハ篤農老練家ニシテ大正元年十月ヨリ就任シタルモノ一名又乙種農業學校及縣立農事講習所ヲ卒業シ大正四年十一月就任シタルモノ一名外ニ縣立農事講習所ヲ卒業シ明治四十四年五月就任セル囑託技手一名アリ書記ハ村吏員之ヲ兼務ス
- (二) 總會 毎年一回以上開催シ出席員ハ總會員ノ殆ト九割ニ達スルヲ例トス議事終了後講話會ヲ開催ス
- (三) 補助的設備 村内ヲ十農區ニ分チ各農區ニ農事督勵委員長一名宛ヲ置キ更ニ農區ヲ數個ノ小農區ニ別チ之ニ農事督勵委員各一名宛ヲ置キ農事ノ實行督勵ニ當ラシメ尙村内各小學校長ニ農事督勵委員ヲ囑託シ事業ノ遂行ニ便ナラシム

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	1,878.40	補助縣助費	10.110	補助郡助費	—	補助村助費	100.000	補助上級農會助費	71.100	計	2,059.610	其ノ他	55.907	合計	2,115.517
----	----------	-------	--------	-------	---	-------	---------	----------	--------	---	-----------	-----	--------	----	-----------

(二) 同上 支出決算額

事務所費	310.031	會議費	48.000	對上級農會ニ對スル負擔金	42,100.1	事業費	1,878.077	其ノ他	33,000	合計	2,669,209
------	---------	-----	--------	--------------	----------	-----	-----------	-----	--------	----	-----------

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ地價割ニ六分八厘戸數割ニ三分二厘ヲ分賦シ毎年五月、十一月ノ二期ニ收入ス會費滯納者ナク會費ハ納付告知書ヲ發シ各農區ニ於テ農事督勵委員長ニ委託シテ取纏メ送納セシム

基本財産 現在高金百九拾六圓四拾參錢八厘

保管方法ハ全部現金ニテ郵便貯金トス積立方法ハ基本金ノ利子及毎年一般經費ヨリ拾五圓宛ヲ支出シテ積立ヲ爲ス

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
 - ▲桐及柿苗ノ配布 明治二十九年ニ八百本同三十年ニ千六百本ノ桐苗ヲ配布シ栽培セシメタル結果宅地又ハ畑畦畔等ノ利用觀念ヲ養成スルヲ得桐樹モ今ヤ相等ノ成績ヲ見ルニ至レリ明治三十一年ニ一千本大正四年ニ一千本ノ柿苗ヲ配布シタルニ其ノ結果頗ル良好ニシテ種類ノ改善ニ資スル所頗ル多シ
 - ▲村是調査ノ施行 明治三十三年村是ノ調査ヲ爲シ爾來之カ實行ニ努メタルカ其ノ成績見ルヘキモノ多ク調査當時ニ比

シ副業生産力七萬五千參百七拾八圓ヲ増加シ村民ノ負債壹萬四千餘圓ヲ減シ蓄積額拾參萬四百餘圓ヲ増シ村民ノ土地所有權ハ六十二町八反歩ヲ増加シタリ

▲**稻團體競作田ノ設置** 明治三十八年ヨリ繼續シテ五箇年間稻團體競作田ヲ村内ニ二箇所又ハ丑箇所ニ設置シ青年會員ヲシテ競争耕作ヲ行ハシメタル結果青年ニ深甚ナル農業ノ趣味ヲ興ヘ効果頗ル多シトス關係規定左ノ如シ

北倭村各青年會稻團體競作會規則

- 第一條 本會ハ北倭村何々青年會稻團體競作會ト稱シ學理應用試驗成績ノ普及ヲ圖ルヲ以テ目的トス
 - 第二條 本會ハ擔當者一名ヲ置キ諸般ノ事務ヲ所理スルモノトス
 - 第三條 稻ノ種類ハ一定ノモノヲ用ヒ競作者ノ協議ニ依リ定ムルモノトス
 - 第四條 競作ニ使用スル土地ハ一反歩以上一組ノ受持區劃ハ一畝歩以上トシ少ナクモ五個以上ニ區劃スルモノトス
但シ受持區劃ハ抽籤ニ依リ之ヲ定ム
 - 第五條 肥料ノ種類數量配合代價等ハ各團體ノ隨意ナリト雖石灰食鹽等間接肥料ヲ用フル事ヲ得ス
 - 第六條 栽培ノ方法ハ團體ノ任意ニシテ經費モ亦各團體ニ於テ支辨スヘシ
 - 第七條 競作地ニハ「何々青年會稻團體競作地」ト記セル標木ヲ、各區劃ニハ「何々組」ト記セル標札ヲ設クルモノトス
 - 第八條 收穫ヲ爲スニハ豫メ其ノ時ヲ村農會ニ報告シ役員ノ立會ヲ求ムルモノトス
 - 第九條 收穫ノ上ハ其ノ生産物ヲ賣却シ借地料及其ノ他ノ諸費ヲ支拂ヒ其ノ殘餘ハ各團體ニ配當スルモノトス
 - 第十條 本會ニハ日誌ヲ備ヘ置キ各團體ノ代表者ハ事業施行後業務ノ工程ヲ詳記シ村農會役員ノ檢閱ヲ乞フモノトス
- ▲**産米検査ノ執行** 明治三十三年ヨリ同三十四年、同三十七年及三十八年ノ四箇年間産米ノ格付検査ヲ行ヒ乾燥調製ヲ督勵シタル結果大ニ斯業ノ振興ヲ爲スヲ得タリ明治三十五年ヨリ同三十六年迄、及同三十九年ヨリ大正三年迄郡農會ニ於テ大正四年ヨリ縣ニ於テ經營セラレタルヲ以テ本會ハ中止セリ今ヤ本村ノ産米ハ灘、伏見、堺等ノ銘酒家ノ酢米掛

米トシテ需要セラレ價格ハ頓ニ向上セリ

▲**産業組合設立ノ獎勵** 去ル明治三十九年十月ヨリ翌四十年三月ニ涉リ村内各區農會役員出張シ其ノ設立ヲ獎勵シ拾個ノ信用組合ヲ組織セシメ遂ニ全村住民殆ト組合員タラサルモノナキニ至リ出資總額六萬八千餘圓トナレリ然ルニ一組合ハ出資拂込ニ至ラスシテ不成立ニ終リ一組合ハ出資ノ半額以上拂込ミタル後不幸解散ノ已ムヲ得サルニ至リシモ今ヤ八個ノ組合ハ健全ニ發達シ能ク處期ノ目的ニ向ヒ活動シツツアリ此ノ組合ノ力ニ依リ能ク貯蓄ヲ爲サシメ農商工等ノ資金ヲ供給シ效果ノ及フ處頗ル多シ

(二) 現時ノ事業成績

▲**技術員ノ設置** 三名ノ技術員アリ内一名ハ郡ノ派遣ニシテ専ラ一般農事ノ實地指導ニ當リ他ノ二名ハ蠶業及農事ヲ指導ス

▲**小作人産米改良ノ獎勵** 毎年二十三人ヲ選抜シ小作人ニシテ善良ノ年貢米ヲ地主ニ納ムル者ニ對シ賞品ヲ授與ス明治四十年ヨリ實行セルカス業ノ進歩ニ資スル所多シ

▲**模範小作人ノ選奨** 明治四十年ヨリ地主會ノ投票ニ依リ候補者ヲ定メ左記列記ノ要項ニ依リ賞品及賞狀ヲ授與シタリ始メ十名ヲ選抜シタリシカ次テ五名ト爲シ今ハ毎年三名ト爲セリ小作人ノ改良ニ資スル處頗ル多シ賞與ノ要項左ノ如シ

- 農事ノ改良ニ努メ其ノ功績ノ著シキモノ
- 土地ノ愛護心厚ク一般ノ模範タルモノ
- 普通農事ニ精勵シ勤儉力行衆多ノ模範タルモノ
- 農村道徳ヲ守リ其行爲卓越セルモノ

▲**農事視察員ノ派遣** 明治三十三年ヨリ農會役職員又ハ篤志者ヲ毎年一回以上先進地ニ派遣シ各方面ノ視察ヲ爲サシメ村内改良ノ資料ト爲シツツアリ得ル處頗ル多シ

▲農談會ノ開催 毎年一回以上専門家ヲ聘シ農業改良上ノ講話ノ乞ヒ一般會員ヲシテ聽講セシム其ノ効果尠カラズ

▲稻試作田ノ設置 去ル明治二十九年以來試作田ヲ置キ稻ノ種類、肥料、株數、一株ノ本數等ノ試作ヲ爲シ其ノ成績ハ之ヲ農會ノ會報ニ掲載シ一般當業者ノ參考ニ供シ成績ノ普及佳良ト認メタルモノハ各青年會カ設ケタル模範作田ニ選シ更ニ試作セシメ以テ試作成績ノ普及ヲ企圖シツツアリ

▲堆肥舍建設ノ獎勵 明治四十一年ヨリ補助規程ヲ設ケ建設者ニ對シ建坪一坪金壹圓宛ノ補助ヲ與ヘ又堆肥舍建設組合ヲ設立シタルモノニハ其ノ組合經費ニ對シ金五圓宛補助ヲ與ヘ專ラ改良堆肥舍ノ建設ヲ促セシカ今ヤ規程ニ依リ建設セシモノ七十五箇所アリ

▲青年會模範作ノ獎勵 明治三十四年ヨリ各青年會ヲシテ農事試作場ヲ設置セシメ之ニ補助金ヲ與ヘ指導監督セシカ大正三年ヨリ現今ノ模範作ト改稱シ各青年會ニ一箇所宛(田反別五畝歩以上)ヲ設ケシメ專ラ稻ノ種類及肥料ニ就テ本會カ爲シタル試作ノ成績ニ依リ應用試作ヲ爲サシメ一般ニ其ノ結果ヲ發表シ農業者ノ參考ト爲シツツアリ

▲共同倉庫建設ノ獎勵 產米共同販賣及肥料ノ共同購入ニ便スル爲各農區ニ共同倉庫ヲ設クルノ必要アリ去ル明治四十二年全部假倉庫ヲ設ケタルカ假建物ハ不便少ナカラサルヲ以テ建坪貳圓宛ノ補助金ヲ與ヘ速成ヲ促シタリ今ヤ建設ヲ了シタルモノ七箇所ニシテ此總建坪數ハ百五十坪ナリ

▲產米ノ改良 生産及輸出検査ハ縣事業ヲ以テ實行セラレアルモ本會ハ靱乾燥獎勵委員十名ヲ置キ專ラ乾燥ヲ督勵シ且稻架足ノ檢閲ヲ行ヒ其ノ充實ヲ期シ稻架足購入ノ補助ヲ與フル等產米ノ改良ヲ企圖シツツアリ

▲會報ノ發行 明治三十六年ヨリ會報ヲ發行シ一般會員ニ頒チ本會ノ狀況及豫算決算ハ勿論其ノ他指導スヘキ事項參考トナルヘキ事項ヲ記載ス

▲稻原種田ノ設置 明治三十六年ヨリ本會經營ノ下ニ稻原種田ヲ置キ各農區ノ水稻共同苗代組合ニ要スル原種ヲ供給シツツアリ稻種子ノ改善統一ニ資スル處頗ル多シ

▲家畜ノ獎勵 明治四十二年ヨリ產牛補助規程ヲ設ケ一頭ニ對シ金參圓ノ補助金ヲ與ヘ專ラ產牛ノ獎勵ヲ爲シタルカ豫期ノ成績ヲ見ルニ至ラサルヲ以テ大正五年三月之ヲ廢止スルニ至レリ大正四年ヨリハ鶏ノ種類改良ヲ企圖シ種卵及雛ノ配布ヲ爲シツツアルモ日向淺キヲ以テ充分ノ成績ヲ見ルニ至ラス

▲苗圃ノ設置 明治四十一年ヨリ本會ハ苗圃ヲ置キ松苗、桑枯木及桑苗ヲ栽培シ一般會員ニ實費配布ヲ爲シツツアリ苗圃ハ三箇所其ノ反別一反七畝歩ニシテ毎年松苗三萬本桑苗五千本乃至八千本ヲ仕立ツ

▲蠶種ノ製造 明治四十五年ヨリ本會事業トシテ春蠶種ノ製造ヲ爲シ實費配布ヲ爲シ蠶種ノ統一並ニ改善ヲ圖リツツアリ大正四年ヨリ交配種三龍又ヲ飼育シ製造枚數ハ毎年三百枚乃至三百五十枚ナリ

▲米俵及小作米品評會ノ開催 米俵及小作米ノ改良ヲ促スヘキ目的ヲ以テ明治四十四年ヨリ繼續シ毎年開催シツツアリ方法ハ同會職員ヲ出張セシメ各地主ノ倉庫ニ就キ小作米ヲ採取シ袋ニ入レ封印ヲ施シ封ノ儘審査員ニ交付シ審査ノ上優秀品約四割ヲ標準トシ賞狀及賞品ヲ授與ス米俵ハ任意出品セシム毎年出品數米俵約三十點小作米五百點ニシテ小作米ノ改良ニ資スル所頗ル多シ

▲稻立毛品評會ノ開催 稻種ノ改良ト耕作法ノ改善トヲ促ス目的ニテ明治三十六年ヨリ同三十九年迄開催シタルモ一時之ヲ中止シ大正三年ヨリ更ニ本事業ヲ開催セリ其ノ出品點數毎年百五十點乃至二百點ニ達ス

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲水稻共同苗代組合ノ設置

(沿革) 明治三十七年ヨリ二個ノ共同苗代組合ヲ組織セシメ同三十九年秋期ニ全村ヘ水稻共同苗代組合ヲ組織セシメ全村農民ヲ之ニ參加セシム其ノ當時稻ノ種類百六十餘種アリシヲ早、中、晚各三種以内ニ限定シ組合ニ種田ヲ置キ種子ハ共同貯藏シ播種栽培ヲ總テ共同組合事業トシ移植前ニ苗ヲ以テ分配スル事ト爲シタリ

(事業施行ノ方法) 本會ニ稻原種田ヲ置キ水稻苗代共同組合ニ要スル原種ヲ供給シ該組合經費ニ對シ苗代一反歩ニ五圓

ハノ補助金ヲ交付シ技術員ヲシテ穀種ノ貯藏及苗代ノ生育ヲ検査セシム

(成績) 從來本村ノ産米ハ品種ノ多キニ過キ雜駁混合シ粒形不整一ナリシ爲顧客ニ歡迎セラレザリシカ種類ノ限定竝改善ノ方法ヲ講シタル結果粒形統一シ需用者ノ信望ヲ得タルノミナラス點々各所ニ散在セル苗代ヲ一組合數箇所ニ集メタルヲ以テ苗代反別ニ於テ約三割以上ヲ縮少シ一般農家ハ適當ナル地ニ苗代ヲ置キ最モ經濟的ニ健全ナル苗ヲ仕立ツルヲ得且苗代害蟲驅除等モ遺憾ナク實行セラレ効果頗ル顯著ナリ

▲害蟲驅除ノ勵行

(沿革) 螟蟲ノ驅除ハ明治二十九年ニ卵塊ノ買上ヲ行ヒタルニ經費多額ニ上リタルヲ以テ同三十五年ヨリ賞與ノ方法ニ依リ同三十七年ヨリ更ニ懸賞方法ヲ抽籤ニ依ル事ト爲シタリ又蔬菜害蟲驅除ヲ大正二年ヨリ始メ大正四年ヨリ全部ニ實行スル事ト爲セリ倉庫ノ米穀害蟲驅除ハ明治四十三年ヨリ開始シタリ

(施行ノ方法) 螟蟲懸賞ノ卵塊ハ二百個ニ、同蛾ハ百匹ニ、同被害莖ハ四百本ニ各一枚宛ノ割ニテ採取者ニ抽籤札ヲ交付シ置キ抽籤法ニ依リ一等五圓ヨリ七等拾錢迄ノ賞金ヲ授ケ二十枚以上ノ抽籤札ヲ得タルモノニハ別ニ賞品ヲ與ヘ且毎年四回行フ而シテ一齊驅除ノ成績ニ對シテハ各農區ニ賞金ヲ與ヘ獎勵ス小學校生徒ニモ賞金ヲ與ヘ放課後採卵セシム蔬菜害蟲驅除ハ各農區ヘ補助ヲ與ヘ器具ヲ備ヘシメ藥品ハ全部交付シ技術員出張指導實行ス倉庫燻蒸ハ本會ニ於テ藥品ヲ共同購入シ技術員出張指導實行ス

(成績) 螟蟲ハ全滅ノ域ニ達シ難キモ效果ノ多大ナルハ疑ヲ容レズ大正四年ノ成績ヲ舉クレハ採取數卵塊二百六十萬二千十一個蛾百二十六萬五千四百八十三匹枯莖七百四十一萬四千五百五十六本ナリ蔬菜害蟲驅除ハ能ク其ノ目的ヲ達シ得テ瓜類茄子等ノ結實約三割ヲ増シ大根ノ收穫約二割ノ増加ヲ見ルヲ得タリ倉庫燻蒸ハ其ノ效果顯著ニシテ大正四年中ニ於ケル施行殺數ハ六百五十石ニシテ其ノ蝕害ヲ百分ノ五ト假定セハ燻蒸ノ利益三十二石五斗ナリ

▲蠶業ノ獎勵

(沿革) 明治二十一、二年ノ頃蠶業熱一時旺盛ナリシカ失敗ノ爲ニ殆ト本村ノ蠶業ハ絶滅ノ域ニ達セシカ明治三十七年ヨリ稚蠶共同飼育及蠶病ノ豫防ヲ勵行シ蠶種ノ共同購入ヲ行ヒ參加者ニハ補助ヲ與ヘ次テ秋蠶ヲ獎勵シ密植桑園ニ補助ヲ與ヘ桑苗接木傳習ヲ行ヒ農會ニ栽培セシ苗木ヲ無代交付シ桑園ノ増加ヲ企圖シ明治四十五年ヨリ蠶種ノ製造ヲ爲シ實費ヲ以テ拂下ヲ爲スニ至レリ

(施行ノ方法) 養蠶組合ヘ金五拾圓ヲ補助シ事業ノ進行ヲ扶ケ秋蠶種ノ共同購入參加者ニハ一枚貳拾錢宛ノ補助ヲ與ヘ密植桑園ノ設置者ニハ一反步參圓ノ補助ヲ與ヘツツアリ

(成績) 前各項實行ノ結果未タ曾テ蠶業ノ失敗ヲ見ス爲ニ斯業ハ逐次進展ノ機運ニ向ヒ一時殆ト絶滅シタル蠶業ハ今ヤ三百三十八石六斗ノ收購ヲ看ルニ至レリ

▲米及繭ノ共同販賣ノ斡旋

(沿革) 米ノ共同販賣ハ明治四十年頃ニ端ヲ開キ明治四十二年ノ秋期ヨリ村内各農區ニ假倉庫ヲ設ケ方言中好ト稱スル一種類ヲ限リ納入セシメ本會ニ於テ灘、堺、伏見等ノ銘酒家ヘ共同販賣ヲ行ヒ大正元年ヨリ方言雄町白玉ノ二種ヲ加フル事ト爲シ更ニ事業ヲ擴張シタリ繭ノ共同販賣ハ明治四十三年ヨリ蠶業ノ利益ヲ保護スル目的ヲ以テ開始シタリ(施行ノ方法) 生産検査ノ終了シタル産米ニ對シ更ニ各農區倉庫係員カ庭入及倉入ノ検査ヲ行ヒ選抜合格者ニ限り倉庫ニ納入ヲ許シ更ニ本會技術員出張検査ノ上方言中好ノ優秀ナル者ニハ(他)ノ判ヲ、方言雄町白玉ノ優秀ナル者ニハ(他)ノ判ヲ俵面ニ押捺シ農會カ選抜ノ證ト爲ス今ヤ需要先ニ於テ瓢印櫻印ノ名稱ヲ以テ價格ヲ定メラルルニ至レリ繭ハ見本二百匁ヲ集メ製絲家ト特約シ見本ニ依リ賣約ヲ行フ此ノ販賣ハ春秋ノ二期トス

(成績) 産米ハ數年間苦心經營ノ結果近來漸ク需用者ノ信用ヲ博シ今ヤ的確ニ常用セララル常得意數戸ヲ得ルニ至リ價格モ又漸次高ムルヲ得タリ就中去年大正二年秋期ノ如キ逐日米價下落ノ傾向ヲ示シ一般商人カ買控ヲ爲スカ如キ年柄

ニ於テハ共同販賣ノ効果極メテ多大ナルヲ認メタリ其ノ成績左ノ如シ

年次別	販賣石數	市價ニ比シ最少見積一石ノ利差額	共同販賣ニ依ル總利益
大正二年	三、二五〇石	一・五〇〇	四、三八七
同三年	五、七〇〇	・五〇〇	二、八五〇
同四年	四、五〇〇	一・〇〇〇	四、五〇〇

繭ハ在來小額ノ生繭ヲ各自販賣スルヲ以テ惡辣ナル仲買人等ニ利益ヲ壟斷セラレ爲ニ蠶業ノ進歩ヲ阻害セラレタルカ
共同販賣ノ効果ニ依リ如上ノ不利益ナキニ至レリ其ノ成績左ノ如シ

年次別	販賣數量	市價ニ比シ最少見積十貫ノ利差額	共同販賣ニヨル總利益
大正二年	一、五四〇貫	二・七〇〇	四一六
同三年	一、七四〇	二・五〇〇	四三五
同四年	一、八五〇	・三〇〇	五五五

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 産業組合 本村ノ産業組合ハ全部本會ノ獎勵ニ依リ設立シタルモノナレハ其ノ事業ニ對シテハ諸般指導ノ斡旋ヲ爲シツツアリ
- (二) 地主會 農會ノ別動體ノ如キモノニシテ其ノ幹部ハ農會ノ幹部ト同一ニシテ其ノ會ノ事業ニ對シテハ農會ハ指導且援助ヲ爲シツツアリ
- (三) 青年會 青年會カ勸業方面ニ對スル事業ハ主トシテ農會之ヲ指導シ其ノ試作田ノ如キハ補助金ヲ交付セリ

三重縣

玉瀧村農會

阿山郡玉瀧村大字玉瀧(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ阿山郡ノ西北隅ニ位シ面積東西二里二十三町南北一里二町ニシテ現住戸數五百四十三戸人口三千五百人耕地面積田三百七十八町六反步畑六十五町七反步アリ農家ハ四百九十六戸農産物ノ重モナルモノハ米ニシテ茶、繭、麥、大小豆、蠶繭之ニ次キ副業トシテハ木炭、鶏、養蠶工製品、土燒陶器、手織物、經木真田、檜藤細工等ノ生産アリ

會員數 四百九十六名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ玉瀧村長副會長ハ助役幹事一名ハ收入役ニシテ一名ハ勸業主任書記ナリ囑託技術員一名アリ其ノ他七名ノ評議員ハ就レモ村内ノ老農又ハ篤農家ニシテ永ク其ノ職ニアリ書記一名ハ專任トシ明治四十五年一月ヨリ繼續就職ス
- (二) 總會 毎年一回二月ニ之ヲ開ク會員ノ出席常ニ全員ノ約七割ニシテ提出案件ハ會テ修正又ハ否決セラレタルコトナク最モ平穩ノ間ニ閉會スルヲ常トス
- (三) 補助的設備 村内ヲ十二農區ニ分チ農事獎勵委員十二名ヲ設置シ農事ノ改良ヲ獎勵シ害蟲驅除ヲ督勵シ統計ノ調査、農村風紀ノ維持等專ラ委員ニ依リテ實行督勵セラル又委員ハ概ネ産業組合ノ信用評定委員、農業倉庫ノ事務委員ニ選任セラレツツアルヲ以テ産業組合ノ事業トノ聯絡甚タ圓滑ナリ

ルノミナラス當業者ニ於テモ之ニ模倣シ自ラ進シテ驅除豫防ヲ實行スルコトナリテ頓ニ舊襲ヲ刷新スルニ至レリ現時ニ在リテハ野外積糞ノ處置ニ付指導シ又病蟲害驅除豫防ノ適期ヲ知ラシメ以テ一般農家ニ一齊驅除ヲ實施セシメツツアリ而シテ一面小學校生徒ヲシテ放課後職員指導ノ下ニ驅除ヲ實習セシメ村農會ハ生徒ニ對シ獎勵金ヲ交付シツツアリ最近一箇年ニ麥奴三萬三百六十八本、油菜菌核千八百三十五個、螟蟲卵塊千七百十個ヲ採取セリ

▲篤農家ノ表彰 明治三十七年ヨリ毎年之ヲ行ヒ農事ニ精勵シ衆庶ノ模範トナルヘキニ彰功狀及賞品ヲ贈與シテ其ノ功勞ヲ表彰ス

▲農事講習會ノ開催 明治四十一年ヨリ郡農會技術員ノ派遣ヲ乞ヒ肥料、土壤、害蟲驅除、共同苗代、共同播種及園藝等ノ科目中一科又ハ二科目ニ付凡ソ七日間宛農事講習會ヲ開催シ毎年科目ヲ交代シテ開催シツツアリ出席者ハ多ク青年會員ニシテ毎年八十名乃至百名ノ多キニ達ス而シテ一方夜學ニ於ケル農業教育ト相俟テ農事改良ニ奏効シタル所尠カラス

▲共同苗代ノ獎勵 明治三十八年ヨリ之カ獎勵ニ努メ苗代良否ニ不拘共同施設ノモノニ對シテ一反歩ニ付金貳圓ノ補助金ヲ交付シ明治四十年ニ至リ更ニ之カ品評會ヲ開催シ優良ナルモノヲ選拔授賞シテ以テ獎勵鞭撻シ大正三年迄繼續シタリ同四年度ニ至リ補助金ヲ廢シテ優良苗代ニノミ獎勵金ヲ交付スルコトト爲セリ現時ニ於テハ全村共同施設ヲ見ルニ至レリ

▲共同採種ノ獎勵 明治四十年以來原產地ヨリ優良種子ヲ購入シ之ヲ村內六箇所四反歩ノ原種田ニ栽培シ生産シタル種子ヲ更ニ十二農區ニ設置セル三町六反歩ノ播種田ニ栽培シ之ヨリ得タル種籽ヲ採リテ一般當業者ニ配布シツツアリ而シテ各區設置ノ採種田ニ擔當人ヲ置キ一反歩ニ付貳圓五拾錢ノ補助金ヲ交付ス更ニ獎勵ノ爲大正二年ヨリ之カ品評會ヲ開キ實物ノ批評ヲ爲シ以テ優良種子ノ配布ニ努メタル結果種子ノ改良著シク進歩シタリ依テ大正四年ヨリハ專ラ品評會ヲ開催シテ獎勵ヲ加フルコトトセリ最近一箇年ニ配布セシ種子ノ數量ハ百二十八石六斗九升ニ達ス

▲品評會ノ開催 米質改良並米ノ增收ヲ圖ラム爲小作米品評會、共同苗代品評會ヲ毎年開催シテ獎勵シタル結果品質收量共ニ改良セラレ明治三十四年ニ在リテハ米ノ反當收量平均一石九斗ナリシモノ大正四年ニハ二石四斗ナリ價格ニ於テモ明治三十四年近江米ニ比シ一石五拾錢ノ低位ニアリシモノ乾燥、調製及俵裝改良ノ結果明治三十七年ニハ近江米ト同一價格ニ進ミタリ

▲桑園改良ノ獎勵 大正元年ヨリ桑園ノ新植若ハ改植ヲ行フモノニ對シ反當金五圓ノ補助金ヲ交付シ之カ改良ヲ圖リ桑苗ノ購入ニ付テハ產業組合ト交渉シ低利ノ資金ヲ貸付セシメ之カ遂行ヲ容易ナラシムコトヲ圖レリ之カ爲新植セシモノ九反五畝四歩、改植セシモノ一町五反二畝十三歩ニ及ヘリ

▲堆積肥料舍建設ノ獎勵 明治四十二年ヨリ郡農會ハ堆肥舍建設ヲ獎勵シ一棟ニ付金參圓ノ獎勵金ヲ交付スルコトトセリ然レトモ數ニ限リアリテ廣ク獎勵ニ浴セシムルコト難キヲ以テ本會ヨリ同額ノ補助金ヲ交付シ益々之カ遂行ヲ獎勵シタル結果建設棟數百二十ノ多キニ達セリ

▲養蠶組合設立ノ獎勵 大正元年ヨリ稚蠶共同組合ヲ統一シ養蠶組合ト改メ蠶種、桑葉、蠶具、消毒藥品等ノ共同購入ヲ獎勵シ其ノ滿ハ全部共同販賣ニ附セシム又臨機蠶業講習會ヲ開催スルニ當リ教師傭聘ヲ條件トシ獎勵金ヲ交付シテ之カ普及ヲ圖リツツアリ

▲製茶改良ノ獎勵 旅費ヲ補給シ當業者ノ子弟ヲシテ三重縣茶業組合聯合會議所ノ製茶試驗場並茶業講習所ニ入所セシメ製法ノ講習ヲ受ケシムルト共ニ一面ニ於テ講話會ヲ開催シテ茶園整理、鴉鴿釜ノ普及、共同製茶場及ヒ共同蒸場等ノ設置ヲ獎勵シテ製品ハ悉ク共同販賣ヲ爲サシム

農會ト各種團體トノ聯絡

本會ト各種組合ト常ニ聯絡ヲ保チ本會事業ノ遂行ヲ援助セシム

高橋村農會

西加茂郡高橋村(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ最南端ニ在リテ面積三方里東南部ハ山岳多ク西北部ハ矢作川ニ沿ヒテ平坦ニシテ土地肥沃ナリ人口千七百七十五人耕地面積田四百五十三町九反歩畑三百三十五町五反歩新墾地十四町八反歩アリ農家七百五十四戸農工商等兼業ノモノ二百二十七戸、住民ハ殆ト農ヲ業トス副業トシテ繭、藁細工製品、石材等ノ生産アリ本村ハ矢作川ノ便アルヲ以テ筏運送モ亦農家副業ノ一ナリ

會員數 千四百七十五名
事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村長ニシテ副會長及評議員ハ村内精農家ヨリ選出セリ
 - (二) 總會 毎年二回開催シ出席會員ハ總會員ノ全部出席スルノ例ナリ議事決了後ニ於テハ郡農會長、郡農會技術員及郡立農學校職員等ヲ招聘シ講演會ヲ開クヲ例トス
 - (三) 補助的設備 本會ノ事業施行上農事督勵委員ヲ設ケ又獎勵員ヲ囑託シテ農事ノ改良ニ努メシム又各部落毎ニ事業ノ共同施行ヲ爲ス實行委員ナルモノヲ各區ニ設ケ種子鹽水選、堆肥舍建設、堆肥製造及床下叩等ノ巡回指導ニ當ラシム
- 營造物 本會事務所所在地タル役場構内ニ御即位記念圖書館及共同倉庫ノ設ケアリテ農業ニ關スル刊行物ヲ蒐集シ會員ノ閱覽ニ供スルノミナラス巡回文庫ヲ設置シ當業者ノ知識啓發ニ努ム

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	繰越金	補助縣費	補助郡費	補助村費	補助上級農會費	計	其ノ他	合計
一、三五六、七九五	五、〇九三				一〇八、三九〇	一〇八、三九〇	一、六四一、〇	一、五三三、四九六

(二) 同上 支出決算額

事務所費	會議費	對上級農會ニ對スル負擔金	事業費	其ノ他	合計
一、三三、五七〇	一〇、〇〇〇	一、三六、五三〇	一、二二、〇九九		一、四八二、一九九

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ一半ヲ會員割トシテ一人ニ付八錢宛他ノ一半ハ反別割トシテ一反歩ニ付拾六錢貳厘ヲ賦課ス毎年六月中全部ヲ徵收スルノ例ナレトモ農會創立以來一人ノ滞納者ナシ其ノ徵收方法ハ村稅ノ例ニ依リ告知書ヲ發シ各大字毎ニ一纏メト爲シ納入セシム

基本財産 現在高金參拾五圓、畜牛二十頭

財産トシテハ積牛ヲ買入レ其ノ普及ヲ圖ル事ト爲シアルカ故ニ貯金ヲ爲サス現在ニ在リテハ畜牛二十頭及現金參拾五圓ヲ有スルノミ

事業成績

(一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績

本村ハ合併以來僅二十年ニ過キササルヲ以テ過去ノ事業トシテ特ニ記スハキモノナシ

(二) 現時ノ事業成績

▲産米改良ノ獎勵 本村ノ主要物産タル米ノ改良ヲ圖リ且地主小作者間ノ融和親善ヲ圖ル目的ヲ以テ大正元年ヨリ村内ノ地主農業者ヲ以テ産米改良會ヲ組織セシメ産米及小作米品評會ヲ開催シテ産米ノ改良ニ努メ其ノ出品物ハ全部農會ニ寄附セシメツツアリ其ノ結果漸次改良ノ氣運ニ向ヒ來レリ

▲二回作稻栽培ノ研究 大正三年本會ニ於テ稻二回作ノ試作ヲ爲シタルニ其ノ成績良好ナリシカ放ニ之カ栽培法研究ノ必要ヲ認メ栽培上ノ注意事項ヲ印刷配布シ村内ノ篤農家ヲ集メテ栽培法ノ講習會ヲ開キ各所ニ之カ試作田ヲ設ケシメ研究ニ着手シタリ其ノ成績良好ナリシヲ以テ今ヤ村内ニ試作地百箇所ノ多キニ達スルニ至レリ然レトモ未タ研究ノ時代ナルヲ以テ一般ニ獎勵スルニ至ラサルモ前途頗ル有望ナリ

▲多收穫競進會 米作ノ改良増殖ヲ圖ルノ目的ヲ以テ水稻多收穫競進會ヲ開キタリ其ノ方法ハ競技希望者ヲ集メ出品田ニ付先ツ立毛ノ状態ヲ審査シ後實收高ヲ査定シテ優劣ヲ品評ス

▲養蠶組合ノ指導 本郡ハ縣下有數ノ蠶業地ニシテ就中本村ハ郡中生産高ニ於テ第一位ヲ占ムルト雖蠶種區々ニ亘リ一定セサル爲繭ノ品質善良ナルモ常ニ價格低廉ナリシヲ以テ之カ改良ヲ圖リ品種ヲ統一スルノ急務ナルヲ認メ村内ニ養蠶組合二十四箇所ヲ設立セシメ本會ニ於テ左記蠶種統一規程ヲ設ケ蠶業ノ改良ニ努メツツアリ

蠶種統一規程

- 第一條 高橋村養蠶家ハ最終ノ目的ヲ達スル爲蠶種選定ニ勉ムルコト
- 第二條 養蠶家ハ各大字毎ニ蠶業組合ヲ組織スルモノトス組合員名簿ヲ調製シ農會ニ届出ツヘシ異動アルトキ又同シ
- 第三條 農會長ハ毎年定期ニ際シ各代表者ヲシテ各方面ニ涉リ蠶業視察ヲ爲サシメ蠶業ノ模範及改良スヘキ點アルトキハ各組合ニ報告セシム
- 第四條 農會ハ上候後代表者ヲ召集シ協議ノ上一定ノ蠶種ヲ購入或ハ製造飼育セシムルモノトス
- 第五條 蠶業終了シタルトキハ各組合長ニ於テ成績表ヲ作り農會ニ報告スヘシ農會長ハ之ヲ取纏メ各組合ニ告示シ郡農會長ニ報告スルモノトス

第六條 農會ニ於テ繭品評會ヲ開ク其ノ方法ハ別ニ之ヲ定ム

▲繭品評會ノ開催 蠶種ノ統一ヲ圖ルト共ニ繭ノ品質ヲ良好ナラシムル爲毎年五日間本村ノ公會堂ニ於テ繭品評會ヲ開キ一人ニ付一升宛出品セシメ品評審査シ優等ナルモノニ對シテハ五等級ニ分チテ褒賞ヲ爲スコトトセリ

▲害蟲驅除豫防ノ勵行 害蟲驅除ノ獎勵ヲ爲ス目的ヲ以テ螟蟲卵百塊ニ付金貳錢以内、桑尺蠖百頭ニ付金五錢以内、天牛百頭ニ付金五錢以内、螟蟲被害莖千本ニ付金拾錢以内ヲ以テ買上ケテ爲スコトトシ害蟲ノ發生ヲ知ルヤ直ニ各區ニ通報シ期日ヲ定メ共同驅除ヲ勵行シ當日ハ農事獎勵委員之カ督勵ニ當ラシム之カ爲害蟲驅除ハ毎年遺憾ナク勵行サレツツアリ

▲床下敵ノ實行獎勵 本村ノ蠶業ハ主トシテ農家ノ副業トシテ經營スルモノ多ク從ツテ特ニ完全ナル蠶室ヲ有スルモノ少ナク住宅ノ一部ヲ蠶業トシテ使用スルノ狀況ナルヲ以テ蠶蛆發生比較的多キ傾キアリシヲ以テ明治四十一年ヨリ床下敵ト爲サシムルコトヲ獎勵シ一室以上完全ニ實行シタルモノニ對シテハ本會ハ金六拾錢ヲ補助シツツアリ其ノ結果床下敵ヲ實行スルモノ多ク之カ爲蠶蛆ノ發生ヲ減少シタルノミナラス湿度ヲ防止シ一般衛生上最モ良好ナル結果ヲ得且家屋ノ保存上其ノ効果大ナルモノアリ

高橋村神田設置規程

目的

第一條 本村内郷社村社ニ神田ヲ設置シ青年試作地ト相待テ各種ノ種子ヲ選定試作シ肥料ノ供給、農業ノ進歩ヲ圖リ青年ノ勞力ヨリ生セシ收穫米ヲ神社ニ獻納シ敬神ノ意ヲ表スルト共ニ協同一致公德ヲ重シ慈善ヲ行ヒ農村ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルコトヲ以テ目的トス

愛知縣

設置及耕耘

第二條第一條ノ目的ヲ達センカ爲本村ニ左ノ神田ヲ設ク

- 一 一郷一社
- 一 一指定村社
- 一 一五畝歩以上
- 一 一三畝歩以上

第三條 神田ニハ一定ノ標札ヲ立テ畦畔水路ヲ完成シ雜草ノ手入ヲ充分ナラシメ吉蟲驅除ヲ嚴重ニ行フヘシ

第四條 神田ハ神社所有ノ土地ヲ以テ神田トス其ノ神社ニシテ土地ヲ所有セサルトキハ一時借入地ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第五條 借入地ヲ神田ト爲シタルトキハ遂テ神田トシテ相當ノ場所ヲ選定シ神社所有地ヲ調達スルモノトス

第六條 耕耘及收穫ニ關スル勞力ハ神社所屬ノ青年團ノ負擔トス

處分

第七條 收穫濟ノ上ハ所屬青年ニ於テ神田ニ關スル經過日誌、勞力歩合、生育狀況、肥料供給方法、收穫高、種類ニ付各意見ヲ附シ青年團長ニ報告スヘシ

第八條 團長ハ神田全部ノ報告書ヲ取纏メ一表ト爲シ意見ヲ附シ村長ニ提出スヘシ村長ハ毎年時期ヲ定メ現品ヲ神前ニ陳列シ其ノ効果ヲ一般住民ニ周知セシムルモノトス

但シ陳列納納ノ方法ハ所屬青年ニ於テ適宜之ヲ行フ

第九條 陳列納納後青年團ハ氏子總代ニ現品ノ引戻ヲ爲スモノトス

第十條 氏子總代ニ於テ現品ヲ受領シタルトキハ相當處分ノ上十分ノ二ノ救民ノ資トナシ十分ノ七ヲ神社ニ納納基本財産ニ編入スルモノトス

第十一條 住民中種子トシテ希望者アルトキハ豫メ其ノ準備ヲ爲シ適宜交付スルモノトス

第十二條 本規程ハ明治四十四年ヨリ施行ス

▲**糞牛ノ飼育** 農家ニ家畜ヲ飼養セシムルコトハ農家ノ勞力經濟ヲ調節シ且自給肥料ノ給源ヲ豐富ナラシムル上ニ於テ

最モ必要ナルヲ認メ本會ニ於テ糞牛ヲ購入シ青年團員ニ之カ飼育方ヲ委託シ糞牛一頭ニ付毎月五拾錢宛ノ手當ヲシ給耕作ニ使役セシメ三十箇月以上ニ達スレハ之ヲ賣却シ其ノ一半ハ村ノ基本財産ニ寄附シ他ノ一半ハ糞牛購入資金ニ充當ス現今本會ノ所有ニシテ青年團ニ飼育ヲ委託セルモノ二十頭ニ達ス

(二) 特ニ成績顯著ナル事業

▲**堆肥ノ獎勵**

本村ニ於ケル金肥ノ施用高ハ累年増加シ七萬圓以上ニ達シ殆ト本村米作收入ノ半ハ肥料資金トシテ他ニ流出スルノ不幸ニ陷レリ之カ救濟策トシテ農家ノ自給肥料タル堆肥ノ改良増加ヲ圖ルノ急務ナルヲ認メ明治四十一年以來堆肥舍ノ建設獎勵ヲ爲シ或ハ品評會ヲ開キ且時々製造法ノ指導ヲ爲ス等極力之カ獎勵ニ努メ村是タル五百棟ノ建設ヲ實現セムントス尙一面ニ於テハ糞牛ノ飼育ヲ爲シ自給肥料ノ材料ヲ豐富ナラシムルニ努メツツアルヲ以テ大正四年ノ如キハ堆肥舍ノ新築スルモノ四十七棟、修繕ヲ爲シタルモノ四棟ニシテ今ヤ全村内ニ三百六十棟ヲ算スルニ至リ金肥ノ需要高著シク減少シツツアリ

農會ト各種團體トノ聯絡

(一) 青年團及在郷軍人團 本會ト青年團在郷軍人團ト最モ密接ノ關係ヲ以テ提携シ居レリ其ノ一例ヲ舉クレハ堆肥舍建設ノ如キ各區ニ青年團ノ模範堆肥舍ヲ設ケ各試作地ヲ經營セシメ本會經營ノ神田ノ耕作等ヲ援助セシメ尙堆肥舍ノ如キモ建築作業及葺塗上等ニ付テモ青年團ニ於テ共同作業ヲ以テ實行スルカ故ニ堆肥舍ノ建設増加歩合最モ良好ナルノ狀況ナリ又蠅蛆驅除及衛生上ノ爲メ實行スル床下蔽ノ如キ其ノ材料ハ全部農會ニ於テ共同購入ヲ爲シ作業ハ青年ノ指導ヲ受ケシメツツアリ其ノ他糞牛ノ飼育ヲ委託シ其ノ使役料ノ一部ヲ青年團ノ基本財産トシテ積立テシム

(二) 産業組合 産業組合ハ村内ニ現在七組合ヲ有ルモ從來ハ孰レモ養蠶組合ナリシカ同組合ハ名義ノ如ク單ニ養蠶ニ關スル事項ノミヲ處理シ毫モ他ニ及ハサルヲ遺憾トシ是非共法律上ノ監督ヲ受ケ産業上ノ利益ヲ増進セシメ一方貯金思想ヲ涵養セント欲シ産業組合設立ノ爲屢々本會ヨリ其ノ勸誘ヲ爲シ本縣ヨリ技術員ノ派遣ヲ受ケ産業組合講習會ヲ開設シ後日役員タルニ適當ト認ムルモノ四十餘人ヲ招集シ諸般ノ講習ヲ爲シ組合ニ關スル知識ヲ修得セシメタル後現今ノ産業組合ヲ設立セシメ以テ農會施行事業ノ後援タラシメ居レリ

(三) 養蠶組合 講習講習會ノ開會ニ當リテハ本會ハ聽講生出席ノ旋轉ヲ爲シ又蠅蛆驅除其ノ他消毒實行等常ニ本會ト聯絡ヲ取リテ獎勵シツツアリ

其ノ他参考トナルヘキ事項 明治四十三年前ハ同郡猿投村ニ郡立農學校ノ設置シアリシカ年々入學スル生徒少ナク頗ル不振ニシテ廢校ノ説サヘモ起ルニ至レリ玆ニ於テ本會ハ時ノ郡長ニ建議シ校舍新築設備改善等ヲ以テシタル幸ニシテ承認セラレタルニ依リ本村ハ相當ノ設備ヲ爲シ新築竣功ノ後之ヲ郡ニ寄附シタリ爾來本會モ學校當局者ト協力シテ肥料講話、作物研究、青年教育等ニ力ヲ注キツツアリ特ニ蔬菜ノ如キ全村改良ノ緒ニ着キ優良品ヲ產出スルコトヲ得ルニ至リヌ産米改良及品評會ニ際シテハ必ス學校ノ指導ヲ受ケ本會ト學校トハ常ニ密接ナル關係ヲ有シ相協同シテ本村ノ農事改良ヲ圖リツツアリ

富貴村農會

知多郡富貴村(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ東海岸ノ中央ニ位シ面積〇・七六方里西部ハ丘陵起伏シ中央ヨリ東部ハ概シテ平坦地ニシテ人口二千六百人、耕地面積田二百五十七町歩畑百三十三町歩アリ農家五百戸、住民ハ殆ト農ヲ業トス副業トシテ梨、柑橘、繭、菜細工製品等ノ生産アリ

會員數 八百七名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村内德望家ニシテ農事改良ニ熱心ナル者ナリ副會長ハ村長ニシテ幹事二名執レモ村内ノ篤農家ナリ評議員四名ハ區長村會議員等ノ村内有力者ナリ書記ハ專任ニシテ役場事務ヲ補佐シツツアリ
- (二) 總會 毎年二回開催ス出席會員ハ總會員ノ殆ト九割ニ達スルヲ例トス議事終了後ニ於テハ郡農業技手、郡農會技師員ヲ聘シテ講演會ヲ開キ各自ノ經驗談ヲ交ヘ談笑ノ裡ニ閉會ス
- (三) 補助的設備 各部落毎ニ一名ノ評議員ヲ配置シアリ事業施行ニ付テハ之カ實行督勵ノ任ニ當ラシム

營造物 農業倉庫三十坪米穀集積用ニ供セリ

經費 (一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	1,045,000	繰越金	1,211,000	補助金	51,000	計	51,000	其他	51,000	合計	1,359,000
				補縣助費							
				補郡助費							
				補村助費							
				補上級農會助費	51,000						

(二) 同上 支出決算額

事務所費	117,000	會議費	17,000	上級農會ニ對スル負擔金	115,000	事業費	573,000	其他	12,000	合計	954,000
------	---------	-----	--------	-------------	---------	-----	---------	----	--------	----	---------

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ耕作反別割ニ十一分ノ十ヲ平等ニ十一分ノ一ヲ分賦シ毎年五月及九月ノ二期ニ收入ス會費ハ帶納者無ク村稅ト共ニ告知書ヲ發シテ之ヲ收入ス

基本財産 現在金高壹百參拾圓
保管ハ全額銀行ニ定期預金トス積立方法ハ基本金利子毎年剩餘金ノ五分、監督官廳及上級農會ノ獎勵賞與金其ノ他臨時收入等ヲ以テ之ヲ蓄積ス

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
 - ▲種苗ノ配布 本事業ハ明治三十四年ヨリ繼續施行シタル事業ニシテ其ノ配布數量ハ粃八石五斗、麥三石四斗、桑苗二千

本ニ達シ是等ノ品種ハ大ニ改良統一サレツツアリ尙現今ニ至ルモ繼續配布シツツアリト雖モ米麥ノ種子ニ至リテハ大正元年度ニ及ヒ其ノ目的ヲ達シタルヲ以テ之ヲ中止シタリ

▲**蠶室蠶具消毒ノ獎勵** 本事業ハ明治三十五年ヨリ繼續施行シタル事業ニシテ消毒器ノ購入代金貳拾圓、藥品代補助五拾圓ニ達シ爾來蠶兒ノ發育至極佳良ニシテ好結果ヲ收ムルヲ得タリ明治三十九年一月蠶業組合創立シタルヲ以テ組合ノ事業ニ移シタリ

(二) 現時ノ事業成績

▲**水稻採種田ノ設置** 明治四十五年以來村内ノ作付水稻ニ付各共同苗代組合所要ノ種類及數量ヲ調査シ特種ノ種類及糯等ヲ除ク、獎勵金ヲ交付シテ採種田ヲ經營セシム大正三年ニ於テハ其ノ面積一町八反歩ニ達スシ品種ノ統一改良ヲ爲シ其ノ成績顯著ナリ

▲**害蟲驅除ノ勵行** 明治三十五年以來害蟲驅除特ニ螟蟲卵塊及天牛ノ買上ヲ實行シ既ニ天牛ハ殆ント其ノ跡ヲ斷ツニ至レリ又貯穀米害蟲驅除ハ既ニ數年來實行シツツアリ其ノ成績良好ナリ

▲**蠶業ノ改良** 明治三十九年蠶業組合創立以來同組合ト聯絡シ蠶種製造ヲ該組合ニ委任シ毎年村内所要ノ蠶種ハ組合ニテ製造シ之ヲ共同貯藏シ飼育法、模範桑園ノ設置、稚蠶共同飼育、生繭共同販賣等ニ付組合ト協力督勵シタル結果成績益々良好ナリ

▲**鹽水選ノ施行** 米麥種子ノ鹽水選獎勵ノ爲メ苦鹽汁ノ無代配布ヲ爲シ毎年評議員會ニ於テ施行期日ヲ四日間ト定メ一定ノ器具ヲ本會ニ備付各部落番ニ一定ノ場所ニ於テ人夫ヲ使用シテ之ヲ施行シツツアリ

▲**品評會ノ開催** 農業ノ改良發展ヲ圖ル爲水稻共同苗代品評會、採種田立毛品評會ヲ開催シ優良ナルモノニ賞與シ改良ニ努力セシム

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲**共同苗代ノ實施**

(沿革) 本事業ハ明治三十九年ヨリ本會ノ主要事業トシテ計畫シタルモノニシテ最初三箇年ハ技術員ヲ聘シテ改良ヲ圖リ全村二十二箇ノ共同苗代組合ヲ組織セシメ極力地區ノ整理ニ力ヲ盡シ之カ完成ヲ獎勵シタル結果明治四十二年以來全村悉ク普及シ單獨苗代ハ全ク跡ヲ斷ツニ至レリ

(施行ノ方法) 現今ニ在リテハ各共同苗代組合ニ組合長管理人各一名ヲ選舉セシメ組合員ハ役員指揮ヲ受ケ耕耘、施肥、播種、除草、跡作等ニ至ル迄全部共同作業ニ依リ經營シ又設置以來本會ヨリ一反歩ニ對シ藁灰二十俵宛ヲ交付シ各苗代田地ノ荒廢ヲ防止シツツアリ

(成績) 共同苗代ノ普及獎勵ニ依リ一般農民ノ共同心ヲ養函シ之カ爲本村自治ノ發達ニ貢獻シタルノ効果頗ル大ナルモノアリ而シテ從來本村稻作ノ平均收穫ハ一反步約二石内外ナリシカ苗代等ノ改良後平均二石五斗内外ヲ收穫スルヲ得ルニ至リシヲ以テ全村ニ於テ約一千二百石以上ノ增收ヲ得ルニ至レリ是獨リ苗代改良ノ効果ニ歸スルニ非サルモ成績ノ過半ハ共同苗代ノ力ニ因ルモノト言フヘシ

▲**堆肥ノ獎勵**

(沿革) 本事業ハ共同苗代ニ次キ成績顯著ナル事業ニシテ明治四十三年ヨリ計畫施行シツツアリ最初二箇年ハ専ラ技術員ヲ聘シテ實地傳習會ヲ開催シ大正四年ヨリ別紙堆肥舍建設規程ヲ設ケ會員ノ依頼ニ應ジ堆肥舍ノ設計ヲ爲スト同時ニ補助ヲ與ヘ過怠金ヲ徴シ極力獎勵シタル結果昨年來續々建設シ殆ト村内ニ普及スルニ至レリ

(施行ノ方法) 現今ニ在リテハ堆肥舍改築ハ一棟ニ付金貳圓以内新築ニハ金參圓ノ補助ヲ支給シ部落評議員ハ其ノ設計ニ對シ指導ノ任ニ當レリ

(成績) 從來本村ハ金肥施用高約壹萬五千圓ニ達シタルモ本事業獎勵以來堆肥ノ施用著シク増加シ施用高約五千圓ヲ

減少スルニ至リ其ノ成績定ニ顯著ナリ

年次別	農家戸數	堆肥舍數	同上割合	
			堆肥舍	割合
大正元年	四八〇戸	七〇	一割四歩	
同 二 年	四八五	一一〇	二割三分	
同 三 年	五〇〇	一五〇	三割	

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 産業組合 本會ハ産業組合ト聯合シテ講話會ヲ開催シ組合ニ於テ購入スル肥料ニ付テハ熟練家ヲ派遣シテ其ノ鑑定ヲ爲シ組合員ノ生産スル米麥及藨ト組合員外ノ者ノ生産スル米麥及藨トノ共同販賣ノ斡旋ヲ爲シツツアリ
- (二) 地主會 ノ地主會ノ幹部ハ本會ノ役員ニシテ本會施設事業ノ遂行ヲ援助ス
- (三) 青年會 青年會ニ御神田、多收穫競作田、竹林ヲ設ケシメ本會之ヲ指導シ且借地料ノ補助ヲ爲シ農事統計調査ノ任ニ當ラシム

其ノ他参考トナルヘキ事項 螟蟲ノ豫防トシテ野外藨ノ取片附ハ一般農家ノ知悉スル處ナルモ往々之カ取片附ヲ閑却シ其ノ被害ヲ多カラシムルハ頗ル遺憾ナリ依テ本會ハ大正四年一月總會ニ於テ發表シテ曰ク「野外ニ散在スル稻稈ハ毎年二月末日限り取片附ヲ爲スヘシ本會ハ三月一日以後野ニ殘留スルノ分ハ青年會ニ命シ同會經營ノ竹林用堆積肥料トシテ沒收ス可シ」ト期日ニ至リ青年會ヲシテ山田ノ谷間ヨリ山間隈ナク搜索セシメ同年劈頭三百東ヲ沒收セメシ爾來該取片附ノ成績ハ至極良好ニシテ期日遲滞ナク豫定ノ如ク整然トシテ勵行ヲ爲スニ至レリ

静岡縣

清水村農會

駿東郡清水村玉川横(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ東南部ニ位シ耕地面積田三百三十五町四反歩畑百六十九町六反歩人口五千八百六十三人農家四百五十戸ヲ有ス副業トシテ藁細工製品、藨、糞等ノ生産アリ

會員數 四百五十名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村内ノ有力者ニシテ現ニ村長ノ職ニ在リ農事改良ノ熱心家ナリ副會長ハ助役ニシテ幹事二名ハ執レモ村内ノ大地主ニシテ篤農家ナリ評議員七名ハ本村村會議員ニシテ村内ニ於ケル有力者ナリ技術員ハ高等農事蠶業講習會ヲ修了シタルモノ者ナリ大正三年四月ヨリ就任ス爾來勸業事務ヲ掌リ農業補習教育、農蠶業等ノ實地指導ニ從事シ傍ラ郡農會委託ニ係ル郡農會原種栽培ヲ擔當ス書記ハ當分技術員其ノ事務ヲ兼務ス
 - (二) 總會 總會ハ毎年二回開會ス出席會員ハ總會員ノ九割ニ達ス議事決了後ハ必ス郡農事監督ヲ聘シ講演會ヲ開クヲ例トス
 - (三) 補助的設備 各部落毎ニ區農會ヲ設ケ事業ノ施行上便宜支部長一名補助員四名ヲ設置シ其ノ實行督勵ニ當ラシム
- 營造物 事務所ハ役場内ニ在リ會議室トシテ征露記念農業館(瓦葺平家間口八間奥行二間半、二十坪)アリ館内標本室ニハ農蠶具、農作物種子等ヲ陳列シ圖書室ニハ農蠶業ニ關スル刊行物ヲ蒐集シ其ノ他村内各種ノ統計表受賞表等ヲ掲ケテ會員及一般公衆ノ閱覽ニ供シ以テ農事ノ改良發達ノ資トナス

經費

- (一) 大正三年度ノ收入決算額

静岡縣

備考 本表ハ最近三箇年間ヲ示シ苗代田ニ在リテハ螟蟲驅除及螟卵等本田ハ多ク螟蟲浮遊子如ニ在リテハ好蟲等ナリ捕蟲機ハ九萬九千五百三十三位ヨリ多キ年ニハ十一萬以上ニ達セリ大正四年桑園驅除ノ如キハ(尺蠖)二萬正以上ニ及ヘリ

▲農耕馬購入ノ斡旋 農馬飼育獎勵ノ爲青森ヨリ牝馬十四頭ヲ買入レ實費ヲ以テ希望者ニ分與シ耕馬ノ普及ヲ圖ルト共ニ堆肥ノ生産増加ニ努メツツアリ

▲種子精選ノ實行 種子ノ精選ニ付テハ鹽水選ト麥奴豫防トヲ極力獎勵シ本村各區ニ亘リ一定ノ日割ヲ定メ本會ヨリ技術員出張シ一般當業者ヲシテ實行セシム其ノ成績左ノ如シ

年次	種別	種日		種選		種選	
		稻	麦	麥	水	水	湯
大正二年		六三・一	三一・三	三一・三	三一・三	三一・三	三一・三
同三年		八三・三	四一・二	四一・二	四一・二	四一・二	四一・二
同四年		八一・二	三一・五	三一・五	三一・五	三一・五	三一・五

▲稚蠶共同飼育ノ獎勵 農家ニ共同心ヲ涵養シ養蠶業ノ改良發達ヲ圖ルノ目的ヲ以テ之カ獎勵ヲ加ヘタリ其ノ結果共同飼育スルモノ漸次増加シ五戸以上共同セルモノ七箇所四戸乃至三戸ノ共同セルモノ年々十八箇所乃至二十箇所ニ達シ

共同飼育ノ期間ハ普通三齡迄行フ其ノ結果幾分掃立期日ノ如キモ他町村ヨリ早ク四月二十日前後ニ掃立上簇ハ五月下旬即チ入梅前ニ爲サセシムルヲ以テ年々他町村ニ比シ一石ニ付參四拾錢方高價ニ販賣スルコトヲ得ルノミナラス麥收穫前ニ結了シ田植ニ支障ヲ來スコトナク勞力ノ分配頗ル良好ナリ

▲肥料共同購入ノ斡旋 本會ハ農家ノ金肥需用年々増加スルニ伴ヒ往々ニシテ不正肥料ノ販賣ヲ防キ又共同ノ力ヲ以テ安價ニ購入シ農家經濟ニ資セムカ爲極力共同購入ノ普及ヲ圖リ需用品ヲ取纏メ出來得ル限り廉價ニ然モ品質良好ノ肥料ヲ當業者ニ使用セシメツツアリ當業者ハ其ノ利益ヲ覺知シ申込希望者ハ逐年増加スルニ至レリ其ノ成績左ノ如シ

年次	種別	肥料		種類		共同人員
		大豆	粕	過燐酸石灰	鹹	
大正二年		三九〇	三九〇	三九〇	三九〇	五八
同三年		四五〇	三五〇	八九〇	八〇	六三
同四年		三五〇	三九八〇	一一二〇	七〇	六七

右ノ成績ニ依レハ申込希望者數竝購入ノ數量極メテ少額ナルモ共同購入普及ノ爲會員ヲ各區ニ募リ共同資金ノ積立ヲ爲シ又ハ農工銀行ヨリ低利資金ノ借入ヲ爲シ之ヲ資金トシ共同資金ノ積立アル會員及會員外ト雖區長ヨリ買入金ノ責任ヲ帶フル者ニ限り肥料共同購入ノ斡旋ヲ爲シツツアリ益々共同資金ノ造成ヲ圖ルト共ニ會員ノ増加ニ努メツツアリ

▲技術員ノ設置 大正三年四月ヨリ專任技術員ヲ設置シ村内ノ巡回實地指導ニ當ラシメツツアリト雖日尙淺キヲ以テ其ノ成績ヲ發表スルニ至ラサルモ米麥作ニ在リテハ種子ノ精選ヨリ收穫ニ至ル迄其ノ他ノ農作物ニ在リテハ作物ト施肥ノ關係、栽培方法及良種ノ普及ヲ督勵シ養蠶業ニ在リテハ催青ヨリ上簇迄各戸ヲ巡回指導シ且收購販賣ノ斡旋ニ就テモ毎日技術員ハ商店ニ出張シ各自ノ繭ヲ相當相場ニ賣却ス又前日相場ハ必ス其ノ翌朝掲示板ヲ利用シ村内一般ニ周知セシム害蟲ノ驅除ハ當業者ハ勿論、小學校生徒ヲ引率シ害蟲ノ發生時期ニ驅除ス其ノ他夜間農業講習講話會、青年農業補習教育ニ從事セシム

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲米麥品種ノ改良統一

(沿革) 本村ニ於ケル米ノ作付反別ハ三百三十五町四反歩餘ニシテ年生産額八千三百三十七石ヲ算シ麥亦四百五町歩ノ作付ニシテ五千三百二十三石ノ生産ヲ示シ米約三千石麥約三千五百餘石ヲ輸出スルノ狀況ナリ然リト雖從來品種極メ

テ雜駁ニシテ米ノ如キモ二十有餘種ヲ示シ麥ニ在リテモ栽培スル品種十種ヲ算スルノ狀況ナリシヲ以テ之カ改良ハ生産額ニ尠ナカラサル影響ヲ與フルノミナラス本村ノ産米ハ益々雜多ヲ極メ經濟上ノ損失亦尠ナカラサルノ狀況ナリシカ放ニ之カ改良ヲ圖ラムカ爲採種地ヲ設置シ優良品種ノ普及ヲ計畫シ明治四十四年ヨリ村内精農家ニ委託シ栽培セシメ之カ配布交換等ノ方法ニ依リ以テ米麥品種ノ改良統一ヲ期セムトシツツアリ

(施行ノ方法) 採種ハ村内精農者ヲ選抜シ之カ栽培採種ヲ委託スルノ計畫ニシテ擔當者所有地ニ付キ適當ト認ムル地ヲ選定シ清水村農會米麥採種地トシ十四箇所ヲ設置セリ而シテ其ノ栽培ニ付テハ播種前擔當人ヲ農業館ニ召集シ各自ノ意見ヲ徵シ耕種標準ヲ定メ播種ヨリ採種期ニ至ル間七回乃至八回宛本會ヨリ技術員又ハ役員ヲ採種地ニ出張巡視セシメ其ノ成績ヲ調査シ擔當人ハ毎月一回農業館ニ會合シ栽培上ノ打合セヲ爲シ擔當人ニハ各自栽培セル品種ニ付播種ヨリ收穫ニ至ル成績ヲ調査表ニ記入セシメ村農會ニ報告セシム而シテ其ノ擔當人ノ提出セル成績ト本會ノ調査ト相對照シ次回ノ會合ニ於テ原種トシテ採用ノ如何ヲ決定ス而シテ種子配布ノ方法ハ當業者ニ希望ノ品種別數量ヲ本會並栽培擔當者ニ申出テシメ配布數量ノ許ス限リ當業者ニ實費及交換配布ノ二法ニ依リ配布シ優良種子ノ普及ヲ圖リツツアリ

稻麥採種地設置規程

- 第一條 村内ニ稻麥採種地十四箇所ヲ設ク
- 第二條 一箇所ニ栽培擔當者一人ヲ置ク擔當者ハ選種ヨリ收穫ニ至ル一切ノ試驗ヲ爲シ其ノ成績ヲ村農會ニ報告スルモノトス
- 第三條 村農會ハ縣農會ヨリ送附セル種類其ノ他優良ナリト認ムル種類ノ購入ヲ爲シ之ヲ擔當者ニ分配スルモノトス
- 第四條 種類ノ選擇ハ農會員及擔當者等ニテ一定ノ日ヲ期シ各地ヲ視察シ種類トシテ選出セシモノトス
- 第五條 擔當者ハ毎月一回村農會ノ農業館ニ集合シ採種ニ對スル成績ノ報告並農事改良ニ對シ精密ニ研究ヲ爲スコト
- 第六條 栽培擔當人ハ村農會長之ヲ選定シ囑託ス
- 第七條 原種栽培地ニハ左ノ標示杭ヲ建ツルモノトス



第八條 栽培方法ハ各自ニ囑託スト雖一定ノ耕種標準ヲ作り之ニ依ルコト
 第九條 試作ノ結果良好ト確定セルモノハ村農會之ヲ買収シ村内一般ニ分與スルモノトス
 但シ配布ハ實費分讓トス

(成績) 原種栽培施行以來配布シタル品種別、配布石數等ヲ示セハ左ノ如シ

稻品種別配布石數

年次種別	品種別配布石數			計	配布戶數	作付反別
	美濃撰	愛國	早千木			
大正二年	一・〇〇〇	四・八〇〇	五・一〇〇	一三・六〇〇	一三八	二二六反
同三年	八〇〇	五・〇〇〇	五・〇〇〇	一三・六〇〇	一三八	二五四反
同四年	九五〇	五・二〇〇	五・〇〇〇	一三・二五〇	一三五	一一一〇〇〇

麥品種別配布石數

年次種別	品種別配布石數			計	配布戶數	作付反別
	白六角	自種揃	黒麥			
大正二年	六〇〇	一・二〇〇	四・〇〇〇	六・〇〇〇	九一	九三〇〇
同三年	〇	一・〇〇〇	五・二〇〇	六・四〇〇	一〇二	一一〇〇〇
同四年	〇	一・〇〇〇	五・三〇〇	七・五五〇	一〇八	一八〇〇〇

實施以來日向淺キカ故ニ種糶ヲ配布セル石數ハ比較的尠ナキノ感アリト雖採用セル米麥ノ品種ニハ幸ニシテ本村ノ風土ニ適シ孰レモ其ノ成績可良ナリシヲ以テ配布ヲ受ケタル當業者ハ逐年栽培反別ヲ増加シ一般當業者中一旦配布ヲ受ケタルモノヨリ分與ヲ要求スルノ狀況ナリ仍テ獎勵品種ノ普及速カニシテ大正元年ニハ十六種トナリ大正二年ニハ九種ヲ示シ大正三年ノ如キハ大約五種ニ統一セラルルニ至ル麥ニ在リテハ凡ソ九種位ナリシモ大正三年ニ至リテハ殆ト三種ニ統一セラルルニ至レリ尙種類ノ改良統一ノ結果ハ產米增收ノ一因トナリタルノミナラス從來雜駁ヲ極メタル本村ノ產米ハ品種粒形モ亦略ホ一定セラレ加フルニ收穫後ニ於ケル取扱方法、乾燥及調製等ニ至リテモ順次改良ヲ施シ爲ニ產米ノ聲價ヲ發揚セル等經濟上ニ多大ノ効果ヲ擧ケツツアリ

▲堆肥舍建設ノ獎勵

(沿革) 從來本村堆肥原料ノ給源地ハ函根山及愛鷹山ナリシカ近來陸軍馬匹牧草地トナリ或ハ近隣農家ノ青草需用増加セルヲ以テ本村ノ如キハ堆肥原料トシテ青草ヲ得ルコト極メテ困難トナリ遂ニ米麥ノ稿稈ヲ以テ其ノ原料タラシムルノ狀況ニ迫リ堆肥製造高ハ年々著シク減少ノ傾向ヲ示シ其ノ影響ハ金肥ノ購入施用額ヲ増加スルニ至リタルヲ以テ本會ハ肥料經濟ト地力維持ヲ圖ラムカ爲堆肥ノ製造及綠肥栽培ノ獎勵ヲ計畫スルニ至レリ堆肥原料ハ作物ノ稿稈農業上ノ廢棄物ヲ以テシ又明治四十一年一月一般當業者ノ集會ヲ求メ堆肥製造ニ關スル研究會ヲ開催シ同志百五十名ヲ會員トシテ無盡法ニ依リ毎年六箇所宛建設シ向二十五年間ヲ期シ全員悉ク之ヲ設置セシムル計畫ヲ樹テ明治四十一年四月ヨリ獎勵ヲ開始シ爾來年々三回宛立會シ一回ニ二箇所宛堆肥舍ノ建設ヲ圖ルコトトシ繼續實行シツツアリ而シテ會員ノ集會ヲ機トシ農事監督又ハ名士ヲ聘シ堆肥ニ關スル講話ヲ乞ヒ堆肥ニ關スル堆肥舍建設ノ獎勵ニ努メツツアリ

(施行ノ方法) 左記規定ニ依リ堆肥舍建設ニ努メツツアリ

清水村堆積肥料製造改良同志會規定

- 第一條 本會ハ堆積肥料製造場改良同志會ト稱ス
- 第二條 本會事務所ハ清水村記念農業館ヲ以テ之ニ充ツ
- 第三條 本會ハ堆積肥料製造場ノ改築ヲ主トシ併セテ同肥料製造ニ關スル方法ノ研究ト一般農業ノ改良發達トヲ以テ目的トス
- 第四條 本會員數ヲ百五十名トシ一人ノ出金額ヲ每會貳圓宛積立第一回分金百貳拾圓ハ會員必需品ノ共同購買ノ資金トシ利殖ノ方法ヲ設ケ以テ產業組合法ニ依ル購買組合設置出資金ニ充ツルモノトス
- 第五條 第二回以後每會積立金百貳拾圓堆積肥料製造場改造希望者二名ヲ定メ無利息年賦償還ノ方法ニ依リ之ヲ貸與スルモノトス
但シ本金貸與ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第六條 本會ハ四月、七月、十一月トシ毎年三回總會ヲ開キ製造場ノ改良希望者ヲ認定シ年賦金及積立金ノ領收、堆積肥料製造法ノ研究、會員必需品ノ推定共同購買ニ係ル物品引渡シ代金ノ徵集等ヲ爲スモノトス
- 第七條 總會ニハ必ス農業發展上ニ關シ經驗アル名士ヲ聘シ講話ヲ求ムルコト
- 第八條 積立金及償還金ノ出金獎勵トシテ每會一人ニ付金拾錢貳辨當ヲ交付ス
但シ當回ノ借主ハ之ヲ受クルヲ得スト雖辨當ハ之ヲ給ス
- 第九條 前條ノ金額ハ每會積立金外トシテ會員ヨリ徵集スルモノトス
- 第十條 製造場ノ改造ハ一定ノ設計ニ依リ之ヲ行フ
- 第十一條 本會ニ會長一名幹事十三名ヲ置ク
- 第十二條 會長ハ本會一切ヲ總理シ幹事ハ會長ノ指揮ヲ受ケ會務ノ整理ヲ爲スモノトス
- 第十三條 會長ハ總會ニ於テ之ヲ選舉シ幹事ハ會長之ヲ選任ス
- 第十四條 役員ハ名譽職トシ無給トス

(成績) 堆肥舍ノ設置増加ト共ニ之カ製造ニ注意スルニ至リ從來顧ミサリシ農作物收納ノ際ニ於ケル廢棄物其ノ他下

水、風呂水等ヲ堆肥原料トシテ利用スルニ至リ一面蘆沙ノ取扱、屋外堆積等ノ漸次改良セラレタルノミナラス之カ製

造管理ニ至ル迄一般ニ注意研究スル等堆肥製造上喜フヘキ傾向ヲ示スニ至レリ又堆肥生産ノ増加ト堆肥觀念ノ普及トハ以テ堆肥生産額ヲ増加シ肥料經濟上少ナカラサル好果ヲ與ヘタルノミナラス之カ爲地力ヲ維持増進シ農作物ノ増收ニ預リテカアルヘク又堆肥舍設置獎勵ニ依リ年々六箇所ノ増設ヲ見ルニ至リ其ノ成績良好ナリシヲ以テ一般當業者ノ注目スル所トナリ會員外ト雖モ相當資力ヲ有スルモノハ進ンテ之カ建設ヲ企テ或ハ改築ヲ爲スモノ増加シ現在相當ノ設備ヲ有スル堆肥舍百有餘ヲ見ルニ至レリ其ノ成績左ノ如シ

年次	種別	堆肥舍總數	在來式ノ數		改良舍ノ數
			數	數	
大正二年		三二八		二五五	七三
同三年		三四九		二四五	一〇二
同四年		三四九		二四五	一〇四

▲天氣豫報ノ實施

(沿革) 農業ハ氣象上影響ヲ被ムルコト極メテ多ク其ノ關係最モ密接ナレハ天候ノ如何ヲ豫知スルコトハ作業上極メテ緊要ナリ本村ハ米麥作ヲ本位トシ養蠶ヲ主タル副業トシ而モ春夏秋蠶共ニ飼育セラルルノ狀況ナルヲ以テ天候ヲ豫知スルノ必要一層切ナルモノアリ仍テ本村ハ沼津町測候所ヨリ天氣豫報ヲ受ケ之ヲ當業者ニ周知セシムルノ施設計畫ヲ爲シ爾來年々繼續實行シツツアリ

(施行ノ方法) 豫報ヲ周知セシムル爲村内ノ中央部ニシテ當業者ノ注意ヲ喚起スルニ便ナル本村小學校校内ニ豫報場ヲ設置シ豫報掲揚柱及方位指、豫報旗、豫報掲示板、及ヒ豫報用ポスト(本村内字新宿電車停留所ニ設置ス)ヲ備付ケ天氣豫報ハ日々沼津測候所ヨリ翌日ノ豫報ヲ記載セル用紙ヲ得テ駿豆電車車掌ニ託シ電車ノ便ニ依リ本村新宿ニ設置セル清水村天氣豫報箱ニ投入セシム而シテ豫報ハ直チニ小學校内豫報板ニ掲示スルト共ニ豫報旗ヲ掲ケ一般ニ之ヲ知

ラシム小學校生徒ノ帰宅スルニ當リ各區ニ豫報通知書ヲ配布セシメ各區掲示板ニ掲示スルノ方法ヲ採リ一般村民ニハ豫報信號ヲ知悉セシメ誤認セサルムコトヲ努メ以テ豫報ヲ確實ナラシメツツアリ

(成績) 天氣豫報ノ成績良好ナルカ故ニ農業上ニ與ヘタル効果ハ決シテ尠ナカラサルヲ認ム即チ農作物種子ノ播種施肥、耕耘、收穫等天候ノ如何ニ依リ各種作業上ニ致セル効果尠ナラス殊ニ養蠶期ニ於ケル摘桑ノ如キハ天候ノ如何ニ依リ斟酌ヲ要シ而モ蠶業成績上至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ豫報上ヨリ受クル利益亦少ナカラス尙稻麥ノ收納、乾燥等ニ及ホセル効果亦大ナリ

農會ト各種團體トノ聯絡

(一) 各種團體 本會ハ青年會、在郷軍人會、救濟會等ト聯絡ヲ採リ毎年二回若ハ三回聯合大會ヲ開催シ縣農會又ハ農事試驗場ノ技術員、郡農事監督、地方實業家、軍人及宗教家ヲ聘シテ講演ヲ乞フ大會ノ經費支出等ハ每會本會四分青年會二分在郷軍人會二分救濟會二分ノ割合ヲ以テ負擔ス而シテ本村聯合青年會ニハ毎年獎勵金ヲ交付シ稻麥栽培競技會ヲ開カシメ審査ノ上成績優等ナル支部ニ對シテハ特ニ賞品ヲ授與スルト共ニ一般當業者ノ注意ヲ喚起スルニ努ム

勝間田村農會

榛原郡勝間田村勝間(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ中央ニ位シ面積一・一三方里人口四千六百餘人耕地面積田三百三十町步畑三百一步町アリ農家六百五十戸住民ハ殆ト農業トス副業トシテ茶ノ生産アリ

會員數 一千名
事業ノ施行機關

(一) 役職員 會長ハ村長現ニ榛原郡農會會長ニシテ農事改良ニ熱心ナル者ナリ副會長ハ助役ニシテ篤農家タリ評議員七名

ハ村會議員及役場吏員等村内ニ於ケル有力者ナリ技術員ハ甲種農學校卒業生ニシテ青年補習夜學會ノ教員ヲ兼務シ書記ハ村吏員之ヲ兼務ス

(二) 總會 毎年一回若ハ二回開會ス出席會員ハ總會員ノ殆ト九割ニ達シ議事決了後ニ於テ郡農會技手及老農ヲ聘シ講演會ヲ開クヲ例トス

(三) 補助的設備 各部落毎ニ部農會ノ設ケアリテ事業ノ施行ニ付便宜ヲ圖リ其ノ實行督勵ニ當ラシム又村青年會ヲ指導シ各種統計ノ調査ヲ爲サシム

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	七三、〇〇〇	補助縣費	一	補助郡費	一	補助村費	二五、〇〇〇	補助上級農會費	二八、〇〇〇	計	五三、〇〇〇	其ノ他	三三、〇〇〇	合計	一、六四三、〇〇〇
繰越金	五六三、〇〇〇														

(二) 同上 支出決算額

事務所費	一八、〇〇〇	會議費	三、〇〇〇	上級農會ニ對スル負擔金	一五三、〇〇〇	事業費	九一五、〇〇〇	其ノ他	五〇、〇〇〇	合計	一、三〇八、〇〇〇
------	--------	-----	-------	-------------	---------	-----	---------	-----	--------	----	-----------

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ人頭割ニ十分ノ二ヲ、地租割ニ十分ノ四ヲ、反別割ニ十分ノ四ヲ分賦シ毎年七月及八月ノ二期ニ收入ス滞納者ナク會費ハ村稅ト共ニ告知書ヲ發シテ之ヲ徵收ス

基本財産 現在高金六百五拾四圓

保管ハ全部銀行預金トシ其ノ積立方法ハ毎年豫算ニ計上スル分ト基本財産預金利子トヲ積立ツ

事業成績

(一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
▲村是ノ確立 本會ハ一定ノ村是ヲ決定シ之ニ依リテ本村農事改良發達ヲ圖ルコトノ緊要ナルヲ認メ明治三十五年八月ヨリ村是調査ノ資料蒐集ニ着手シ同年十一月ヨリ實地調査ニ當リ翌三十六年二月調査ヲ終了シ左記八項ノ村是ヲ確立シ村民全般ニ亘リ之カ實行ニ着手スルコトトセリ

記

- 一 農業教育ノ普及ヲ圖ルコト
- 二 耕地整理並排水ヲ行フコト
- 三 風紀ヲ改良スルコト
- 四 重要農作物ノ改良ヲ圖ルコト
- 五 産業組合ヲ設置スルコト
- 六 殖林ヲ獎勵スルコト
- 七 副業ヲ獎勵スルコト
- 八 畜産、開墾ヲ獎勵シ里道、農作道ノ改良ヲ圖ルコト

右各項ニ付テハ本會ハ極力之カ實行ニ努メ一、二、四、六、七、八ノ各項ニ付テハ相當施設實行スルニ至リタルモ三、及五ノ事項ニ付テハ未タ充分ナル成績ヲ舉クルニ至ラス

(二) 現時ノ事業成績

▲技術員ノ設置 明治四十年ヨリ専任技術員ヲ設置シ各部落ヲ巡回シ實地指導ヲ爲サシメツアルヲ以テ農業技術ノ進

步著シキモノアリ

▲酒及醬油共同購入ノ實施 農家計經濟ノ改良ヲ圖ルノ目的ヲ以テ本會ハ明治三十七年ヨリ酒及醬油ノ共同購入ヲ實施シタリ其ノ方法ハ極メテ簡單ニシテ本會指定ノ期日迄ニ希望者ハ部農會ヲ通シテ本會ニ申出テシメ本會ハ數量ヲ取リ纏メタル上確實ナル醸造家又ハ卸商人ニ通知シ見本竝價格ヲ添ヘ本會ニ出品セシメ村役場及本會役員ニ於テ査定シタル上適當期日ニ於テ監督者ハ人夫ヲ指揮シテ各部落ニ出荷セシメ各部落ニテハ又正副部農會長ニ依リテ一般希望者ニ更ニ分配スルノ順序ナリトス而シテ購入ニ要スル經費ハ酒醬油共ニ各一升ニ對シ壹錢宛ヲ徵收シ之ヲ以テ支辨シツツアリ最近三箇年ノ取扱數量左ノ如シ

年次種別	酒			醬			油		
	購入回数	同數量	同價格	購入回数	同數量	同價格	購入回数	同數量	同價格
大正元年	四	一四・四五三	六四九・三一	四	一〇・七六五	二一六・〇四六	四	二六・〇四六	二六五・九八三
同二年	五	一二・二五五	五五五・三五五	五	一二・七五五	二六五・九八三	五	二六・〇四六	二五〇・一九〇
同三年	五	一三・八八九	五九〇・八三五	五	一二・八一	二五〇・一九〇	五	二六・〇四六	二五〇・一九〇

本事業ハ嘗ニ希望者ニ於テ利便多キノミナラス品質良好ナルモノヲ購入シ得ヘク尙且酒類ノ如キ一升ニ對シ貳拾五錢以上廉價ニ購入スルコトヲ得ル等ノ利益アリ殊ニ最近ニ於テハ通帳ノ便ニ依リ希望者ニ於テ數升以上ノ入用ニ際シテハ貸付スルノ途ヲ啓キタルヲ以テ一層本事業ノ利益ヲ一般會員ニ感知セシメタリ

▲製茶販賣品評會ノ開催 本村ニ於ケル製茶產額ハ實ニ拾參萬圓ノ巨額ニ上リ斯業ノ盛衰ハ直ニ村經濟ニ至大ノ關係ヲ有スルノ現況ナルヲ以テ之カ改良發達ニ關シ本會ハ常ニ獎勵ニ努メツツアリシカ一層之カ品質ノ改善ヲ圖リ確實ナル販賣ニ依リ會員ノ福利ヲ増進セシムルノ必要ヲ感シ明治四十四年ヨリ本事業ヲ開始スルニ至レリ出品者ハ凡テ製茶販賣品評會規程ニ基キ四月二十五日迄ニ本會ニ申込書ヲ差出シ翌五月二十日迄ニ一櫃以上ノ出品ヲ各部落ノ出品物取

扱所ニ送付シ所定ノ検査ヲ經テ各自宅ニ貯藏スルモノトス出品物ハ審査規程ニ依リ專門技術者及當業者中相當知識經驗ヲ有スル者肉眼及器械審査ヲ以テ優劣ヲ査定シ優等ナルモノニハ相當ノ褒賞ヲ與フルト共ニ一面出品物評價規程ニ依リ共同倉庫内ニ於テ五月二十六日午前九時ヨリ同二十七日午前十時迄ニ豫メ通知セル商人ニ評價入札ヲ爲サシメ同二時間札ヲ爲シ賣買契約ヲ了シ價額ノ二割以上ヲ前納セシメ賣約後三日以内ニ殘代金ヲ皆納セシメ荷物ノ授受ヲ爲スモノナリ本事業ノ開催ニ依リ摘採時期ノ矯正、茶樹肥培法ノ改良、製揉技術ノ改善等製茶ノ品質ヲ改善シタルト共ニ協同的精神ノ助長ニ與リテ力アリ其ノ最近三箇年ノ成績左ノ如シ

年次種別	出品人員		出品櫃數		價格	
	出品人員	價	出品櫃數	價	出品櫃數	價
明治四十四年	八九人	一〇・二	一〇二	二、八二六・〇五五	四、八一五・六〇二	四、八一五・六〇二
大正元年	一一五	一九五	一九五	四、八一五・六〇二	四、八一五・六〇二	四、八一五・六〇二
同二年	一六七	二二九	二二九	四、八一五・六〇二	四、八一五・六〇二	四、八一五・六〇二

▲鹽水選ノ實行 明治三十九年以來本事業ヲ實施シタリ各部農會ノ部長ハ米麥鹽水選ノ時期ニ於テ鹽若ハ苦鹽汁ノ所要量ヲ調査シ本會ニ申込ミ本會ニ於テ其ノ數量ヲ取纏メ共同購入ヲ爲シ直ニ各部長ニ引渡シ各部長ハ時期ヲ見計ヒ農事監督ノ出張ヲ乞ヒ副部長及組長ト協力シ當業者ヲ指導督勵シテ協同的作業ヲ爲サシム而シテ該鹽水選用具ハ農會ニテ購入シ各部落ニ貸與シ部長ニ之ヲ保管セシム米ニ在リテハ其ノ實行歩合八割、麥ニ在リテハ七割ニ達成績良好ナリ

▲農家ノ智識啓發 本會ハ夙ニ專任技術員ヲ設置シ農家ノ指導ニ當ラシメ屢々講習講話會又ハ傳習會等ヲ開催セリ明治三十五年ヨリ大正二年ニ至ル間ニ講習會開催シタルコト四回、講話會研究會ヲ開キタルコト百七十四回、傳習會ヲ開キタルコト七回ニ達ス又明治三十九年ヨリ大正二年迄ニ前後九回農事先進地ニ視察員ヲ派遣シ實地視察ヲ爲サシメ又村内七箇所ニ農業掲示板ヲ設置シ毎月三回農業ニ關スル記事ヲ掲載シ農家ノ智識啓發ニ努メ尙時々農事ニ關スル簡易

ナル印刷物ヲ配布シテ農家ニ注意ヲ與ヘ農事ノ改良ニ努メツツアリ

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 報德社 本村ニ於テハ報德事業極メテ盛ニシテ殆ト報德社員ナラサルナク其ノ役員ノ如キモ主トシテ農會役員之ヲ兼務シ居レリ會合ノ際ニハ本會長、農事監督出張シ農業其ノ他ニ關スル講話ヲ爲シ或ハ品評會開催ノ際ニハ審査ノ局ニ當レリ
- (二) 青年會 本會ヨリハ青年會ニ對シテ補助金ヲ支出シテ支部青年會主催ノ米麥、堆肥、蔬菜等ノ品評會ヲ開催セシム其ノ際ニハ農事監督之カ審査ノ局ニ當リ又本村ノ重要物産統計調査ノ如キハ青年會ニ爲サシム

山梨縣

篠尾村農會

北巨摩郡篠尾村字中村(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ西北部ニ位シ總反別一千二百六十五町三反歩土地ハ稍平坦ニシテ人口一千四百五十五人耕地面積

田百六十五町八反歩畑百十三町八反歩アリ農家二百四十六戶住民ハ殆ト農ヲ業トス副業トシテ繭ノ生産アリ

會員 數 二百四十六名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ本村ニ於ケル中位ノ資産家ニシテ極メテ農事改良ニ熱心ナル者ナリ報德社ノ副社長ヲ兼ス、副會長ハ村ノ助役ニシテ篤農家ナリ評議員七名中一名ハ村長一名ハ村會議員他ハ皆篤農家ニシテ村内ノ有力者ナリ技術員ハ本縣農事試驗場ノ練習生トシテ規定ノ練習ヲ終リ且試験檢定ノ上農業專科正教員ノ免狀ヲ得明治四十三年ヨリ就任シ

當業者ノ指導ニ從事ス書記ハ時々事務所ニ出勤シ時トシテハ自宅ニテ執務ス

- (二) 總會 農會組長會議ノ際總會ヲ開クヲ例トス
- (三) 補助的設備 昔時行ハレタル五人組制度ヲ繼續シ平均十戶ヲ一組トシ各組ヨリ組長一名ヲ選出ス組數二十三ニシテ組長ノ職務ハ總會ノ際缺席者ノ委任ヲ受ケテ必ス出席シ農會ヨリ會員ニ報告スル事項ハ總テ組長ヨリ通達セシメ又共同購入肥料ノ希望額ヲ取纏メ肥料ノ貸付ヲ爲シタルトキハ之カ取立ノ任ニ當リ町村採種田種籽ノ交換ノ斡旋ヲ爲ス等其ノ他本會ノ施設事業ノ實行ニ當ル

經費

- (一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	五四七九〇	繰越金	三四六五七	補助縣	—	補助郡	—	補助村	—	補助上級農會	五〇〇〇〇	計	五五〇〇〇	其ノ他	—	合計	一八四、四四七
----	-------	-----	-------	-----	---	-----	---	-----	---	--------	-------	---	-------	-----	---	----	---------

- (二) 同上 支出決算額

事務所費	九九五〇	會議費	五〇〇	對上級農會ニ對スル負擔金	二、一九〇	事業費	三〇、一〇〇	其ノ他	一、四二五	合計	一六五、九九五
------	------	-----	-----	--------------	-------	-----	--------	-----	-------	----	---------

- (三) 會費分賦及收入方法 會費ハ耕作反別割ニ拾五圓地價割ニ四拾圓ヲ分賦シ二期ニ分チ第一期ハ七八月頃第二期ハ十月ヨリ一月トシ會費ハ各組ヨリ組長徴收シ若シ未納者アラハ其ノ組ノ責任トナルヲ以テ滞納者ナシ告知書ハ組長宛ニ一括シテ發附ス

事業成績

(一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績

過去ニ於テ施設シタル事業ハ今尙繼續施行セルカ故ニ特ニ記スヘキモノナシ

(二) 現時ノ事業成績

▲肥料ノ貸付 小農肥料購入ノ便ヲ圖ラムカ爲明治三十三年ヨリ左記規程ヲ制定シ肥料資金トシテ會員ヨリ毎月參錢宛
ヲ醸出セシメ之ヲ積立テ現時ニ於テハ四千餘圓ニ達セリ此ノ積立金ヲ肥料資金トシテ低利融通ノ途ヲ講シ收穫後償還
セシムルコトトセリ貸付クルニハ各組ノ會員ニ連帶ニテ借用セシメ貸付金ノ回收ハ組長之ニ當ル最近三箇年ノ貸付金
額左ノ如シ

大正二年	四、三七七・〇一一
同三年	四、三五七・〇七〇
同四年	二、八二七・七一五

貸付ノ途開カレサリシ時代ニ肥料ヲ買フ能ハサリシ者ニテ此ノ途ノ開カレタル後肥料ヲ買ヒ得ルニ至レルモノ約八十
戸アリ其ノ効果ノ少ナカラサルヲ知ルヘシ尙肥料購入ノ資金ノ利子ノ一部ヲ本會經常費ニ繰入ルルコトトシ一般會員
ノ利益ヲ増進スルコトニ努メツツアリ

篠尾村農會積立金規程

第一章 目的

第一條 本會ハ會員ニ勤儉ノ美風ヲ獎勵スルト共ニ産業及生計ニ必要ナル物品ノ共同購入ヲ爲シ又ハ産業ニ必要ナル資金ヲ貸附ケムカ爲積立金ヲ爲ス

第二章 持分

第二條 會員ハ持分一口ヲ有スル義務アルモノトス但シ一月ニシテ二名以上アル時ハ此限リニ非ス

第三條 農會ハ持分拂込ニ對シ受領證ヲ發セシ積立金通帳ヲ組長ニ交付シ置キ拂込ノ都度通帳ニ主務者ノ認印押捺ヲ以テ之ニ代フ

第四條 會員ハ持分ヲ以テ本會ニ對スル債務ト相殺スルコトヲ得ス

第五條 會員ハ農會ノ承諾ヲ得テ其ノ持分ヲ家督相續人又ハ會員タル其家族ニ讓渡スルコトヲ得

第六條 會員死亡シタルトキハ家督相續人ニ其ノ持分ニ對スル權利義務ヲ繼續セシム

第七條 持分ニ對スル利子ハ持分ニ繰入ルモノトス

第八條 持分ハ本會ノ解散又ハ會員力他村ニ退去シタル場合ノ外拂戻ヲ爲サス

第九條 持分拂戻ハ前年度末ニ於ケル現在高ヲ以テス

第三章 事業ノ執行

第十條 本積立金貸付ハ無抵當トシ農會ハ組合ニ組合ハ會員ニ貸付ス

第十一條 組合ニ於テ借入ヲ爲サントスル時ハ用途ヲ示シテ會長ニ申込ムヘシ

第十二條 前條ノ申込ヲ受ケタルトキハ會長ハ組合員中ヨリ相當ト認ムルモノ三名ニ其ノ組合ヲ代表セシメ指定ノ書式ニ從ヒ連帶借用證書ヲ徴シテ貸付
クヘシ

第十三條 會長ハ貸付金ノ都合ニ依リ借入申込額ヲ減少セシムルコトヲ得

第十四條 貸付金利子ハ一箇月一分トス但シ時ノ狀況ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經テ増減スルコトヲ得

第十五條 物品ノ共同購入ハ本積立金ヲ流用シ會長ト評議員トノ協議ヲ以テ購買スルモノトス但シ緊急ノ場合ハ會長ノ獨斷ヲ以テ購買スル事ヲ得

第四章 管理

第十六條 本積立金ハ會長之ヲ管理シ貸付及共同購入以外ノ現金ハ郵便貯金又ハ確實ナル銀行ニ預入レ利殖ヲ圖ルヘシ

第十七條 評議員中ヨリ監事二名ヲ互選シ積立金ニ關スル業務執行ノ狀況ヲ監査セシム但シ其ノ任期ハ一箇年トス

第十八條 業務執行ニ付キ不正ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ監事ハ之ヲ總會ニ報告スル事ヲ得但シ緊急ヲ要スルトキハ隨時會長ヲシテ總會ヲ召集セ
シムルコトヲ得

第十九條 會長ハ事業年度ノ終リヨリ一箇月以内ニ貸借對照表事業報告書持分現在高表及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出ス可シ

會員ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覧ヲ求ムル事ヲ得

第二十條 會長ハ前條第一項ニ掲ケタル書類ニ監事ノ意見書ヲ添ヘ總會ニ提出シ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第二十一條 事業年度ハ毎年一月ニ起リ十二月ニ終ル

第五章 附則

第二十二條 本規定ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

▲**緑肥栽培ノ獎勵** 金肥使用ノ防遏手段トシテ大正二年ヨリ桑園ノ間作ニ大豆、水田ノ裏作ニ紫雲英ノ栽培ヲ獎勵シ種子ノ共同購入ヲ行ヘリ最近三箇年ノ購入數量及其ノ價額左ノ如シ

年次	大豆		紫雲英	
	數量	價額	數量	價額
大正二年	五二・四石	七〇九・七八〇	五・〇〇石	一六五・〇〇〇
同三年	三八・〇〇	五四五・八五〇	一二・八〇	七一六・八〇〇
同四年	二二・〇〇	一九五・八〇〇	一五・二四	四八七・六八〇

▲**土壤酸性試験ノ施行** 大正三年ヨリ初メ田三十八筆、畑四筆ニ就キ之カ試験ヲ行ヒ大正四年ニハ田二十筆、畑五筆ニ付試験ヲ爲シ其ノ成績ヲ發表シテ當業者ニ示セリ而シテ會員中ニハ石灰ヲ以テ中和シ土地改良ヲ爲ス者アルニ至レリ

▲**種苗ノ配布** 種苗ノ配布ハ先年之ヲ施行シ暫ク之ヲ中止シ居リシモ大正四年ヨリ再ヒ實行セリ「レッドクローパー」種子十三斤購入セリ其ノ經費七圓五拾錢ニシテ全部無償ニテ配布セリ未タ一年ナルヲ以テ其ノ成績ヲ記述スル程度ニ至ラス

▲**鹽水選ノ勵行** 明治三十四年以來本會ヨリ苦鹽汁ヲ供給シ青年會員ヲシテ各部落ノ米麥種子ノ鹽水選施行ニ盡力セシメツツアリ

▲**稻作巡視ノ勵行** 明治三十四年ヨリ勵行シツツアリノ方法ハ本會役員會員ヲ引率シテ管内稻作成育ノ實況ヲ巡視シ種類ノ適否、施肥、耕耘、灌溉、管理等ニ對シ批評ヲ試ミ共ニ研究セシム其ノ結果各農家ハ栽培上ニ一層注意ヲ喚起スルニ至レリ

▲**水稻試作及肥料試験ノ施行** 小學兒童ニ農事ニ關スル趣味ヲ喚起シ勤勞ノ美風ヲ發揚シ且農作物ノ適否等ニ付當業者

ニ範ヲ示サムカ爲大正四年ヨリ土地ヲ借入レ兒童ヲシテ水稻品種試驗及肥料試験ヲ爲サシム借地料ハ收穫物ヲ以テ之ニ宛テ經費拾圓ハ手當トシテ小學校ニ交付ス

▲**果樹害蟲驅除ノ勵行** 明治四十五年ヨリ葡萄ベト病、苹果ノ綿蟲等ノ驅除ニ付會員ノ希望ニヨリ本會技術員出張シテ之カ指導ヲ爲サシム

▲**技術員ノ設置** 明治四十三年三月普通農事ノ技術員ヲ一名設置シ年手當貳圓ヲ給シ獻身ノ當業者ノ指導ニ當ラシム又大正元年十二月ニ養蠶ノ技術員ヲ一名設置シ各戸ニ就キ實地指導ヲ爲サシム是等ノ技術員設置ノ爲本村ノ農事改良上至大ナル効果ヲ舉ケツツアリ

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲**肥料共同購入ノ實施**

(沿革) 本事業ハ明治三十年ヨリ本會ノ主要事業トシテ繼續施行シ當初ハ直接製造元タル肥料會社ヨリ購入シ又ハ甲府市マテ出張シテ買入レタルモ肥料取締法ノ施行後ニ於テハ分析ノ上購入スルノ必要ヲ認メサルニ至レリ

(施行ノ方法) 現今ハ隣村小淵澤村ノ商人二名ト特約取引シ肥料成分量ノ疑ハシキ時ハ商人ト立會ノ上現品中ヨリ標本ヲ取り之ヲ西ケ原農事試驗場ニ送リテ分析ヲ依頼ス現品到着ノ上ハ肥料引換券ヲ會員ニ渡シ多量ニ購入スル肥料ハ停車場渡シトナシ少量ニ購入スルモノハ商人ノ倉庫渡シトス

(成績) 最近三箇年ノ購入總高次ノ如シ

年次	價額
大正二年	六、二四〇・三五〇
同三年	五、二三六・六〇〇
同四年	三、三四一・七〇五

右ノ内大正三年ニ於テ購入セル主ナル肥料ハ大豆粕、過磷酸石灰、石灰、大豆、紫雲英等ナリトス

山梨縣

本事業實施ノ結果品質良好ナル肥料ヲ地方ノ小賣相場ニ比シ約二三割方低廉ニ購入シ得ルカ故ニ會員ニ自覺ヲ促シ益々共同購入ノ成績ヲ擧クルニ至レリ

農會ト各種團體トノ聯絡

(一) 青年會 前述ノ如ク苦鹽汁ヲ供給シ青年會員ヲシテ米麥ノ鹽水選種ヲ爲サシム

滋賀縣

大原村農會

滋賀縣甲賀郡大原村(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ東南部ニ位シ面積二方里耕地ハ丘陵ノ間ニ介在シ區劃狹少概ネ泓田ニシテ耕地面積田六百二十八町步畑百九町步アリ戸數八百五十八戸人口四千九百九十六人、住民殆ト農ヲ業トシ養蠶、製茶、製炭等ヲ副業トス

會員數 千六十二名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長副會長ハ村内ニ於ケル德望家ニシテ農事ニ熱心ナリ幹事評議員亦同シ書記ハ村吏員兼務ス技術員ハ農業擔任一名、蠶業擔任一名アリ執レモ甲種農學校卒業生ニシテ農業技術員ハ明治四十四年蠶業技術員ハ明治四十三年就任ス其ノ他毎年養蠶期間中三名乃至四名ノ養蠶技術員ヲ置ケリ
- (二) 總會 毎年一月大會ヲ開キ會員全部出席ス席上年内施設事業ノ計劃ヲ協議決定スルト共ニ前年中ニ於ケル諸般事業

施設ノ報告ヲ爲シ會費ノ分賦及收入方法ニ付一部落二名乃至三名ノ委員ヲ詮衡シ議決セシメ了リテ縣又ハ郡ノ技術員ノ講演會ヲ開クヲ例トス

- (三) 補助的設備 各部落ニ一名乃至二名ノ委員ヲ設置シ本會施設事業ノ實行督勵ニ當ラシム

大正三年度ノ收入決算額

會費	九六、〇〇〇	繰越金	三、〇〇〇	補助	補縣助費	補郡助費	補村助費	補上級農會助費	計	其ノ他	合計
					一、〇〇〇	一、〇〇〇	一五、〇〇〇	三六、〇〇〇	三八六、〇〇〇	三六四、〇〇〇	一、七五一、〇〇〇

同上 支出決算額

事務所費	四〇、〇〇〇	會議費	一〇、〇〇〇	上級農會ニ對スル負擔金	三三三、〇〇〇	事業費	二五八、〇〇〇	其ノ他	六三三、〇〇〇	合計	一、七五九、〇〇〇
------	--------	-----	--------	-------------	---------	-----	---------	-----	---------	----	-----------

- (三) 會費分賦及收入方法 會員割ハ一人金拾錢トシ殘額ハ耕地反別割ニ二分ノ一、地價割ニ二分ノ一ヲ分賦シ毎年五月一回ニ徵收ス會費ハ告知書ヲ發シテ之ヲ徵收ス

基本財産 現在高勸業債券五圓

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
 - 共同販賣並共同購入ノ斡旋
 - 農産物ヲ有利ニ販賣スルト共ニ肥料ノ共同購入ヲ斡旋シテ農家經濟ヲ助長スルノ目的ヲ以テ明治三十二年ヨリ、産米ノ共同販賣ヲ明治三十三年ヨリ肥料ノ共同購入ヲ開始セシカ當時一般ニ共同思想ノ幼稚

シテ併セテ俵米ノ品評會ヲ開キ共同販賣ニ付スルノ方法ヲ繼續セシ爲近時大ニ價格ヲ高ムルニ至レリ尙毎年開催スル本村主要物産品評會ニ於ケル最近三箇年ノ出品數量左ノ如シ

年 別	種 別					
	米	繭	茶	木	炭	畜 牛
大正二年	九六八 <small>担</small>	二三〇 <small>担</small>	四〇 <small>担</small>	一二八 <small>担</small>	二九 <small>担</small>	二九 <small>担</small>
同 三年	一一一〇	二一五	四三	一七〇	二七	二七
同 四年	九八八	二二八	五二	一六六	三六	三六

▲飼牛馬組合ノ設置 本村ハ耕地ノ狀態カ畜力ヲ利用スルコト尠ナキ爲畜産獎勵ハ等閑ニ附セラレタルヲ以テ獎勵機關ヲ設クルノ必要ヲ認メ明治四十二年農會指導ノ下ニ飼牛馬組合ヲ設ケ種牡牛ヲ購入シテ生産繁殖ヲ圖リ次第ニ好果ヲ收メツツアリ

▲養蠶組合ノ設置 明治三十三年蠶種共同購入ヲ爲スト共ニ技術員ヲ雇入レ大ニ獎勵スルトコロアリシモ振ハサリシヲ以テ明治三十六年更ニ桑園ノ増殖改良ヲ獎勵シ同三十九年ヨリ毎年種蠶共同飼育ヲ爲サシメ一面技術員ヲ聘シテ之カ指導ニ當ラシムルト共ニ養蠶組合ヲ組織セシメテ蠶業ノ改良發達ニ資セリ組合規約ノ要項ヲ摘録セハ左ノ如シ

- 一 蠶種ノ共同購入及共同貯蔵ヲ爲スコト
 - 一 蠶室ハ毎朝消毒ヲ爲スコト
 - 一 蠶種ハ悉ク共同催青場ニ於テ發生セシメ共同飼育ヲ爲スコト
 - 一 收購ハ全部共同販賣ニ付スルコト
 - 一 組合ハ農會長ノ監督ヲ受クルコト
- 而シテ組合ハ其ノ字ノ養蠶家十分ノ八以上ノ人員ヲ以テ組織シ前項ヲ具備スル組合ニハ本會ヨリ獎勵金ヲ交付スルコトトセリ現今ニテハ村内各大字共悉ク本組合ヲ組織シ且各組合トモ種蠶共同飼育場ヲ設置シテ共同催青、共同飼育等ヲ行ヒ蠶業頓ニ發展スルニ至レリ更ニ本會ニ於テハ其ノ指導ヲ全カラシメムカ爲明治四十三年ヨリ蠶業ニ關スル常置

技術員一名ヲ置キ其ノ統一ヲ圖リ尙養蠶期中技術員三名ヲ雇入レ各擔當區域ヲ巡視指導セシメツツアリ

▲生繭乾燥場ノ設置 養蠶業ノ發展ニ伴ヒ生繭販賣ノ方法手段ヲ充分ニ講セサレハ折角ノ良繭モ其ノ時機ヲ失シ奸商ノ乘スルノ不利アリ之カ爲明治四十一年生繭乾燥場ヲ設置シ一般當業者ニ利便ヲ與ヘツツアリ

▲模範桑園ノ設置 桑園ノ改良ハ養蠶獎勵上須要ノ問題ナルヲ以テ當業者ノ參考ニ資セムカ爲明治四十一年適當ノ地一反歩ヲ選定シ爾後次第ニ面積ヲ増加シ現今ニテハ村内ニ設置箇所六箇所反別一町四反歩ヲ算スルニ至レリ

▲種蠶共同飼育場ノ建設 明治四十一年種蠶共同飼育ヲ各部落ニ開始スルヤ適當ノ場所ナカリシヲ以テ民屋ヲ借受ケ之ニ充テタルモ漸次飼育數量ノ増加ニ伴ヒ狹隘ヲ告ケタルヲ以テ飼育場建設ノ必要ヲ認メ明治四十三年ヨリ順次建設シ現今各部落ニ新築ヲ見ルニ至レリ而シテ其ノ使用ノ方法ハ冬期ハ米穀検査場ニ充テ養蠶期ハ共同飼育場ニ充用セリ

▲巡回講話ノ實行 本村ハ九部落ニ分レ面積廣汎ナル爲施設及改良事項ノ趣旨徹底セサルヤノ懸念アルヲ以テ毎年三月村長、助役、本會長、學校長、技術員等各部落ニ出張シ部落民ヲ集メテ夫々擔任セル事項ニ付前年ノ成績及其ノ時期ニ於ケル方針及計劃ヲ示シ尙一般ヨリノ希望ヲ聴取シテ事業經營上ノ參考トシテ意思ノ疎通ヲ圖リ本會ノ趣旨ヲ徹底セシムルコトニ努メツツアリ

▲製炭組合ノ設置 本村ハ製炭ノ生産尠ナカラサルモ年々粗製ニ流レ販路次第ニ縮少シ之ヲ放任スルトキハ自滅ノ外ナキヲ以テ之カ振興ヲ圖ル爲明治三十三年本會ノ事業トシテ製炭組合ヲ組織シ本會長監督ノ下ニ品質ノ改善ヲ行ハシムルト共ニ一面金融ノ便ヲ講シ製品ノ検査ヲ嚴重ニシタル結果信用恢復シ現今ニ於テハ一箇年九萬貫内外ノ産額ヲ見ルニ至リ京阪地方ヘ搬出シツツアリ

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲肥料改良ノ獎勵 本村慣用肥料中ノ主ナルモノハ積土堆肥ニシテ之カ製造ノ方法ハ毎年八月ノ交ニ山邊ノ風化作用ヲ受ケタル土壤ヲ所有耕地ノ所々ニ堆積シ翌年耕作ノ際田面ニ散布スルモノニシテ一反歩當約一千五百貫乃至二千貫

ニ達ス然トモ其ノ堆積方法粗放ニシテ降雨ノ際肥料成分ヲ散逸セシムルコト少ナカラサルヲ以テ之カ改良方法トシテ堆肥含奨勵規程ヲ設ケ完全ナル堆肥含普及ヲ圖リ露地ニ堆積セルモノニ對シテハ適當ナル雨覆ヲ爲サシムルト同時ニ嫩技生草ノ類ヲ其ノ儘ニ使用スルヲ禁シ肥土ト共ニ堆積セシメ堆積方法ノ完全ナルモノニ對シ一箇所五圓以内ノ奨勵金ヲ交付シ堆積肥土ノ肥効ヲ一層有効ナラシムコトヲ期シツツアリ

農會ト各種團體トノ聯絡

(一) 産業組合 本村ノ産業組合ハ改元記念トシテ組織セルモノニ係リ部落民悉ク組合員ニシテ事業ノ經營ニ就テハ常ニ本會ト聯絡ヲ保チ肥料ノ購入ヲ初メトシ生産物ノ販賣等ニ至ル迄本會役員技術員等之カ取纏斡旋ヲ爲シ相互ノ發展ヲ企圖シツツアリ

小津村農會

野洲郡小津村(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ西南端ニ位シ野洲平野ノ一部ヲ占メ一面ハ琵琶湖ニ瀕ス耕地面積田三百八十二町一反步畑二十三町六反步アリ戸數四百九十七戸人口二千七百五十人、耕地反別一戸當八反二畝歩住民ノ大部分ハ農業ヲ營ミ副業トシテ養鶏、養蠶ヲ爲スモノアルモ極メテ僅少ナリ

會員數 七百五十一名

事業ノ施行機關

(一) 役職員 會長ハ村長副會長ハ助役ニシテ執レモ農事ニ熱心ナリ幹事二名中一名ハ收入役兼青年會長タリ一名ハ役場書記ニシテ軍人會長及消防組頭ヲ兼ス評議員三名ハ篤農家ナリ技術員ハ甲種農學校卒業生ニシテ小學校農業科及青年夜學會教師ヲ兼務ス書記ハ村吏員之ヲ兼務セリ

- (一) 總會 通常總會ハ毎年二月之ヲ開キ臨時總會ヲ六七月ノ頃ニ開催シ本會經費其ノ他必要ナル事項ヲ議定ス
- (二) 補助的設備 部内七大字ニ分區委員ヲ置キ諸般ノ事務ヲ掌理ス執レモ當該區長之ヲ兼務セリ
- 經費**
- (一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	七四一四八〇	補縣助費	—	補郡助費	—	補村助費	—	補上級農會助費	九、〇〇〇	計	九八、〇〇〇	其ノ他	—	合計	八五〇、八六四
繰越金	七九四四	補縣助費	—	補郡助費	—	補村助費	—	補上級農會助費	—	計	—	其ノ他	—	合計	—

(二) 同上 支出決算額

事務所費	八六八九九	會議費	八九三〇	對上級農會ニ對スル負擔金	三、八〇五〇	事業費	四〇六、八五〇	其ノ他	五、〇〇〇	合計	八二六、七三九
------	-------	-----	------	--------------	--------	-----	---------	-----	-------	----	---------

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ之ヲ會員割ト反別割ニ分チ會員割ハ會員一人ニ付金拾錢反別割ハ所有反別一反步毎ニ金拾六錢貳厘執レモ四月九月ノ二期ニ分チ每期其ノ月ノ一日現在ニ依リ各二分ノ一ヲ徵收ス納付成績ハ極メテ良好ニシテ未タ滞納者ヲ出シタルコトナシ

基本財産 現在高金貳拾七圓

金貳拾圓ハ勸業債券及貯蓄債券トシテ保管ス基本財産ノ積立方法ハ別ニ之ヲ規定ス

事業成績

(一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績

滋賀縣

過去ニ於テ施設シタル事業ハ今尙繼續施行セルカ故ニ特ニ記スヘキモノナシ

二) 現時ノ事業成績

▲共同苗代ノ經營 本村ノ共同苗代ハ成績優良ナルヲ以テ明治四十年縣農會主催第一回苗代品評會開設以來毎回一等ノ成績ヲ得ツツアリ共同苗代ニ依リテ得タル利益ヲ舉クレハ左ノ如シ

イ 苗代ニ附屬スル畦畔道路灌排水溝等ノ地積ヲ減少シタルコト

ロ 農家ノ勞費ヲ節約シ得タルコト

ハ 品種ノ統一上利便ヲ與ヘタルコト

ニ 協同心ヲ養成シ子弟ヲシテ舉村一致ノ基礎觀念ヲ涵養シタルコト

▲技術員ノ設置 大正元年四月技術員ヲ設置シ農事改良ノ指導ニ當ラシメ施肥法ノ普及、病蟲害ノ豫防、品種ノ改良等大ニ見ルヘキモノアルニ至レリ

▲短期農事講習會開催 明治四十四年以來回ヲ重ヌルコト三回毎回七日間開催シ講師ハ郡農會又ハ農事試驗場ノ技術者等ヲ聘シ主トシテ農事改良ニ關スル必要ナル學科ヲ授ク毎回講習生四十餘名アリテ成績良好ナリ

▲懇談會ノ開催 農業上ノ智識ノ普及ヲ圖リ會員相互ノ意志ヲ疎通シ農事改良上諸般ノ打合ヲ爲ス爲毎年各大字ニ於テ農事懇談會ヲ開催シ會員ノ質問ニ答ヘ専ラ技術上ノ指導ヲ爲シツツアリ

▲深耕品評會ノ開催 深耕ヲ獎勵シ地力ノ増進ヲ圖リ併セテ冬作ノ栽培法ヲ改良スル爲明治四十三年以來深耕品評會ヲ開催シ毎年作地全部ニ付審査シ成績優秀ナルモノ四十五名内外ヲ表彰シツツアリ

▲畜牛品評會ノ開催 耕牛ノ體格向上ヲ圖リ深耕ニ堪ヘシメ併セテ飼育管理法ノ改良ヲ企圖スル爲明治四十二年ヨリ十箇年間ノ繼續事業トシテ毎年畜牛品評會ヲ開催シ大正四年ヲ以テ七回ニ及ヘリ其ノ成績大正四年ニ於テハ出品二百三頭ニ上リ優秀ナルモノ三十八頭ヲ選抜授賞セリ本品評會ニ依リ飼育管理法ハ著シク改良セラレ從來劣惡ナル耕牛ハ全ク跡ヲ絶ツニ至レリ

▲既肥品評會ノ開催 既肥ヲ獎勵シ自給肥料ヲ潤澤ナラシムル爲第一期ハ明治四十年ヨリ三箇年間第二期ハ大正二年ヨリ毎年之ヲ開催セリ大正四年ニ於テハ既舍三百二十二點中優良ノモノ六十一點ニ授賞セリ本品評會ハ稻作立毛及深耕品評會ト相俟テ大ニ其ノ効果ヲ發揚シ著シク進歩ヲ見ルニ至レリ

▲俵米品評會ノ開催 産米及俵裝ノ改良ヲ圖ル爲明治四十四年以來毎年一回乃至二回之ヲ開キ第八回ヲ算スルニ至レリ大正四年ニ於テハ二月及五月ノ二回開催シ二月ノ際ハ出品點數二百三十六點中五十點ヲ、五月ノ際ハ二百點中二十三點ヲ選抜授賞セリ

▲稻作立毛品評會ノ開催 稻栽培法ノ改良發達ヲ圖ル爲明治四十三年以來毎年之ヲ開キ大正四年ヲ以テ第六回ニ及ヘリ大正四年出品人數四百二十七人中七十五人ヲ選抜表彰シ優賞旗ヲ耕地ニ樹テシメタリ初メ劣等旗ヲ作り成績不良ノモノニ交付セシモ回ヲ重ヌルニ從ヒ漸次優劣ノ差ヲ減少シ輒近劣等旗ノ交付ヲ受クルカ如キ農家ハ之ヲ見ル能ハサルニ至レリ

▲養蠶ノ獎勵 本村ハ米麥作專農ノ土地ナリト雖婦女子ノ副業トシテ小規模ノ栽桑養蠶ヲ獎勵スル爲三尺以上ノ畦畔ヲ利用シテ桑樹ヲ栽培スルモノニハ毎年桑苗及蠶種ノ無償配布ヲ爲シ栽培飼育共ニ技術員ヲシテ指導セシメツツアリ從來配付シタル桑苗一萬四千二百餘本蠶種三千五百蛾ニ達ス

▲採種田ノ設置 純系分離法ニ依リ本村ノ風土ニ適應シタル優良品種ヲ得テ之ヲ農家ニ配布スル爲明治四十三年本村十年計劃制定ト同時ニ採種田ヲ經營シ大正三年ヨリハ其ノ全部ヲ一本植ト爲シ品種ノ特性ヲ精査シ翌年ノ採種田用及配布用ニ供シツツアリ而シテ大正三年ニ設置シタル反別ハ五反配布量五石二斗大正四年ハ四反歩三石一斗ニ及ヘリ
▲肥料ノ共同配合ノ獎勵 從來ノ販賣肥料ハ其ノ含有成分ニ比シ價格甚タ不廉ナルヲ以テ大正元年以來原料ヲ購入シ共同配合ヲ爲セシカ當初ハ肥効ヲ疑ヒ申込者僅少ニシテ年二十畝内外ニ過キサリシモ漸次其ノ經濟的ナルヲ知リ大正四年ニ於テハ三百畝餘ニ達セリ之ヲ販賣肥料ノ同成分ノモノニ比スレハ一畝ニ付六拾錢餘ノ安價ニ供給シ得タリ

▲米●麥●蠶●臺●ノ●施●肥●改●良● 經濟的合理的ノ施肥ヲ行ハシメム爲大正元年以來技術員ヲシテ各字毎ニ標準設計ヲ立テシメ掲示場ニ公示シ且村報ニ掲載スルト共ニ一方農家個々ノ現狀ニ基キテ設計書ヲ作り之ヲ交付スル等ノ手段ヲ採リツツアリ

▲病●蟲●害●驅●除●豫●防●ノ●獎●勵● 麥ノ黑穗菌ヲ撲滅スル爲大正元年以來冷水溫湯浸法ヲ施行シ毎年好成績ヲ收メツツアリ其ノ他瓜類露菌病ノ撲滅、蔬菜類蚜蟲ノ驅除等ヲ實行シテ良好ノ成績ヲ擧ケツツアリ尙稻ノ害蟲驅除ニ關シテハ終始注意ヲ怠ルコトナシ

▲農●事●視●察●員●ノ●派●遣● 會員ノ農事思想ヲ向上セシメ見聞ヲ汎クセシムル爲毎年會員中精農者二十名内外ヲ選抜シ農會技術員ヲシテ引率セシメ縣農事試驗場ヲ視察セシメツツアリ

▲種●苗●交●換● 優良ナル品種ヲ普及セシムル爲本會ノ斡旋ニ依リ米、麥、蠶臺、紫雲英等ノ種子、桑苗、蠶種等ヲ本場ヨリ購入シ之ヲ一般當業者ニ配布シ以テ當業者ヲ裨益シツツアリ

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 産業組合 産業組合ニ於テ肥料ヲ購入スル場合ニハ農會技術員ヲシテ立會ハンメ鑑定ヲ與ヘ組合員ニ販賣ノ際モ技術員ハ施肥法ヲ指導スル傍ラ之ヲ斡旋シツツアリ本會ニ於テ俵米品評會ヲ開催シタル後ハ該出品米ハ産業組合ヲシテ競賣ニ付セシメツツアリ
- (二) 農友會 村農友會ニ對シ毎年金拾圓宛ヲ補助シ試作田品評會視察等ノ諸事業ヲ後援シツツアリ
- (三) 婦人農會 婦人農會ハ商品評會、談話會等ヲ事業ト爲ス毎年拾圓宛ヲ補助シテ之ヲ後援シツツアリ
- (四) 青年會 青年會ノ事業トシテ開催スル實業夜學會ノ講師ハ本會技術員ヲ以テ之ニ充テ會員各自ノ經營スル應用田ハ技術員專ラ之ヲ指導シツツアリ

豐 郷 村 農 會

大上郡豐郷村(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ南部ニ位シ耕地面積田三百二十一町步畑二十町步アリ總戸數六百四十戸人口三千五百八十九人、住民ノ約七割ハ農ヲ業トシ養蠶、麻布ノ賃織、桑細工等ヲ副業トス

會 員 數 五百八十名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ本村名譽職ニ在ル有力者ニシテ殊ニ蠶業ニ熱心ナリ副會長ハ村内篤農家ニシテ幹事一名評議員七名ハ村會議員又ハ區長等ノ村内有力者ナリ技術員ハ甲種農學校卒業生ニシテ明治四十五年四月就任シ小學校農業教員及村役場勸業掛ヲ兼務ス
- (二) 總會 毎年二月、九月ノ二回之ヲ開ク出席者ハ每會總會員ノ八九割以上ニ達スルヲ例トス議事終了後農事試驗場、郡農會、縣農會等ノ技術員ヲ聘シ農事ニ關スル講演會ヲ開キ且會員各自胸襟ヲ開キ農事改良等ヲ研究討論シ談笑ノ裡ニ閉會ス

經 費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會 費	補 助 金	補 助 費	補 助 費	補 助 費	補 助 費	計	其ノ他	合 計
四六・三五	五〇七・八四	一	一	六〇・〇〇	一〇・〇〇	一六・〇〇	四・一〇	六九・一六

(二) 同上 支出決算額

滋 賀 縣

事務所費	會議費	上級農會ニ對スル負擔金	事業費	其ノ他	合計
一五五〇四〇		二〇九〇八七	三三七二七〇		六九二五九七

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ會員割(一等、二等、三等ニ區分ス)耕地地價割トシ其ノ率ハ毎年度豫算ヲ以テ之ヲ定メ會費ハ六月告知書ヲ發シテ徵收ス會費ノ滯納者ナシ

事業成績

(一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績

- ▲耕地障害木ノ整理 本村ハ從來耕地ノ畦畔ニ植樹ヲ爲スモノ多ク作物ヲ害スルコト少ナカラサルヲ以テ明治三十五年之カ整理ニ着手セシカ明治四十二年縣令ヲ以テ耕地障害木取締規則ヲ發布セラレ障害木ノ皆伐ヲ見ルニ至リ當初ノ目的ヲ達スルヲ得タリト雖尙耕地ノ所々ニ原野又ハ山林ノ地目ヲ以テ樹木ノ林立セル小地域アリテ作物ヲ害スルニ依リ大正元年之カ整理規約ヲ設ケ耕地ノ中央ニ在ル一圃地五畝歩未滿ノ山林原野ハ大正三年中ニ開墾ヲ爲シ又畑、宅地及原野等ノ樹木ニシテ境界ヨリ突出シ耕地ニ被害ヲ及スモノハ大正二年中ニ伐採スルコトニ定メ之カ勵行ヲ爲シテ被害ヲ除去スルコトヲ得タリ
- ▲技術員ノ設置 農事改良ヲ圖ル爲明治四十五年農業技術員ヲ設置シ各部落ヲ巡回シテ專ラ實地ノ指導ニ任セシメツツアリ當初ハ當業者ニ於テ指導事項ヲ信セサルモノ多ク比較的實績擧ラサリシモ年ヲ經ルニ從ヒ改良事項ノ一般ニ行ハルルニ至リ頗ル好成绩ヲ收ムルニ至レリ
- ▲野鼠驅除 大正三年三月本村耕地全部ニ施行ス此ノ反別田二百九十七町九反歩畑二十一町一反歩ニシテ蕎麥粉九十一貫ヲ使用セリ
- ▲鹽水選ノ勵行 共同苗代設置以來稻種子鹽水選ヲ勵行シ今ヤ一般ニ普及スルニ至レリ

(二) 現時ノ事業成績

- ▲米麥作實地指導 主要作物タル米麥作ノ實地指導ヲ爲ス爲農事講習生又ハ篤農家ヲ選ヒ實地指導地ノ耕作人ト一反歩内外ノ耕地トヲ選定シ完全ナル設計ヲ與ヘ實地ノ指導ヲ爲シツツアルニ成績頗ル良好ナルヲ以テ逐年増加スル見込ナリ大正四年ニ於ケル實地指導地ハ米作十二箇所麥作五箇所ナリ
- ▲深耕ノ獎勵 本村ニ於テハ從來淺耕ニシテ多收ヲ得ル能ハサルヲ以テ深耕ヲ獎勵スル爲福岡犁使用牛耕傳習會ヲ開設シ改良犁ノ使用ヲ練習セシメ犁ノ共同購入ヲ斡旋シテ之カ普及ヲ圖ル等大ニ深耕ノ獎勵ヲ爲シツツアリ
- ▲講習生ノ養成 郡農會ニ於テ毎年開設スル農事及蠶業講習會ノ出席者ヲ勸誘シ將來農業ニ従事スル思想確實ナル者ニハ相當補助金ヲ給與シ講習生ノ養成ニ努メツツアリ現在講習修得者百十一名ニ達セリ
- ▲講話會ノ開催 冬期農閑ヲ利用シテ各部落ニ於テ農事講習會ヲ開催シ各戸一人以上必ス出席セシメ以テ當業者ノ知識啓發ニ努メツツアリ
- ▲螟蟲卵塊及被害莖ノ買上獎勵 害蟲驅除豫防ノ爲苗代ニ於ケル螟蟲卵塊ノ買上ヲ毎年實行ス大正三年ニ於テ買上タル數六萬五千六百、一卵塊五毛トシ買上代金參拾貳圓八拾錢ナリ又螟蟲被害莖ノ採取ヲ獎勵シ同年ニ於テ被害莖ノ買上ヲ爲シタル數二千六百貫一貫ニ付貳錢此ノ買上代金五拾貳圓ナリ
- ▲冷水溫湯浸法ノ實行 麥黑穗菌ヲ撲滅スル爲大正四年ニ於テ冷水溫湯浸法ヲ實施セシカ其ノ效果顯著ナリシヲ以テ以後毎年之カ實行ヲ期セムトス
- ▲紫雲英菌核病ノ豫防 紫雲英菌核病ヲ豫防スル爲種子ノ水選ヲ實施セシカ其ノ結果良好ナルヲ以テ實行者シツツアリ漸次増加ス
- ▲蕎麥穀類ノ燻蒸 貯藏穀類ノ害蟲ヲ驅除スル爲大正三年ヨリ二硫化炭素ノ燻蒸ヲ獎勵シ今日迄施行箇所十八箇所ニ及ハリ
- ▲ホルドー液ノ散布 蔬菜瓜類ノ病毒、杉ノ赤枯病、稻及果樹ノ病毒豫防ノ爲大正元年ヨリ其ノ發生ノ都度之ヲ散布シ成

積良好ナルヲ以テ今ヤ一般ニ其ノ効果ヲ認メ瓜類ノ病害豫防トシテハ毎年之ヲ實行スルノ程度ニ至レリ大正四年ニ於ケル「ボルドー液」製造石數六石、藥品使用高十六ポンドニ達セリ

▲共同購入ノ斡旋 農家必需品ノ共同購入ヲ爲シテ一般ノ利益ヲ圖リツツアリ大正四年ニ於テ取扱タル物品ハ肥料大豆粕、過燐酸石灰、麥種子、蠶種、フオルマリソ、蔬菜種子、果樹苗木等ナリトス

▲果樹接木ノ實地指導 柿其ノ他果樹ノ品種改良ヲ獎勵スル爲大正元年ヨリ接木ノ實地指導ヲ爲シ從來成績不良ノ果樹ヲ漸次改良シツツアリ大正四年柿四百本、梅五十本ヲ接木セリ

▲印刷物ノ配布 當業者ヲ指導スル爲時々適切ナル印刷物ヲ配布シツツアリ大正四年ニ配布セシモノハ肥料ノ配合表、害蟲驅除豫防一覽表、稻作品評會審査申告書、螟蟲被害莖刈取ニ關スル注意事項等ナリ

▲副業ノ獎勵 農閑ノ副業トシテ苧織傳習生ノ養成ニ努メ苧織器、繩絢器二臺ヲ購入シ之カ獎勵ヲ爲シツツアリ

▲農事視察員ノ派遣 本會役員ヲシテ農事改良ニ資セシムル爲毎年一回農事試驗場、農學校及模範村其ノ他農事先進地方ヲ視察セシメツツアリ

▲稻作品評會ノ開催 本村ハ水利ノ便惡シク用水不足ノ爲數日ノ旱天ニモ井水ノ汲上ヲ要シ旱天數十日間ニ及フ時ハ田面龜裂シ稻苗枯死シ甚シキハ收穫皆無ノ慘狀ヲ呈スルコト尠ナカラサリキ然ルニ明治四十三年始メテ揚水機ヲ設置シ地下水ヲ利用シテ灌溉ノ便ヲ開キタル以來全ク旱害ヲ免ルルヲ得ルニ至レリ爾來諸般ノ改良ニ努力シ稻作ノ多收ヲ期セムカ爲昨大正四年本品評會ヲ開催セシカ一般農事思想著シク發達セシ結果頗ル優良ナル成績ヲ收メタリ即チ出品點數五百七十二點受賞者數九十一人ニ及ヒタリ

農會ト各種團體トノ聯絡

(一) 青年夜學會 本會ハ常ニ青年夜學會ト聯絡ヲ取り時々農蠶業ニ關スル講話會ヲ開催セシメ又一面青年會ニ試作場ノ設置ヲ獎勵シ之カ設計指導等ヲ爲シツツアリ

(二) 進農會 本村大字四十九院財團法人四十九院進本會ト聯絡ヲ取り本會ニ於テ獎勵スル事項ハ進農會之ヲ實施スル等斯業ノ改良發達ニ努メツツアリ

(三) 產業組合 本村厚生社信用組合ハ事業大ニ發達シ模範組合タリ本會之ト聯絡シ相扶ケテ彼我事業ノ進展ヲ圖リツツアリ

(四) 近江米同業組合 本會ハ同業組合ト聯絡ヲ取り穀ノ乾燥調製及品種ノ改良、小作米品評會等ニ援助ヲ與ハツツアリ

(五) 耕地整理組合 本村耕地整理組合ノ施設事業ヲ援助シ着々事業ヲ進行セシメツツアリ

長野縣

中鹽田村農會

小縣郡中鹽田村(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ中央部ヨリ稍ヤ西方ニ位シ面積〇・五七方里概シテ平坦地ニシテ人口五千三百十九人耕地面積田二百九十九町步、畑三百一町步アリ農家九百戸住民ハ殆ト農ヲ業トス而シテ輓近副業タリシ養蠶業勃興シ其ノ收入金額米麥作ノ收入金額ヨリ遙ニ上位ヲ占ムルニ至レリ農閑ノ副業トシテハ屑繭整理ヲ爲シ生絲絹織物其ノ他藻細工製品ノ生産アリ

會員數 八百餘名

事業ノ施行機關

(一) 役職員 會長副會長ハ共ニ村内ノ有力者ニシテ評議員七名アリ技術員ハ甲種程度小縣蠶業學校卒業生ニシテ大正三年ヨリ就職シ役場書記ヲ兼任ス

- (一) 總會 每年一回開催シ議事終了後ニ於テハ郡農會技手、縣農會技師等ヲ聘シテ講演會ヲ開キ又ハ本會技術員ノ試作場成績或ハ農蠶上ノ注意事項等ノ説明ヲ爲サシム
- (二) 補助的設備 本會ハ各部落毎ニ農事委員長一名宛ヲ選任シ更ニ農事委員長ノ下ニ十戸ニ付一名宛ノ農事委員計八十名ヲ設置シ事業施行ニ付實行督勵ニ當ラシム

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	1,370.00	補縣助費	1,350.00	補助郡助費	3,600.00	補助村助費	19,000.00	補助上級農會助費	8,260.00	計	29,620.00	其ノ他	2,833.33	合計	65,953.33
----	----------	------	----------	-------	----------	-------	-----------	----------	----------	---	-----------	-----	----------	----	-----------

(二) 同上 支出決算額

事務所費	30,170.00	會議費	9,018.00	對上級農會ニ對スル負擔金	44,330.00	事業費	5,100.00	其ノ他	5,100.00	合計	61,578.00
------	-----------	-----	----------	--------------	-----------	-----	----------	-----	----------	----	-----------

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ村稅戶別割等級ニ準シ之ヲ四等級ニ分テ每年九月三十日限り各部落農事委員長之ヲ徵收シ未タ缺損額ト看做スヘキモノナシ

基本財産 現在高金參百拾壹圓

右ハ銀行定期預金トシテ保管シ其ノ積立方法ハ毎年總經費ノ百分ノ五以上ヲ蓄積ス

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
 - ▲馬耕競犁會ノ開催 耕地ヲ漸次深耕スルハ地力ヲ増進スルモノナルカ故ニ馬耕ヲ獎勵シ其ノ技術ノ改良普及ヲ圖ラムカ爲明治三十六年該會ヲ開設シタリ爾來馬耕ノ獎勵ヲ爲セシ結果稻田ヲ馬耕スルモノ大ニ増加セリ
 - ▲肥料共同購入ノ實施 明治三十九年春季本會カ直接東京ノ肥料商ヨリ硫酸安母尼亞三千三百四十貫餘及過燐酸石灰干八百十五貫餘ヲ共同購入セリ而シテ其ノ購入肥料ノ良否ヲ縣技手ノ出張ヲ請フテ鑑定ヲ求メ又西ヶ原農事試驗場ニ定量分析ヲ請ヒタリシニ其ノ結果佳良ニシテ之カ肥効實績亦佳良ナリキ而シテ本會カ購入セル肥料ハ其ノ額少カリシト雖直接東京ニ於ケル肥料商ヨリ共同購入セル結果利益ヲ獲得セルハ勿論之カ爲地方ニ於テ高利ヲ貪ル肥料商ニ大打撃ヲ加ヘ人造肥料ヲシテ相當ノ市價ニ低落セシメタルヲ以テ間接ニ一般農業者ニシテ人造肥料ヲ購入スルモノノ受ケタル利益蓋シ甚大ナリトス是等事業カ動機トナリ有限責任中鹽田購買組合ノ設置ヲ見ルニ至レリ
 - ▲人造肥料施用上ノ指導 本會ハ常ニ人造肥料購入者ニ對シテハ其ノ配合肥料ヲ購入セムヨリモ硫酸安母尼亞及過燐酸石灰ヲ購入シ各自適宜ニ配合シテ施用スルノ有利ナルコトヲ唱道シ時々數字ヲ以テ其ノ得失ヲ示シタルカ故ニ現今ハ配合人造肥料ヲ購入スルモノ稀ニシテ人造肥料購入者ハ殆ト全部硫酸安母尼亞過燐酸石灰ヲ購入シ各自適當ニ分量ヲ配合シテ施肥スルニ至レリ之カ爲農業者ヲ利セシ所尠カラス
 - ▲飢饉救助義捐募集 青森縣飢饉凶災救助ノ爲本會ハ明治三十六年本村有志者ノ義捐金ヲ募集シ其ノ金額六拾參圓七拾錢ヲ同縣罹災者救助ノ爲發送セリ
- (二) 現時ノ事業成績
 - ▲技術員ノ設置 大正元年ヨリ技術員ヲ設置シ試作場ノ管理及各部落ヲ巡回シ實地指導ノ任ニ當ラシメツツアリ該事業ハ未タ其ノ日淺シト雖農事ノ改良上裨益スル所大ナリ
 - ▲蠶業講習會及農事講習會ノ開催 明治三十八年以來農閑ノ期ニ於テ短期講習會ヲ開催シ農蠶業上ノ學術技藝ヲ教授シ

以テ當業者ノ智識啓發ニ努メ居レリ

▲**機業講習會ノ開催** 古來當地方ハ上田織物ノ名産地ナリシカ逐年衰頹シテ其ノ産額減少シ加之自家用織物スラ購入スルモノ年々多キヲ加フルノ傾向ヲ示セリ而シテ之カ原因ハ種々アルヘシト雖要スルニ作業上更ニ改良進步ノ實蹟ナク從ツテ生産費多額トナリシ等其ノ主因ナルヲ以テ本會ハ農家ノ副業獎勵ノ爲上田織物同業組合ノ織物講習會ヲ本村ニ開催セラレル場合ハ可及的多數ノ講習生ヲ勸誘シ又本會主催シテ之ヲ開催シ其ノ改良進步ヲ圖リシ結果在來法ニ比シ大ニ其ノ製造工程ヲ改良シタルノミナラス其ノ製品ニ於テモ在來品ニ比シ優レルカ故ニ該改良法ニ依ルモノ漸次大ニ増加セルノ狀況トナレリ

▲**眞綿講習會ノ開催** 眞綿ノ製造改良ヲ圖リ斯業ヲシテ本村農家ノ副業タラシメムト欲シ大正二年ヨリ開催セシ結果製造技術ノ改良進步ノ實績看ル可キモノアルカ故ニ今後毎年開設シ其ノ目的ヲ達セムトス

▲**鎌庖丁共同購入ノ斡旋** 農具中比較的年年多數ノ新調ヲ要スル鎌ニ付精良品ヲ低價ニ購入セムカ爲明治三十九年以來本會事業トシテ本縣上水内郡柏原信濃物産販賣組合ヨリ直接購入ヲ爲シツツアリ之ヲ實地ニ使用スルニ各自カ小賣商人ヨリ購入セシ鎌ニ比シ品質佳良ニシテ其ノ價格モ普通市價ニ比シ一二割低廉ナルヲ以テ當業者ヲ益セシ所尠カラス偶々本事業カ動機トナリ明治四十年ニ於テハ本郡郡農會ノ勸獎ニ依リ郡内ニ於テ村農會又ハ部落或ハ購買組合ノ事業トシテ共同購入ヲ爲セシモノ大ニ其ノ數ヲ増加セリ

▲**各種共同購入ノ斡旋** 稻種子、紫雲英種子、玉絲製造用座繰器械器具、織物製造用器具器械、選種用食鹽等ノ共同購入ヲ爲シツツアリ

▲**肥料石灰ノ共同購入ノ斡旋** 本村耕地各所ニ涉リ土壤ヲ調査セルニ其ノ大部分ハ殆ト酸性反應ヲ呈シ一面自給肥料獎勵ノ結果雜草、菜稈、堆肥ノ如キ有機質肥料ヲ施用スルモノ漸次増加スルニ至リシヲ以テ是等施用者ノ爲有機質ノ分解ヲ速進セシメ又此ニ因ツテ起ル種々ナル有害ヲ除カン爲肥料用石灰ノ共同購入ヲ爲セリ大正四年ノ取扱數量四百三十一俵ニ達セリ

▲**鹽水選ノ督勵**

明治三十二年以來稻種子鹽水選ノ必要ヲ説キ當業者ヲ指導シ之カ實行ヲ督勵シ翌年ヨリ本會事業トシテ各部落ニ一箇所又ハ數箇所ノ共同鹽水選所ヲ設ケ期日ヲ定メ本會役員指導監督ノ下ニ種子ノ鹽水選ヲ行ヒタリ爾來年々繼續之カ實行ニ努メタルヲ以テ數年前ヨリ全村稻種子鹽水選ヲ爲ササルモノナキニ至レリ

▲**稻麥ノ早刈獎勵** 稻麥ノ早刈ハ次期ノ成熟期ヲ速進セシムルコト本縣農事試驗場成績ニ徵シテ明ナリ依リテ當業者ニ之カ獎勵ヲ爲セルニ漸次早刈ヲ爲スモノ多キニ至レリ

▲**稻麥種子ノ交換** 本會ハ常ニ其ノ交換利益アル事ヲ説キ優良ノ品種ハ之ヲ當業者ニ紹介シ且稻ハ本會ニ於テ試作シ其ノ成績ヲ明カニシ之ヲ會員ニ報告シ或ハ良種ノ交換ヲ勸誘セリ殊ニ本郡農會ニ於テ採種田及麥調查會設置セラレテ以來上級農會ノ指導ヲ得テ一層之カ實行ヲ圖リ近來稻品種ノ統一ヲ見ルニ至レリ

▲**稻苗代ノ改良獎勵** 本會ハ本村古來ノ平苗代厚蒔深水ノ法ヲ改メ凡テ幅四尺高サ三寸溝八寸ノ短冊苗代トシ種子ハ一坪五合乃至六合蒔トナシ之カ普及ヲ圖ラムト欲シ明治三十四年以來實行ニ着手シ漸次改良ノ域ニ進ミ明治三十八年頃ニハ大多數ハ短冊苗代ニ改メタリ仍テ明治三十八年四月本會役員總會ノ決議ニ依リ翌明治三十九年ヨリ全村共同苗代ト爲サムコトヲ期シタルニ偶々同年九月縣令第三十號ヲ以テ共同苗代設置ヲ獎勵セラレタルニ因リ容易ニ其ノ實行ヲ看ルヲ得明治三十九年ニ於テハ本村九部落中特殊ノ事情アル一部落ヲ除クノ外短冊形苗代ト爲シタリ在來法ニ比シ薄蒔ヲ行ヒ各所ノ苗代ニハ管理人ヲ置キ害鳥蟲ノ豫防驅除其ノ他灌漑水等總テ苗代ニ關スル事項ヲ處理セシム近年ハ折衷苗代ノ有利ナルヲ認メタルヲ以テ之カ獎勵ニ努メツツアリ共同苗代ハ害鳥蟲ノ豫防驅除其ノ他總テノ管理上尤モ利便ニシテ且各自改良上ノ競争心ヲ喚起シ苗代ノ改良發達ヲ速進スルノ實況ナリ

▲**稻ノ密植獎勵** 稻ノ密植ハ收穫上有利ナルヲ以テ之カ實行ヲ勸誘シ立毛品評會等ニ於テモ植付ケノ粗密ニ留意シテ付

點シ専ラ之カ獎勵ヲ圖リシ結果密植スルモノ年々増加セリ尙今後モ當業者ヲシテ實行セシムルノ計劃ナリ其ノ他稻作栽培上ニ關シ注意ヲ要スヘキ事項ニ付テハ技術員巡回シテ實地指導ヲ爲シツツアリ

▲糞處理ノ獎勵 從來糞糞ハ直ニ田畑ニ散布セルカ故ニ其ノ肥効ヲ逸スル事多大ナリシヲ以テ之カ處理法トシテ過燐酸石灰ヲ混入シテ堆積スルノ有利ニシテ又勞力ノ上ニ於テモ經濟的ナルヲ唱道セシヲ以テ之カ實行ヲ爲スモノ増加セリ

▲綠肥栽培ノ獎勵 本會ハ常ニ之カ實行ヲ期シ年々紫雲英種子ノ共同購入ヲ爲シ當業者ニ栽培ヲ獎勵セシニ實績ノ見ルヘキモノアルニ至レリ苜蓿ノ栽培等モ獎勵セシ結果畦畔等ニ栽培スルモノ年々増加シツツアリ又本會試作場ニ於テモ

綠肥栽培ヲ爲シ其ノ成績普及ニ努メツツアリ

▲稻作病蟲害驅除豫防ノ勵行 技術員巡回シテ農事委員長及農事委員苗代管理人等ト協力シ苗代竝本田等ニ就キ勵行セシメツツアリ

▲麥ノ病害豫防ノ督勵 黒奴豫防ハ各部落毎ニ農事委員長監督ノ下ニ冷水温湯浸法及拔穗ヲ行ヒ其ノ他病毒等ニ付テハ技術員督勵ノ下ニ適宜實行セシメツツアリ

▲桑ノ病蟲害豫防驅除ノ督勵 尺蠖驅除ハ小學校ト協力シ四月ノ候ニ於テ放課後兒童ヲシテ捕獲セシメツツアリ其ノ他病蟲害驅除豫防ニ付テハ上級農會ノ指示セラレタル方法ニ因リ當業者ヲ指導シテ實行シツツアリ

▲蠶象蟲及殺象蟲驅除豫防ノ督勵 豌豆ノ蠶象蟲驅除豫防ハ各部落ニ於テ豌豆ヲ一箇所ニ集メ置キニ硫化炭素ヲ以テ共同驅除ヲ爲シ殺象蟲豫防ハ貯穀上必要ナルヲ認メ獎勵ノ結果之ヲ行フモノ多キニ至レリ

▲桑園ノ改良 近年養蠶業隆盛トナリ其ノ半面ニ於テ桑園著シク荒廢ヲ來シ養蠶經濟上實ニ憂フヘキ現象ヲ呈スルニ至レリ本會ハ桑園改良ノ主旨ヲ以テ強健ナル苗木ヲ各自育成セシムルト同時ニ蠶種類革新ノ機運ニ適應スル桑樹ノ良品種ノ普及ヲ圖ラムカ爲本年ヨリ苗樹接木講習會ヲ開キ亦三萬有餘ノ苗木ヲ會員ニ無代配布ヲ爲シ以テ桑園改良整理ノ

實ヲ舉ケン事ヲ期シツツアリ
▲精農家ノ表彰 農事ニ熱心勉勵シ當業者ノ模範タル篤農者ヲ表彰スルハ一般ニ良感化ヲ及ホスモノナルカ故ニ大正三年四月篤農家二名ヲ表彰セリ
▲揭示板ノ設置 大正四年ヨリ各部落樞要ナル箇所ニ揭示板ヲ設置シ時々農蠶上特ニ注意ヲ要スヘキ事項ヲ揭示シ以テ當業者ノ注意實行ヲ促スコトトセリ

(三) 特ニ成績顯著ナル事業
▲試作試驗ノ施行 本會試作試驗ハ明治三十二年ヨリ開始シ大正五年ニ至リ試驗ヲ累ルコト十七回稻作ニ付テハ第一回ヨリ第十七回迄繼續試驗ヲ行ヒ麥作ニ付テハ一回之ヲ行ヒ桑ニ付テハ十四回繼續試驗ヲ行ヒ毎年一回其ノ試驗成績ヲ印刷シ之ヲ會員ニ報告シ又ハ本郡各町村農會ニ寄贈セシコトアリ當業者ハ該試作成績ヲ參考トスルモノ比年多キヲ加フルニ至レリ

▲層絲講習會ノ開催 農家副業トシテ當地方ニ古來ヨリ行ハレタル層絲製絲ハ拙劣ナル方法ニシテ更ニ改良ヲ加ヘサルヲ以テ漸次衰頹ノ傾向トナリ多數生産セラルル玉繭ノ全部ハ他ノ地方ニ輸出セラレ延テ農家經濟上ニ至大ノ關係ヲ及ホスカ故ニ之カ改良發達ヲ圖ルノ必要ナルヲ認メ實地技術ヲ傳習スルノ目的ヲ以テ明治四十年以來毎年一回該講習會ヲ開設セリ其ノ結果在來法ニ比シ絲量多ク繰絲工程舉リ其ノ製品ニ於テモ大ニ在來法ニ比シ優リタルカ故ニ現今ニ於テハ該改良法普及スルニ至レリ

▲苗代及稻作立毛品評會ノ開催 明治三十五年以來繼續開催シ苗代ヨリ本田立毛及收穫ヲ通シテ審査品評シ優秀ナルモノニハ褒狀及賞品ヲ授與セリ該品評會開設ノ結果出品者ハ競争的ニ稻作ノ改良ニ努メ出品セサル一般農業者モ勢ヒ之ニ習ヒ大ニ當業者ノ獎勵トナリ稻作改良上裨益シタル所多シ

▲堆肥製造ノ獎勵 本會ハ上級農會ノ指導ヲ得テ常ニ堆肥製造及其ノ普及ヲ獎勵セシ結果之カ製造ニ從事スルモノ年々

増加スルノ傾向トナリシヲ以テ昨年ヨリ技術員巡回シテ實地指導ヲ爲シ専ラ速成堆肥製造ヲ督勵シツアリ

年次	種別	農家戸數		堆肥製造者		同上		割合
		戸數	〇	〇	〇	〇	〇	
大正二年		八〇〇	〇	二〇	〇			二五
同三年		八〇〇	〇	四〇	〇			五〇
同四年		八〇〇	〇	二〇	〇			二五

農會ト各種團體トノ聯絡

(一) 青年會 青年會トハ常ニ聯絡ヲ保チツツアリ即チ試作場ノ手入等ハ青年會又ハ青年會員ニ委託スル事トセリ野鼠驅除等ハ各區青年會ニ託シ施行シツツアリ殊ニ役員ノ多數ハ青年會員ナルヲ以テ自カラ本會ノ獎勵事項等ハ青年會ノ活動ニ俟ツ所頗ル多シナリ

福島縣

立子山村農會

伊達郡立子山村字竹ノ下(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ伊達郡ノ西南部ニ位シ面積約半方里村內至ル所小巒屹立シ耕地ハ丘陵ノ間ニ介在シ人口ハ二千四百三十餘人耕地面積田百〇二町二反歩畑二百十二町六反歩アリ農家戸數二百四十戸住民ハ殆ト農蠶業ニ従事ス副業ノ重ナルモノハ輸出羽二重、玉繭、製絲等ニシテ其ノ他竹細工製品、藁細工製品、薪炭等ノ生産アリ

會員數 二百四十名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村內中流ノ資産家ニシテ篤農家ナリ明治三十一年本會創立以來ノ役員ニシテ三十五年會長ニ就職以來尙現職ニ在リ副會長ハ村內ノ篤志家ニシテ之又本會多年ノ役員ナリ評議員ハ執レモ名譽職ヲ帶ヘル有爲ノ人物ニシテ德望家ナラサルナク指導員ハ村內屈指ノ老農ニシテ且郡農事督勵委員ノ職ニ在リ書記ハ村吏員之ヲ兼務ス
- (二) 總會 毎年二回開催ス出席會員ハ總會員ノ殆ト全部出席スルヲ例トス議事結了後ハ縣又ハ郡ノ農業技術員ヲ聘シテ講演會ヲ開キ且餘興トシテ福引其ノ他ヲ催シ談笑ノ裡ニ散會スルヲ例トス
- (三) 補助的設備 本村ハ便宜上六區域ニ分チ一區ニ對シ評議員一名、實行員二名宛ヲ置キ本會ノ必行事業ノ指導監督ヲ爲サシム

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	一六、〇五〇	繰越金	五九二	補助縣助費		補助郡助費		補助村助費		補助上級農會助費	四〇、〇〇〇	計	四二、〇〇〇	其ノ他	五四八〇	合計	二二、一三二
----	--------	-----	-----	-------	--	-------	--	-------	--	----------	--------	---	--------	-----	------	----	--------

(二) 同上 支出決算額

事務所費	六三三七	會議費		對上級農會ニ對スル負擔金	三三、〇〇〇	事業費	一〇、七五〇	其ノ他	二八一〇	合計	二二、一四七
------	------	-----	--	--------------	--------	-----	--------	-----	------	----	--------

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ田畑合計地價金四拾圓以上ヲ有スル者ヨリ之ヲ徵シ地價金拾圓ニ對シ金貳錢五厘或ハ

參錢ヲ賦課シ毎年七月一日現在ノ土地臺帳ニ準據シテ賦課シ七月三十日限り一時ニ徵收スルモノトス而シテ未タ一人ノ滯納者ナク從テ缺損ナシ徵收ノ方法ハ村稅ノ如ク告知書ヲ發シ之ヲ收入ス

事業成績

(一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績

- ▲講習講話會及品評會ノ開催 農家ノ子弟ヲシテ農業知識ノ普及ヲ圖ラムカ爲冬期農閑ヲ利用シテ講習會ヲ開キ農蠶業講習生ヲ養成セリ尙又時々品評會ヲ開キ農産物ヲ審査品評シテ之カ改良ニ努メタリ
- ▲種苗種畜蠶種ノ分配又ハ交換 學理ヲ實地ニ應用セムカ爲ニ作物ノ試作ヲ行ヒ優良品種ノ普及ヲ圖ラムカ爲之カ分配又ハ交換ヲ爲シタリ
- ▲肥料ノ共同購入及肥料ノ配合指導 農家ヲシテ完全ナル肥料ヲ安價ニ求メシメ適切ナル施用ヲ爲サシムル爲配合肥料ノ指導ヲ爲シタルニ成績頗ル良好ナリ
- ▲副業ノ獎勵 凡テ蒔類及蠶具用絲堅莖等ハ從來他地方ヨリ移入セシモ是ヲ防遏スルノ目的ヲ以テ本會ニ於テ右ノ講習會ヲ開催シタルニ其ノ結果今日ニ至リテハ村内ノ需要ヲ滿タヌヲ得尙幾分移出スルノ域ニ達シタリ
- ▲蔬菜市場ノ開設 本會ニ於テハ會員ニ蔬菜栽培ヲ獎勵シタル結果漸次其ノ産額増加スルニ至レリ茲ニ於テ本會ハ臨時市場ヲ開設シテ食用ノ餘分ヲ賣却セシメ其ノ得タル代金ヲ蓄積シテ勤儉ノ美風ヲ養成シ其ノ一部ヲ小學校改築費中ニ寄附セシメタリ
- ▲山林原野ノ整理並堆肥ノ獎勵 自給肥料増加ノ目的ニテ山林原野ヲ整理シ下草ヲ刈リ取り以テ堆肥ノ獎勵ヲ爲シタリ
- ▲統計調査 農事實行員ヲシテ農産物ノ實收ヲ調査セシメ本會ニ報告セシム
- ▲年中行事ノ揭示 農事行事並納稅期日等ヲ揭示シテ農家一般ニ其ノ勵行ヲ促シ且納稅期日ノ正確ヲ期ス其ノ成績顯著ニシテ其ノ他害蟲獸鳥ノ驅除農業日雇人ノ賃銀統一又ハ農家休日ノ改正等ノ事業ヲ爲シツツアリ

(二) 現時ノ事業成績

- ▲農蠶業講習生ノ養成 一般農業者ニ對シ農蠶業ノ智識ノ普及ヲ圖ルコト急務ナルヲ以テ本會ハ從來農事及蠶業講習會ヲ開催シ年々講習生増加シタルモ少クモ毎戶講習生一名以上ヲ得ルノ目的ヲ以テ年々講習會ヲ開催シ且郡又ハ縣主催ノ講習會ニハ補助ヲ與ヘ聽講セシメタル結果現ニ農事講習生二百八十五人蠶業講習生二百三十八人アリ
- ▲養蠶組合ノ設置 蠶業ヲシテ堅實ナル發達ヲ期スルニハ蠶業者相互ノ聯絡ヲ圖リ和衷協同シテ事業ノ施設經營ニ當ル可キモノナルヲ以テ本會ノ役員及蠶業講習生ハ率先シテ當業者及有志者ト相謀リテ着實ナル養蠶組合ヲ組織シ蠶室ノ改修、蠶種ノ統一、蠶具ノ改良、共同購入、蠶種ノ保護、蠶病ノ豫防、共同飼育、成繭共同販賣、共同乾燥、桑園ノ改植整理、桑及蠶具ノ過不足融通等蠶業經營上裨益スル所甚大ナリ
- ▲小作米ノ改良獎勵 毎年小作米品評會ヲ開キ米質ノ改良、俵裝ノ統一、納期ノ劃一、且小作料ハ小作地ノ地價ニ應ジテ納入スル事ニ改メ既ニ數年ヲ經過シ是亦良好ノ結果ヲ示セリ品評會褒賞授與式ヲ毎年五月二日(八十八夜)ニ舉行シ式後農會、地主會、小作人等聯合シテ大懇親會ヲ開キ青年モ參會シテ一日ノ歡樂ヲ盡シ所謂本村ニ於ケル年中ノ二大休日トシテ(其ノ一ハ秋期青年ト小學校ノ聯合運動會)執行シツツアリ賞與ハ現金ヲ以テシ一等一俵ニ付金拾五錢宛、二等同金拾錢宛、三等同金五錢トス
- ▲成繭共同販賣ノ斡旋 農産物ヲ有利ニ販賣シ會員ノ經濟ヲ助長スルノ目的ヲ以テ明治三十八年以來年々實行シ來レリ其ノ方法トシテハ各區役員ヲシテ豫メ賣却希望數ヲ調査シ且見本ヲ以テ中央市場ノ確實ナル商人ニ販賣方ヲ委託スルカ又ハ信用確實ナル製絲業者ニ販賣スルカヲ例トシタルモ最近養蠶組合ノ設立以來信用最モ確實ナル商人ニ共同販賣ス故ニ運賃及其ノ他ノ費用ヲ計上スルトキハ累年ノ平均ニ比シ成繭一石ニ付約金壹圓乃至壹圓貳拾錢ノ利益ヲ得タリ仍テニ當業者モ其ノ利益ヲ感知シ年々申込者増加スルノ傾向ナリ大正四年ニ於テハ本村收穫高ノ約三分ノ一以上ニ達セリ即チ取扱高ヲ計上スルトキハ左ノ如シ

種別	數量		計
	上	滿	
春蠶	一三九石	玉滿	三七石
秋蠶	七四	同	二九
			一七六石
			一〇三

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲石蠟ノ製造配布 本村ハ養蠶業盛ナルヲ以テ夜間作業ニ蠟燭ノ使用比較的多ク爲ニ之ヲ低廉ニ供給スルコトハ蠶業經濟ヲ圖ルノミナラス一面家計經濟ヲ改善スル以所ナルヲ認メ明治四十三年ヨリ本會ノ事業トシテ計劃シ最初一年ハ技術者ヲ招聘シ實行員ヲシテ實地ニ傳習セシメ以來年々實行シテ今日ニ到ル而シテ利益ハ原料代ハ勿論諸雜費ヲ控除シ尙一把(十本)ニ付市價拾錢ノモノヲ七錢ニ配布シタリ仍テ村全體トシテハ利益百圓以上ニ達シ其ノ成績顯著ナリ

▲木炭製造ノ傳習 大正元年本會ノ事業トシテ製炭講習會ヲ開催セリ其ノ結果トシテ爾來年々自家用ヲ除クノ外優ニ參百五拾圓以上ノ移出ヲ見ツツアリ

▲堆肥ノ獎勵 從來本村ハ金肥ノ購入高年々貳千貳參百圓ヲ下ラサリキ本會ハ深ク之ヲ考慮シ村内ノ有志者ト相圖リ養豚養馬組合ヲ組織シ本村信用組合ヨリ組合員ノ分ニ對シテハ特ニ低利ニ借り受ケシメ養馬、養豚ノ資金ニ充テ一方ハ山林原野ノ整理ニ力メ其ノ下草ヲ刈リ取ラシメ且補助ヲ與ヘ堆肥舍ノ建設ヲ獎勵シタル結果トシテ殆ント村内ニ普及シ現今漸ク金肥ノ使用高約壹千五百圓内外ニ減少スルノ實況ニ至リタルハ堆肥施用ノ著シク増加シタルニ因ルモノニシテ其ノ成績寔ニ顯著ナリトス而シテ從來堆肥舍建設者ニハ間口三間奥行一間半以上ノモノニ對シ金參圓乃至金五圓ヲ補助金トシテ交付シツツアリ

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 産業組合 本會ハ總テ農家ノ購入スル物品ハ之ヲ各區役員ニヨリ調査セシメ之ヲ購買組合ニ共同購入申込ミヲ爲サシメ組合員ニ限リ資金ハ信用組合ヨリ低利融通スルモノトス故ニ販賣ニ購買ニ各産業組合ト氣脈ヲ通シ協同一致以テ本會事業ノ遂行ヲ援助スルモノトス
- (二) 地主會及小作人會 是等ノ會ノ幹部ハ本會ノ施設事業ノ遂行ヲ援助スルト共ニ本會モ亦各會ノ事業其ノ他ノ施設事業ニ援助シツツアリ
- (三) 青年會 本會指導ノ下ニ農作物ノ試作、肥料ノ應用試験、農産物ノ統計調査並農作物ノ品評會開催等ノ任ニ當ラシム

秋田縣

平澤町農會

由利郡平澤町(町役場内)

農業ノ概況 本町ハ郡ノ西南ニ位シ面積一方里強東南方ノ一帯ハ高原ニシテ西北ニ低下シ小丘至ル所ニ點在セルヲ以テ闊裕ナル地區少シ人口四千八百人耕地面積田三百六十五町歩アリ農家戸數三百四十戸住民ノ主ナル職業ハ農業ニシテ漁業之ニ次キ副業トシテ繭並菓細工製品ノ生産アリ

會員數 三百六十七名
事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ町内ノ大地主ニシテ農事改良ノ熱心家ナリ副會長ハ收入役ニシテ幹事二名ハ孰レモ町内ノ有力者ナリ評議員七名中二名ハ町會議員ナリ技術員ハ三名中一名ハ甲種農業學校卒業生ニシテ大正三年四月ヨリ農業補習學校

- ▲害蟲驅除豫防ノ獎勵 驅蟲油ノ共同購入ハ明治三十五年ヨリ實施シ今尙繼續ス毎年七月下旬ヨリ八月月上旬ニ亘リ必ラス一回鹿浮子ノ驅除豫防ヲ實施シ以後必要ニ應ジテ之ヲ使用ス
- ▲排水共進會ノ開催 乾田耕作ノ基礎タル排水ヲ完全ナラシムル目的ヲ以テ本町外二箇町村聯合耕地整理組合ト共同シテ開催ス審査ハ九月上旬及三月上旬ノ二回ニ於テ之ヲ行フ依リテ本事業開催ニ依リ排水ヲ爲スモノ漸次増加シツツアリ
- ▲堆肥品評會ノ開催 堆肥製造指導ノ爲技術員ヲ派遣シテ第一回ヨリ第四回迄切返ノ實地指導ヲ爲サシメ最後ニ品評會ヲ開催シテ其ノ成績ヲ審査品評ス
- ▲苗代品評會ノ開催 本事業ハ水稻立毛品評會ノ前提事業ニシテ會員ノ苗代全部ニ付審査品評ヲ行フ
- ▲農事視察員ノ派遣 當業者ノ見聞ヲ汎メ農事改良ノ實績ヲ舉ケシムル爲先進地ニ視察員ヲ派遣シ以テ當業者ノ奮起ヲ促カシ漸次其ノ効果ヲ收メ來レリ
- ▲養蠶ノ獎勵 本會ハ養蠶部ヲ設ケ農家ノ副業トシテ養蠶獎勵ヲ爲スニ當リ本業トノ勞力分配上秋蠶獎勵ノ方針ヲ立テ一方補助金ヲ交付シテ共同稚蠶飼育所ノ設置ヲ獎勵シテ養蠶ノ發達ヲ助成シツツアリ成績左ノ如シ

年次種別	養蠶戸數	掃立枚數	收繭量		桑園反別
			春	秋	
大正元年	四一戸	六九・七	三九〇	六五	一一・六
同二年	四二	四七・七	四七五	四六	一五・八
同三年	三六	四〇・四	三三六	一二九	一六・七

(三) 特ニ成績顯著ナル事業
▲堆肥ノ獎勵

(沿革及施行ノ方法) 堆肥舍ノ建設並堆肥製造ノ獎勵ハ明治三十三年ヨリ始メ同三十九年同四十年ノ兩年ニ於テ一般農家ニ堆肥舍ヲ建設セシム同四十二年ヨリハ各部落ヨリ一名宛、七名ノ指導者ヲ選定シ毎年七月下旬ヨリ適宜日割ヲ定メテ切返指導ヲ開始シ十一月下旬若ハ十二月上旬堆肥品評會ヲ開キ當業者ノ奮起ヲ促ス又囑託教師ヲ置キ専ラ其ノ指導ニ當ラシム

(成績) 從來ノ堆肥舍ハ一時的建物ナリシモ堆肥製造上完備セル堆肥舍ノ必要ヲ自覺シ耕地整理ニ依リ生シタル岩石ヲ利用シテ永久の堆肥舍ノ建設ヲ見ルニ至リ其ノ數四、五十二達シタルヲ見ルモ當業者ノ自覺ヲ推知スルニ難カラス其ノ成績左ノ如シ

年次種別	農家戸數	堆肥舍數	同上割合	
			同	上割合
大正元年	三四〇	二六四	七・七強	
同二年	三四〇	二六四	七・七強	
同三年	三四〇	二六四	七・七強	

▲排水共進會ノ開催 大正元年平澤町外二箇町村聯合耕地整理組合ト聯合シ第一回排水共進會ヲ開催シ回ヲ重ヌルコト四回歳ト共ニ一般耕地ノ排水能ク地下水ノ低下ヲ見延テ深耕ノ目的ヲ達セシムル等著シク效果ヲ收メツツアリ排水共進會規則及審査法左ノ如シ

排水共進會規則

- 第一條 本會ハ乾田耕作ノ基礎タル排水ヲ完全ナラシムル目的ヲ以テ平澤町農會ト平澤外二箇町村聯合耕地整理組合ト共同シテ開催スルモノトス
- 第二條 本會ノ區域ハ平澤町農會及耕地整理組合ノ區域ニ依ル
- 第三條 本會ノ目的ヲ達スル爲整理ヲ施行シタル場所ニ於テハ排水灌漑兩澤ヲ未ダ整理セサル場所ニ於テハ在來ノ溝渠ヲ浚深スルモノトス
- 第四條 浚深ハ各部落毎ニ共同施行スルモノニシテ從テ優劣ハ各部落相互ノ比較ニヨリ之ヲ定メ優等者ニ授賞スルモノトス
- 第五條 本會ノ審査期ハ九月上旬及三月上旬ノ二回トス
- 第六條 溝渠ヲ浚深セムトスルトキハ先ツ既定ノ幅ヲ割シ廣狹屈曲ヲ正シ然ル後相當ノ方法ニ依リ浚深スヘシ萬一故障又ハ不明ノ箇所アルトキハ事務

所ニ申出テ指揮ヲ請クヘシ

第七條 溝渠ノ幅深ハ整理ヲ施行シタル所ハ其ノ定ムル所ニ依ルモノニシテ即チ左ノ如シ

- 一 三分幅ノ溝渠ハ深サ三分
- 一 四分幅ノ溝渠ハ深サ四分
- 一 五分幅ノ溝渠ハ深サ五分

但シ特別ノ溝渠ハ此ノ限りニアラス

一 耕地整理ヲ施行セサル所ノ溝渠モ亦之ニ準ス

第八條 浚渫シタル土砂ハ溝畔上ニ均ラシ梯形ナラシムヘシ

岩石剝土ハ適當ノ場所ニ搬去スルモノトス

第九條 審査法ハ會長別ニ之ヲ定ム

第十條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 審 査 長 一 名
- 一 審 査 員 若 干 名
- 一 事 務 員 若 干 名

第十一條 會長ハ農會長又ハ組合長之ニ當ル

第十二條 審査長審査員及事務員ハ會長之ヲ囑託ス

第十三條 本則ニ規定ナキ事項ハ會長專行ス

審 査 法

第一條 幅深能ク規程ニ叶ヒ水ノ流通圓滑ナルヲ最上トシ四十點ヲ附ス

第二條 浚渫セル土砂ヲ以テ溝渠ヲ修築シ形狀整然且能ク畦畔ノ雜草ヲ刈除シタルモノヲ最上トシ三十點ヲ附ス

第三條 背ニ溝渠ヲ浚渫スルノミナラス全般ニ亘リ排水ノ注意願慮完備セリト認ムルモノニ三十點ヲ附ス

第四條 暗渠不完全又ハ容易ニ除去シ能ハサル岩石等ノ爲ニ規定ノ深サニ浚渫シ能ハサル處アルモ缺點ト看做サス

農會ト各種團體トノ聯絡

(一) 購買組合 肥料並驅蟲油共同購入ニ關シテハ購買組合ト協議シ共同購入ヲ爲シ會員ニシテ組合員タルモノハ組合ヨ

リ、其ノ他ノ會員ハ本會ニ於テ分讓ス

(二) 地主會 本會ノ別動體ノ如キモノニシテ其ノ幹部ハ本會幹部ト同シクシテ小作米格上實施、乾燥材料ノ給與、共同

苗代設置ニ關シ土地ノ提供等ヲ爲シテ本會ノ設置事業ノ遂行ヲ援助ス

(三) 青年會 青年會ニ農業部ノ施設アリ本會トハ密接ノ關係ヲ有シ本會ヨリ馬耕傳習會、競犁會、蟹爪傳習會、競技會、深耕獎勵及短期農事講習會等ノ事業ヲ分擔セシメ且補助金ヲ與ヘ農業部ノ活動ヲ促シツツアリ

福 井 縣

松 原 村 農 會

敦賀郡松原村松原第十九號第二番地

農業ノ概況 本村ハ郡ノ西北部ニ位シ面積四方里人口四千八人耕地面積田百二十町步畑二十町步アリ農家四百九十二戸住民

ハ殆ト農ヲ以テ業トシ沿海ノ地ハ漁業ヲ營ム副業トシテ庭ノ生産アリ

會 員 數 六百二十名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村内ノ地主ニシテ前村長タリ現ニ無限責任松原信用組合長ヲ兼務ス副會長ハ郡内ノ篤農家ニシテ現ニ有限責任松原農漁販賣購買生産組合長ナリ幹事中一名ハ役場書記之ニ當リ一名ハ現ニ村會議員タリ評議員七名中ニハ松原農漁販賣購買生産組合ノ理事又ハ篤農家アリ技術員ハ老農之ニ當ル書記ハ村吏員之ヲ兼務ス
- (二) 總會 毎年一回開催ス出席者ハ會員ノ半數以上ニ達ス名士ヲ聘シテ講演ヲ請ヒ餘興トシテ福引ヲ催シ其ノ他記念品ヲ與フル等談笑ノ裡ニ閉會ス

(三) 補助的設備 各部落毎ニ委員ヲ設ケ本會事業ノ施行督勵ノ任ニ當ラシム
 造 物 農事試驗場ハ明治三十九年十二月ノ建築ニシテ事務所三坪七合五勺收納舍六坪堆肥舍六坪鶏舍一坪五合豚舍
 (現令鶏舍)一坪五合五勺ヲ有ス
 (ニ改造ス)

經 費
 (一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	六四五〇〇〇	繰越金	一〇〇〇	補助費	補助部	補助村	補助上級農會	計	其ノ他	合 計
									二〇七、三〇〇	八四九、七三〇

(二) 同上 支出決算額

事務所費	一五、一〇〇	會議費	一一、五〇〇	對上級農會ニ對スル負擔金	一三、一〇〇	事業費	二五〇、〇〇〇	其ノ他	一〇五、三〇〇	合 計
										八四九、七三〇

(三) 會費分賦及收入方法 會費ハ面積割、地價割、人頭割ニ分賦シ毎年之ヲ徵收ス
 基本財産 現在高金貳百參拾七圓六拾壹錢貳厘

其ノ保管ハ金貳圓六拾壹錢貳厘ヲ郵便貯金ニ金貳百參拾五圓ヲ貸付金トセリ右ノ外ニ精農獎勵基金貳拾五圓六拾八錢功
 碑維持基金參拾圓五拾貳錢五厘ヲ有ス

事業成績

(一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績

▲肥料共同購入ノ斡旋 農家ノ金肥施用高年々増加シ肥料資金ハ農家經濟上最モ重要ナル地位ヲ占ムルモノナル故ニ之

ヲ低廉ニシテ品質ノ良好ナルモノヲ供給スルコト緊要ナリト認メ本會ニ於テ年々共同購入ノ斡旋ヲ爲シタルニ其ノ成績頗ル良好ニシテ一般會員ノ認ムル所トナリタルヲ以テ遂ニ會員ヲシテ松原農漁販賣購買生産組合ヲ組織セシメタリ
 而シテ本會ノ事業ハ之ヲ右組合ノ事業ニ移シタリ

▲會報ノ發行 本會ノ記事及農事上ノ學術技藝統計廣告ニ關スル事項ヲ記載シテ會員ニ配布スル爲「松原村農會報」ナルモノヲ明治二十九年二月十日ヨリ發行シ同三十三年二月二十五日マテニ第五十七號ニ及ヘリ同三十五年ヨリハ「勸農」ト稱スル印刷物ヲ配布スルコト二箇年半ニ及ヒ又同三十六年二月ニ至リ再ヒ松原村農會報第五十八號ヲ發行シ以後毎年一回發行シ來リシカ同四十一年ヨリ年三回ニ改メ同四十五年ヨリ月刊トシ大正二年十月ニ至リ村報ニ掲載ヲ乞フコトトシテ會報發行ヲ中止スルニ至レリ

▲各種調査ノ施行 農村ノ繁榮ヲ圖ラムトセハ確固タル村是ヲ樹立スルノ要アルヲ以テ本會ニ於テハ村是調査ヲ施行シ之ニ依リテ本村ノ大方針ヲ決定シ着々之カ實行ヲ圖リ一方ニ於テハ其ノ實行成績ヲ知ル爲農業ノ成績調査ヲ爲シ之ヲ發表シテ村民ニ周知セシメタリ又本會ニ於テハ耕地整理ヲ施行スルコトヲ唱道シ之カ調査ヲ爲シテ其ノ實施ヲ獎勵セリ

(二) 現時ノ事業成績

▲神田ノ設置 農家ニ敬神ノ觀念ヲ養ヒ農事ノ改良ヲ獎ムル方法トシテ神田ヲ經營スルコトハ最モ適切ナル事業ナリト認メ村内大字杵見第八十五號字白木谷第一番ノ水田五畝歩ヲ以テ之ニ充テ精農者ヲシテ耕作人タラシメ神田ヨリ收穫シタル粃ヲ一部精米トシ之ヲ新嘗祭ニ獻納シ尙殘餘ノ粃ヲ種粃トシテ村社ノ祈年祭ニ獻穀スルコトトス
 ▲講話講習會ノ開催 本會創立以來農家ノ知識ヲ啓發スルノ目的ヲ以テ技術者老農等ヲ聘シテ時々講話會ヲ開キタリ最近ニ至ル迄ノ回数二十六回ニ及フ又普通農事、肥料、林業等ニ關シ屢々講話會ヲ開催セリ今日迄ニ既ニ講習ヲ修了シタル者百九十五名ニ達ス

●●●●●● 種苗ノ配布 毎年稻稈、麥、紫雲英、大豆等ノ優良種子ヲ會員ニ配布シテ之カ品種ノ改良統一ヲ圖リ來リタルカ大正

三年ニ於テハ稻稈種ノミニ限リ一石ヲ會員ニ無代配布ヲ爲シタリ

▲●●●●●● 精農懇話會ノ開催 會員中ノ精農者ヲ選抜シテ之ヲ三等級ニ分チ漸次其ノ等位ヲ高メ精農者ニハ鐵ト鎌トヲ賞與シ尙

年數回集メテ懇話會ヲ催シ農業ノ研究ヲ爲シ以テ自發的研究心ノ發揚ニ努メシメツツアリ

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲●●●●●● 農事試驗場ノ經營 本會經營ノ農事試驗場ハ村内大字原第十九號第二番地ニ在リ場長事務員場夫各一名ヲ置ク場長ハ

篤農者ヲ以テ之ニ充ツ場長ノ定ムル設計ニ依リ稻作、養蠶、林業、蔬菜、裏作、果樹、家禽養鯉等ノ試驗ヲ行フ抑モ本

會ノ試驗事業タル明治二十四年ニ始リ爾來毎年之ヲ繼續スルト雖其ノ事業カ村内各地ニ散在スルヲ以テ管理上不便ヲ

感スルノミナラス觀覽者ノ便ヲ缺クヲ以テ其ノ目的ニ副フコト能ハス仍テ明治三十九年十二月地ヲ現今ノ場所ニ定メ

建物ヲ建設シ稻田一反五畝步園場一反步山林二反步ヲ附屬セシメ各種ノ試驗ヲ施行シ時々當業者ニ參觀セシム

事務 舍

三坪七合五勺

收納 舍

六坪

堆肥 舍

二坪五合

鶏 舍

一坪

第二鶏 舍

五合五勺

豚 舍

一坪五合

農會ト各種團體トノ聯絡

(一) 産業組合 本會ハ農事ノ改良ヲ指導獎勵シ資金ヲ要スル時ハ組合員ニ對シテハ松原信用組合ハ低利貸付ヲ行ヒ又當業者ノ生産セル米穀蔬菜ノ類ハ松原農漁販賣購買生産組合ヲシテ取扱ハシメ又本會ノ獎勵ニ依リ購入セムトスル組合員ノ産業用品タル肥料及農家ノ生計品タル食鹽等總テ前記組合ヨリ購入セシメ其ノ資金ハ右信用組合ヨリ貸付スルカ如キ又産業組合ニ於テ講話會ヲ爲ス時ニ於テモ本會ノ技術員ヲ聘スルカ如キ殊ニ本村ノ松原農漁販賣購買生産組合ハ本會ノ獎勵幹旋ノ下ニ設立シタルモノナリ

- (二) 地主會 地主會設立セララル迄本會ニ於テ小作米品評會ヲ催シ或ハ小作人ニ對シ肥料購入ノ幹旋ヲ爲シタルモ地主會設立後ハ此等ノ小作人保護獎勵ニ關スル事項ハ地主會ノ事業ニ移シ本會ハ專ラ地主會ノ援助ニ努メ以テ兩々相俟ツテ小作人ノ保護獎勵ニ盡シツツアリ
- (三) 青年會 青年ヲ以テ組織セル本村農業補習學校ノ實習地ハ本會農事試驗場ヲ以テ充テ又本會ノ事業ニシテ人夫ヲ要スル時ハ青年ヲ指導的ニ使役シ之ヲ援助シツツアリ
- (四) 斯民會 本會ハ斯民會ニ加入シテ大ニ村治ノ發達ヲ援助シツツアリ殊ニ斯民會設置迄ハ本會カ村治ノ中堅トナリタルナリ

富山縣

藪田村農會

氷見郡藪田村(村役場内)

農業ノ概況

本村ハ郡ノ東北隅ニ在リ廣袤東西一里南北二十町面積二百二十町歩ヲ有スル小村ニ過キス現在戸數二百三十五戸耕地面積田反別五十町五反歩畑ハ十一町二反歩住民ハ農業ト漁業トヲ兼ヌルモノ全戸數ノ八割ヲ占ム副業トシテ繭、葦細工製品、薪材等ノ生産アリ

會員 數 百四十三名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長ハ村内ノ有力家ニシテ且篤農家ナリ副會長ハ村會議員ヲ兼ネル篤農家ナリ幹事二名中一名ハ役場吏員一名ハ篤農家ナリ技術員一名目下缺員、書記ハ村吏員之ヲ兼務ス

- (二) 總會 毎年二回二月、七月ニ開會ス出席會員ハ總會員數ノ六割内外ニシテ總會修了後縣又ハ郡ノ農會技術員ヲ聘シテ農事改良ニ關スル講話ヲ請フヲ例トス
- (三) 補助的設備 各部落毎ニ農事獎勵委員ヲ設ケ農家各戸ニ就キ實地指導ニ當ラシム

經費
(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	七、三六〇	縣越金	一、六一〇	補助縣助費	—	補助部助費	一〇、〇〇〇	補助村助費	七〇、〇〇〇	補助上級農會助費	三五、〇〇〇	計	一一五、〇〇〇	其ノ他	—	合計	二二五、〇七〇
----	-------	-----	-------	-------	---	-------	--------	-------	--------	----------	--------	---	---------	-----	---	----	---------

(二) 同上 支出決算額

事務所費	一〇、四九〇	會議費	一、五〇〇	對上級農會ニ對スル負擔金	五、〇〇〇	事業費	二、五八六	其ノ他	—	合計	二三、〇六六
------	--------	-----	-------	--------------	-------	-----	-------	-----	---	----	--------

- (三) 會費分賦及收入方法 會費ハ等級割トシ毎年總會ニ於テ耕地反別及貧富ノ程度ヲ考慮シテ等級ヲ附シ賦課率ヲ定ム會費ハ毎年四月、十月ノ二期ニ徵收ス會費滯納者ナシ會費ハ村稅ト共ニ告知書ヲ發シテ之ヲ徵收ス

事業成績

- (一) 過去ニ於ケル最モ主ナル事業ノ成績
 - ▲蔬菜栽培法ノ改良獎勵 本事業ハ明治二十七年本會創立ノ際ヨリ繼續施行セリ其ノ方法ハ本會ニ於テ優良ナル種子ヲ原產地ヨリ購入シ會員ニ分配シ一面蔬菜品評會ヲ開催シ或ハ本會ニ於テ試作地ヲ設ケ優良蔬菜ノ栽培ヲ實地ニ示シタ

ル結果會員モ茲ニ初メテ蔬菜栽培ノ有利ナルヲ知リ進テ優良品種ノ種子ヲ原產地ニ求ムルニ至リ栽培法モ又充分會得スルニ至リシカハ大正元年ニ於テ本事業ヲ中止シ目下種苗共同購入ノ斡旋ヲ爲スニ止マレリ

- ▲農藝技術員ノ設置 本事業ハ明治二十九年以來繼續施行シ來レリ其ノ方法ハ村内ノ農家ニシテ智識經驗アル當業者四人ヲ推薦シ手當ヲ支給シ一般當業者ヲ指導誘掖セシムルコトトセシニ成績大ニ見ルヘキモノアリ本村農業ノ發達ニ貢獻セシコト大ナリシカ如シ大正三年本會技術員設置ト共ニ其ノ必要ヲ認メサルニ至リ本事業ヲ中止セリ
- ▲養蠶傳習教師ノ設置 本事業ハ明治二十八年以來繼續施行シ來レリ村内當業者ノ蠶兒飼育ノ技術大ニ進ミタルハ全ク本事業實施ノ結果ナリ大正三年ニ至リ稚蠶共同飼育ノ普及ト共ニ本事業モ又共同飼育組合ノ事業ニ移セリ
- ▲稻正條植ノ獎勵 本會カ正條植ノ必要ヲ認メ之ヲ全村ノ農家ニ獎勵ヲ始メタルハ明治三十年以來ノコトナルモ其ノ進歩遅々タリシヲ以テ明治三十九年ヨリ正條植ニ對シ獎勵金ヲ交付スルコトトセシニ成績顯著ニシテ今ヤ全村舉ツテ之ヲ實行スルニ至レリ仍テ同四十四年ニ至リ之ヲ中止セリ
- ▲苗圃ノ設置 明治三十四年以來約一反歩ノ苗圃ヲ設ケ毎年杉、松、樺等ノ苗數萬本ヲ養成シテ會員ニ無償交付シ來リシカ成績顯著ニシテ一般會員ノ林業思想大ニ勃興シ來レリ明治四十年以來本郡農會カ本事業ヲ經營スルニ至リタルカ故ニ本會ハ之ヲ中止セリ

(二) 現時ノ事業成績

- ▲技術員ノ設置 本會ハ明治二十七年福岡縣ヨリ技術員ヲ設置シテ本村農事改良ノ獎勵指導ニ當ラシメタル結果本村農事上ノ面目ヲ一新シタリ其ノ後二年ニシテ中止シ更ニ大正三年ニ於テ此事業ヲ復興シ各部落ヲ巡回シテ實地指導ノ任ニ當ラシメタリ大正四年辭任セルヲ以テ目下缺員中ナリ本事業ノ成績ハ設置後日尙淺ク未タ發表スルノ程度ニ達セス
- ▲稻品種ノ改良獎勵 本村ノ水稻ハ品種劣惡ニシテ收量又多カラサリシカハ之ヲ改良スル目的ヲ以テ明治二十七年以來盛ニ獎勵セル結果殆ト在來ノ品種ヲ絶滅シ優良品種ノ栽培全村ニ普及セリ

▲鹽水選ノ獎勵 本事業ハ明治二十七年以來繼續施行シツツアリ其ノ方法ハ毎年本會ニ於テ食鹽、苦鹽汁若ハ固形鹽ヲ購入シ無償ヲ以テ當業者ニ配布シ村內數箇所ニ共同選種所ヲ設ケ器具ヲ備ヘ本會ヨリ役員ヲ派遣シテ當業者ヲ指導獎勵セシムルコトトセシニ其ノ成績佳良ニシテ目下鹽水選ヲ實行スルモノ全數ノ七割ヲ占ムルニ至レリ

▲苗代改良ノ獎勵 本事業ハ明治二十七年以來ノ事業ニシテ初メ福岡縣ノ老農林遠里ノ畑苗代ヲ獎勵セシモ發育遲緩ナルト害鳥ノ被害大ニシテ成績良好ナラザリシヲ以テ明治三十四年ヨリ短冊苗代ヲ採用シ極力獎勵セル結果全村ニ普及シ播種量モ本事業開始當時坪二升内外ナリシカ獎勵ノ結果四合乃至五合ノ薄播ニ改良スルコトヲ得其ノ成績良好ナリ

▲稻作競技會ノ開催 農家ノ競争心ヲ喚起シテ自發的ニ稻作改良ヲ促サム爲明治三十四年本事業ヲ施行セリ其ノ方法ハ本會ニ於テ村內ノ篤農家ヲ指定シテ擔當人トシ本會ニ於テ耕種設計書ヲ示シ稻作期間數回技術員ヲ派シテ其ノ成績ヲ調査セシメ優等者ニ物品又ハ金員ヲ賞與スルコトトセリ成績佳良ニシテ從來ニ比シ一反一石以上ノ增收ヲ得タルモノアリ

▲畑作試驗地ノ設置 畑作改良ヲ圖ラム爲明治二十七年以來繼續實行セリ其ノ方法ハ村內適當ト認ムル土地ヲ選定シ一箇所百五十歩乃至二反歩ノ試作場ヲ設ケ村內ノ篤農家ヲシテ經營セシメ普通作物、蔬菜、果樹等ヲ試作セシメ試驗ノ結果良好ト認メタルモノヲ無償ヲ以テ當業者ニ配布シツツアリ成績佳良ニシテ本村主要作物タル大小麥、菽類、甘藷、蔬菜等ノ如キ孰レモ在來種ヲ壓倒シ種類改良ノ結果從來ニ比シ二倍ノ增收ヲ得ルニ至リ本村產ノ麥種ハ郡內ハ勿論縣下一圓ニ供給セラレ遠ク石川、千葉、埼玉ノ各縣ニ販賣サルルニ至レリ

▲果樹栽培ノ獎勵 本村ハ從來柿及枇杷ノ產地トシテ知らレタルモ品種劣惡ニシテ一般ノ嗜好ニ適セス故ニ之カ改良統一ヲ圖ル目的ヲ以テ明治四十三年以來本事業ヲ施行セリ其ノ方法ハ初メ良品種ノ苗木ヲ原產地ヨリ購入シテ當業者ニ無償配布シ來リシモ明治四十五年ヨリ之ヲ中止シ爾來專ラ接木ニ堪能ナル技術員ヲ聘シテ在來種ノ接替ヲ行ヒツツアリ

リ成績可良ニシテ目下在來種ノ七割ヲ更新スルコトヲ得タリ

▲家禽ノ獎勵 副業獎勵ノヲ行フ目的ヲ以テ大正二年以來家禽ノ飼育ヲ獎勵セリ其ノ方法ハ郡農會ヨリ種禽ノ配布ヲ受ケ家禽ノ飼育ニ經驗アル農家ニ委託シテ飼育セシメ最低廉ナル價格ヲ以テ村內ノ農家ニ種卵及種禽ヲ配布シツツアリ成績顯著ニシテ本事業開始當時家禽ノ飼育者僅々十戸内外ニ過キサリシカ今ヤ之カ飼育ヲ爲スモノ全村住民ノ過半ニ及ヒ毎戸數羽乃至數十羽ヲ飼養スルニ至レリ

▲害鳥蟲驅除ノ勵行 有害鳥蟲驅除ノ目的ヲ以テ明治二十七年以來繼續施行セリ其ノ方法ハ雀一羽ニ對シ五厘ノ獎勵金ヲ交付シ鳥ハ專ラ銃器使用人ヲ置キ銃殺ニ努メツツアリ螟蟲ノ驅除方法トシテハ村內四名ノ害蟲驅除委員ヲ設ケ毎年豫察燈ヲ點シ本會長ハ耕作水田一反歩ノ捕蛾義務數ヲ一一般ニ示達スルト同時ニ捕蛾期日及期間ヲ定メ水田耕作者ニシテ義務數ニ満たサルトキハ違約金ヲ徴シ義務數ニ超ユルモノニ對シテハ賞金ヲ與ヘテ之ヲ獎勵スルコトトセリ其ノ成績ハ之ヲ具體的ニ表ハス能ハサレトモ効果尠カラス

▲開墾ノ獎勵 本村ハ水田面積甚シク狭少ニシテ玄米ノ生産僅々千三百石餘ニシテ本村住民ノ需要ヲ充ス能ハス年々五六百石ヲ他村ニ仰クノ状態ナリシヲ以テ本會ハ明治四十四年ニ於テ村是調査ヲ遂行シ開墾ニ關スル大方針ヲ確定シ現在ノ水田反別六十町歩ヲ九十町歩ニ迄進メ少クトモ本村民ノ糧米千八百石ノ全部ヲ大正十年ヲ以テ自村ニ於テ生産スルノ計ヲ樹テ極力之カ獎勵ニ努メツツアリ其ノ結果個人トシテノ開墾急ニ勃興シ已ニ工事ヲ起スニ至リシモノ地區面積約十町歩ニ及ヒ本會カ豫期セシ十箇年ノ期限ヲ出テスシテ優ニ三十町歩ノ開墾ヲ竣成シ得ヘキヲ確信シ得ルニ至レリ

(三) 特ニ成績顯著ナル事業

▲肥料共同購入ノ斡旋 本事業ハ肥料資金ノ節約ヲ目的トシ明治三十五年以來繼續施行シ來レリ事業開始ノ當時ニ在リ

テハ僅カニ二三種ノ魚肥ニ限ラレ取扱高僅々六百圓内外ナリシモ當業者漸ク其ノ必要ヲ認ムルニ至リ同三十六年ニ至リテハ約貳千圓ニ達シ逐年増加ノ傾向ヲ呈スルニ至リシヲ以テ明治三十八年ヨリ各大字毎ニ取纏メシメ本會幹旋ノ許ニ共同購入ヲ爲スニ至リシカ個人買ニ比シ價格遙ニ低廉ニシテ年々數百圓ノ肥料代ヲ節約シツツアリ

▲肥料共同配合ノ實施 本村農家ハ肥料ニ關スル知識ニ乏シク從テ施肥上其ノ配合ヲ誤リ損害莫大ナリシヲ以テ之ヲ改善ヲ圖ラム爲大正二年ヨリ本事業ヲ開始セリ其ノ方法ハ前項共同購入ニ依ル肥料ニ就テ本村農會技術員ヲ聘シ當業者ノ希望ニ依リ本會ニ於テ共同配合ヲ行ヒ之ヲ當業者ニ分配シツツアリニ於テモ相當增收ヲ實現スルニ至レリ

▲桑樹ノ栽培獎勵 本村ノ畑地總面積八十町歩ニ及フヲ以テ本會ハ其ノ總面積ノ約五分ノ一乃チ十六町歩ノ桑園ヲ開キ桑葉三萬二千貫ヲ生産シ繭百六十石ヲ生産セシムル爲明治二十八年以來獎勵ニ從事セリ其ノ方法ハ本事業開始ノ當時ヨリ同三十年ニ至ル三箇年間ハ村内適當ノ場所ヲ選ミ桑苗養成場一反歩ヲ經營シ高木、十文字、市平等ノ桑苗五千本ヲ育成シ之ヲ當業者ニ無償交付セリ而シテ明治三十一年ニ至リ一般當業者孰レモ養蠶業ノ利益アルヲ自覺スルニ至リシヲ以テ無償交付ノ必要ヲ認メサルニ至リシカハ本事業ヲ中止シ同年度ヨリ桑苗共同購入ノ幹旋ヲ爲スコトトシ毎年數千本ヲ購入シテ當業者ニ配布シ之ヲ栽植ニ當リテハ本會ヨリ農藝技術員又ハ技術員ヲ派シテ適地ノ選拔栽植ノ方法肥培法等實地ニ指導セシムルコトトセシニ成績甚タ佳良ニシテ目下ノ栽培反別豫定ノ面積ヲ超過シ約十八町歩ニ達セルハ全ク本會カ指導獎勵ニ努メタル結果ナリ尙本會ハ種蠶共同飼育用ノ桑葉ヲ供給シ桑樹栽培ノ模範ヲ示ス目的ヲ以テ明治三十一年共同桑園五反歩ヲ設置シ爾來繼續施行シツツアリ成績顯著ニシテ特ニ種蠶共同飼育ノ如キ全村舉テ之ニ加入スルニ至レリ

▲蠶種共同購入及共同貯藏ノ實行 養蠶ノ豊凶ハ蠶種ニ負フトコロ大ナルヲ認メ本會ハ明治三十年以來蠶種ノ共同購入ヲ繼續セリ其ノ數量毎年百枚ヲ下ラサル盛況ヲ呈シ成績甚タ佳良ナリ而シテ其ノ購入シタル蠶種ノ共同貯藏ハ明治三

十年ヨリ繼續施行セリ其ノ方法ハ村内二箇所ニ共同貯藏所ヲ設ケ經驗アル養蠶家ニ其ノ管理ヲ囑託シ催青ヲ終リタル後之ヲ當業者ニ配布スルコトトセリ

▲種蠶共同飼育ノ實施 本事業ハ明治二十八年以來繼續施行セリ其ノ方法ハ蠶種ノ飼育ニ熟達セル農家ヲ選ヒ全村ノ種蠶共同飼育場ニ充テ大ニ其ノ成績ヲ舉ケタリシカ明治三十一年以來各大字ニ於ケル技術堪能者ヲ管理者トシ各大字毎ニ之ヲ設ケ共同桑園ノ桑葉ヲ用ヒテ之ヲ飼育シ二眠起ニ於テ之ヲ當業者ニ分配セシメツツアリ成績甚タ佳良ニシテ目下全村舉テ之ニ加入スルノ盛況ヲ呈セリ尙本會ハ村内養蠶家ノ爲ニ明治四十年以來消毒器、簇製造器等ヲ備付ケ當業者ノ使用ニ供シ蠶網製造器ノ專賣權ヲ買收シ當業者ニ任意製造セシメ又ハ蠶具消毒藥品等ノ共同購入ヲ幹旋シ一方農藝技術員ヲシテ終始村内ヲ巡視セシメ親シク實地ニ就テ指導シ百方獎勵ニ努メタル結果上簇法、掃立期、火力應用等種々ノ點ニ於テ全ク面目ヲ一新セリ

▲繭共同販賣ノ幹旋 從來本村ノ養蠶家ハ上繭ト玉繭トヲ混淆シテ販賣スルノ習慣アリシヲ以テ明治四十四年ヨリ當業者ヲ督勵シテ充分ナル擇賣ヲ行ハシムルコトトシ之ヲ可成高價ニ販賣セシムル目的ヲ以テ明治三十五年ヨリ本事業ヲ實施セリ其ノ方法ハ各大字毎ニ精選セル繭ヲ一箇所ニ集メ之ヲ三等ニ分チ商人ヲシテ競争入札ヲ行ハシムルコトトセリ成績顯著ニシテ遠ク長野縣ヨリ商人來集シ價格頗ル昂騰シ大ニ當業者ヲ利スルニ至レリ

▲層繭整理講習會ノ開催 本事業ハ層繭利用ノ途ヲ開キ大ニ當業者ヲ利セムトスル目的ヲ以テ明治四十三年ヨリ本事業ヲ開始セリ其ノ方法ハ村内適當ノ場所ニ於テ層繭講習會ヲ開キ蠶絲會富山支會ヨリ教師ヲ聘シテ當業者ヲ集メ真綿、納絲、玉絲ノ練習ヲ爲サシメタル結果大ニ層繭利用ノ途ヲ開クヲ得タリ
以上各種ノ方面ニ於テ蠶業獎勵ニ努メタル結果本村ノ養蠶業ハ長足ノ進歩ヲ爲シ事業開始當時村内養蠶ニ從事スルモノ皆無ノ状態ナリシカ大正四年ニ於テハ其ノ生産額五千圓ヲ超過スルニ至レリ

農會ト各種團體トノ聯絡

- (一) 進徳會 明治二十一年ニ設立セラレタルモノニシテ會員目下四十餘名アリ本會ト相提携シテ農村改良ノ事ニ當リツツアリ
- (二) 産業組合 本會ハ産業組合ト聯絡シテ産業組合ニ於テ取纏メタル肥料ノ共同購入ヲ斡旋シ且組合員ノ共同配合ニ當リテハ本會技術員ヲ派遣シテ直接配合ノ事ニ當ラシム
- (三) 地主會 本會ハ地主會ト聯絡シ小作者ヲシテ土地愛護農事改良ニ努力セシム目的ヲ以テ村内地主ニ納付セル小作米ニ就テ採採リ審査ヲ行ヒ優等者ニ授賞セシムルコトトセリ成績佳良ニシテ本村米質ノ改良ニ大ナル効果ヲ及ホセリ

島根縣

玉湯村農會

八東郡玉湯村大字湯町(村役場内)

農業ノ概況 本村ハ郡ノ西南部ニ位シ面積二方里餘アリ東西及南ノ三方ハ小山脈ヲ以テ圍繞セラレ北ノ一方ハ平坦ニシテ宍道湖ニ面ス人口三千五百餘人耕地面積田四百七十町歩畑九十八町歩アリ農家六百十戸住民ハ殆ト農ヲ以テ業トス副業トシテ繭、薪炭、薬細工製品等ノ生産アリ養畜モ亦盛ニ行ハル

會員數 一千百三十名

事業ノ施行機關

- (一) 役職員 會長及副會長ハ村内ノ有力者ニシテ村民ノ信望篤ク且農事改良ニ熱心ナル者ナリ幹事ハ一名村助役之ヲ兼任シ會計事務一切ヲ管掌ス評議員ハ七名ニシテ村會議員又ハ名望家等ナリ技術員ハ甲種農學校卒業生ニシテ農事諸般ノ指導獎勵ニ當ラシム

- (二) 總會 毎年一回通常總會ヲ開催ス出席會員ハ總會員ノ殆ト八割ニ達スルヲ例トス議事終了後ニ於テハ上級農會技術員、宗教家、教育家其ノ他知名ノ士ヲ聘シテ講演會ヲ開キ又餘興トシテ講談、福引等ヲ催ス恰モ農家一箇年中ノ慰安日ノ意ヲ以テ一家ノ如ク團欒シテ談笑ノ裡ニ散會スルヲ常トセリ
- (三) 補助的設備 村内ヲ二十五部ニ分チ各部ニ部落農會ヲ設置セシメ之ニ補助金ヲ支給シ農事ノ改良ヲ行ハシム又村農會ノ業務モ多クハ本會ヲ通シテ實行セシム

經費

(一) 大正三年度ノ收入決算額

會費	八三六九二〇	繰越金	八四一九九	補助縣		補助郡		補助村		補助上級農會		計	二七二一〇	其ノ他		合計	一〇三、八三九
----	--------	-----	-------	-----	--	-----	--	-----	--	--------	--	---	-------	-----	--	----	---------

(二) 同上 支出決算額

事務所費	一三七二六	會議費	三、七九〇	對上級農會ニ對スル負擔金	二〇、三三〇	事業費	四七五、四六〇	其ノ他		合計	八二四、八八六
------	-------	-----	-------	--------------	--------	-----	---------	-----	--	----	---------

- (三) 會費分賦及收入方法 會費ハ田畑地價割トシ地價拾圓ニ付四錢貳厘ヲ分賦シ毎年五月ニ徵收ス會費滞納者ナシ會費ハ村稅ト共ニ告知書ヲ發シテ徵收ス

基本財産 現在高金參拾六圓貳拾六錢

保管ハ六圓貳拾六錢ヲ郵便貯金ニ、參拾圓ヲ勸業債券トシ逓信省ニ保管預ケト爲ス其ノ積立方法ハ大正二年ヨリ稻收穫